

令和4年度 全国学力・学習状況調査
調査結果報告書

岩見沢市教育委員会（岩見沢市立教育研究所）
令和4年(2022年)12月15日

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、市内における児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、この取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 報告書の内容

文部科学省では調査結果の解釈等に関する留意事項で「本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要である」と述べている。この点を十分に踏まえた上、本報告書では岩見沢市の調査結果からみた学力の全体的な傾向及び児童生徒質問紙等の特徴的な事項並びに指導改善の取組等について記載している。

3 調査の対象

小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象とする。

4 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 質問紙調査

- ① 児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査
- ② 学校における指導方法に関する取組や、学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

(3) 学校質問紙調査

- ・全国学力・学習状況調査の実施：令和4年4月19日（木）
- ・調査結果の分析：令和4年7月27日（水）～11月2日（水）
- ・報告書の完成：令和4年11月2日

校種	学校総数（校）			参加学校数（校）			児童生徒数（人）		
	岩見沢市(公立)	北海道(公立)	全国(公立)	岩見沢市(公立)	北海道(公立)	全国(公立)	岩見沢市(公立)	北海道(公立)	全国(公立)
小学校	14	981	18,965	14	972	18,864	540	34,310	965,761
中学校	9	576	9,475	9	567	9,320	535	32,940	892,585
合計	23	1,557	28,440	23	1,539	28,184	1,075	67,250	1,858,346

Ⅱ 教科に関する調査結果の概要

1 岩見沢市の児童生徒の学力の状況

○平均正答率の比較

- ・小学校は、国語・算数は全国平均同様、理科はほぼ同様となっています。（国語と理科は上回り、算数は全国との差が0.2ポイント）
- ・中学校は、国語・数学は全国平均同様、理科はほぼ同様となっています。（理科は上回り、国語は同数、数学は全国との差が0.4ポイント）

2 岩見沢市・北海道・全国の平均正答率

(%)

児童生徒	項目	国語		算数・数学		理科	
		R4	R3	R4	R3	R4	H30
小学校 6年生	岩見沢市	66	63	63	68	64	60
	北海道(公立)	64	63	61	67	63	59
	全国(公立)	65.6	64.7	63.2	70.2	63.3	60.3
中学校 3年生	岩見沢市	69	66	51	59	50	68
	北海道(公立)	69	65	49	56	49	67
	全国(公立)	69.0	64.6	51.4	57.2	49.3	66.1

※岩見沢市と北海道の各教科平均正答率については、国から提供された整数値で示している。

3 全国の平均正答率を100とした場合の岩見沢市・北海道の数値

(%)

児童生徒	項目	国語		算数・数学		理科	
		R4	R3	R4	R3	R4	H30
小学校 6年生	岩見沢市	101	97	100	97	101	100
	北海道(公立)	98	97	97	95	100	98
	全国(公立)	100	100	100	100	100	100
中学校 3年生	岩見沢市	100	102	99	103	101	103
	北海道(公立)	100	101	95	98	98	101
	全国(公立)	100	100	100	100	100	100

Ⅲ 教科に関する調査結果

1 小学校国語

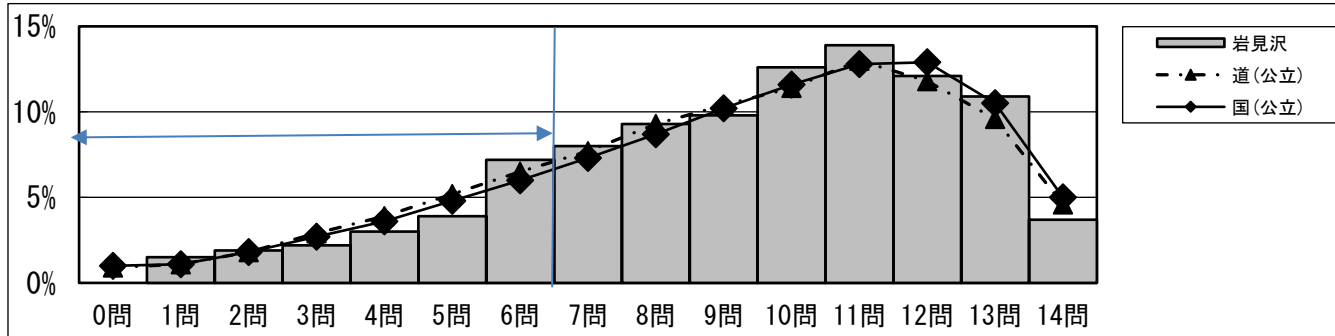
【概要】

- 平均正答率は66【66.0】%
- 平均正答率の小数值での比較では、全国との差は、+0.4ポイント

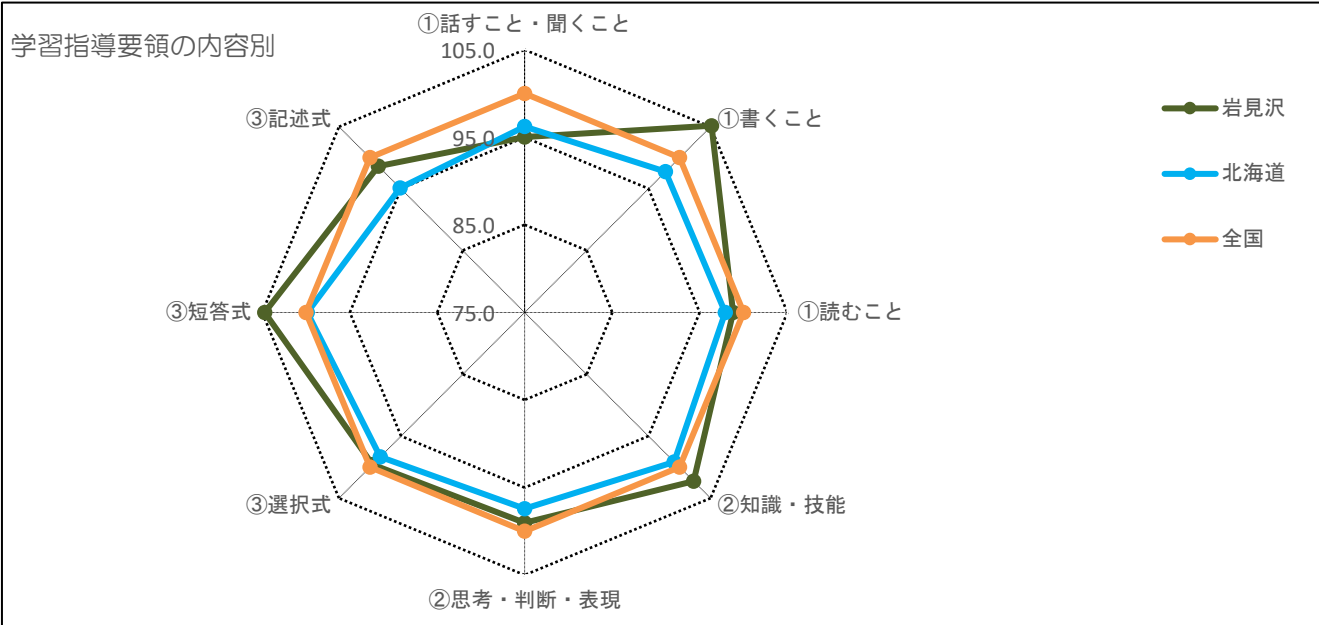
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岩見沢	539	9.2 / 14	66	10.0	3.1
北海道(公立)	34,309	9.0 / 14	64	10.0	3.2
全国(公立)	965,308	9.2 / 14	65.6	10.0	3.3

■全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

- ・割合：岩見沢 19.7%
：全国 21.0%
- ・正答数：14問中6問以下
- ・全国との差：1.3ポイント少ない



正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合(%)		
	岩見沢	岩見沢	道(公立)	国(公立)
14問	20	3.7	4.6	5.0
13問	59	10.9	9.6	10.5
12問	65	12.1	11.8	12.9
11問	75	13.9	13.0	12.8
10問	68	12.6	11.4	11.6
9問	53	9.8	10.4	10.2
8問	50	9.3	9.3	8.7
7問	43	8.0	7.7	7.3
6問	39	7.2	6.5	6.0
5問	21	3.9	5.2	4.8
4問	16	3.0	3.9	3.6
3問	12	2.2	2.9	2.7
2問	10	1.9	1.8	1.8
1問	8	1.5	1.1	1.1
0問	0	0.0	0.9	1.0

※今回の調査での四分位は以下のとおりでした。

	岩見沢	道(公立)	国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

■は、全国の「第1四分位」未満の正答数の児童の割合

【四分位の状況】

四分位における各分位の正答数については岩見沢市は全国と同数である。児童数の割合は全国と比べ、「正答数の多い層」では、やや少ない。一方、「正答数の少ない層」では、やや少ない。

(1) 小学校国語 調査結果から見た課題等と指導改善のポイント

① 課題等

〔思考力、判断力、表現力等〕

【話すこと・聞くこと】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、95.2%で、4.8ポイント下回っている。令和3年度は92.8%であり、上昇傾向にある。
- ・問題番号では、1三、1四が該当し、2問とも全国を下回っている。
- ◆「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」ことに課題がある。〔1四〕

【書くこと】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、105.2%で、5.2ポイント上回っている。令和3年度は100.7%で共に全国を上回っている。
- ・問題番号では、3一、3二が該当し、3一は全国を5.9ポイント上回り、3二は1.7ポイント下回っている。
- ◇「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」ことはできている。〔3一〕

【読むこと】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、98.8%で、1.2ポイント下回っている。令和3年度は95.6%であり、上昇傾向にある。
- ・問題番号では、2一(1)、2一(2)、2二、2三が該当し、2一(1)、2一(2)、2三は全国を下回り、2二は全国を上回っている。
- ◆「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」ことに課題がある。〔2一(1)〕

【知識及び技能】 【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、102.3%で、2.3ポイント上回っている。令和3年度は100.7%で共に全国を上回っている。
- ・問題番号では、1一、1二、3三ア、3三イ、3三ウ、3四が該当し、1二以外は全て上回っている。
1二は0.7ポイント下回っている。
- ◇「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」とことと「話し言葉と書き言葉を理解する」ことはできている。
〔1一、3三ア、3三イ、3三ウ、3四〕
- ◆「言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える」ことに課題がある。〔1二〕

② 課題から考えられる指導改善のポイント

- ・本市では、全国と比べ、「A話すこと・聞くこと」領域の正答率が低く、特に、1四の「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」ことに課題が見られます。
- ・そのため、例えば、話し合う学習活動では、話し合いを始める際に話し合いの目的や方向性を検討すること、話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理すること、様々な視点から検討して自分の考えをまとめることなどを指導する必要があります。そうした学習活動を経験することにより、子どもたちは本問のような問題に対して具体的イメージをもって解答することができます。また、本問を解くために必要なスキルとして、本文からそれぞれの立場を明確にして読むことはもとより、メモにも着目しながらお互いの立場を理解した上で自分の考えを述べる力を養うことが大切です。
- ・全国的に正答率をもっとも低かった問題は、「B書くこと」領域の3二の「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」ことに課題が見られます。
- ・そのため、例えば、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける学習活動では、伝え合う経験を積み重ねていくことで、自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりする指導が大切です。また、本設問のように、自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりすることができるよう指導することが効果的です。

(2) 小学校国語 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			岩見沢市	(公道)	(公全国)	岩見沢市	(公道)	(公全国)
1一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	86.3	85.4	85.5	0.4	0.8	0.9
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	68.1	67.4	68.8	0.4	0.9	1.0
1三	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える	81.8	83.2	84.7	0.4	0.9	1.0
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="checkbox"/> でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる	44.0	44.2	47.7	2.4	3.5	3.0
2一(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える	66.6	67.6	68.4	0.0	0.9	1.0
2一(2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	登場人物の相互関係について、描写を基に捉える	68.1	68.4	70.6	0.2	1.4	1.6
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="checkbox"/> Aに入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する	70.9	66.4	68.3	10.6	13.6	12.2
2三	【山村さんの文章】の <input type="checkbox"/> Bに入る内容として適切なものを選択する	表現の効果を考える	57.5	58.2	59.2	2.0	3.1	3.2
3一	【文章2】の「!.....!」の部分で、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える	65.1	59.1	59.2	1.3	2.4	2.5
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける	36.9	35.8	37.7	13.4	16.4	14.5
3三ア	【文章2】の中の――部アを、漢字を使って書き直す(ろくが)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	69.9	65.4	65.2	5.4	7.9	8.1
3三イ	【文章2】の中の――部イを、漢字を使って書き直す(はんせい)		60.9	59.4	58.7	7.4	10.2	10.2
3三ウ	【文章2】の中の――部ウを、漢字を使って書き直す(したしむ)		69.0	65.8	67.1	13.2	15.4	14.7
3四	(一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く	78.3	75.9	77.9	4.8	5.7	5.9

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答率が「下回る」場合
 ※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答率が「上回る」場合



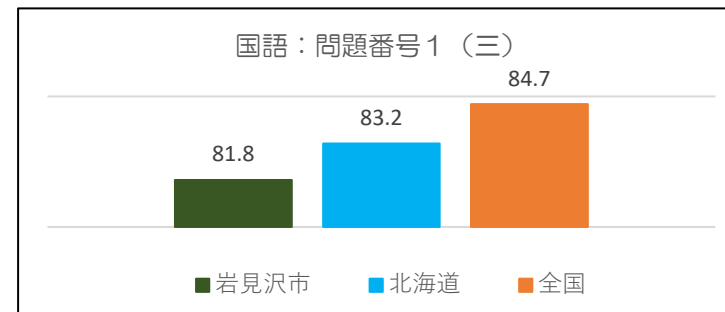
(3) 小学校国語 各教科の領域において全国と比べ3ポイント程度の差がある問題

【地域のためにできることについて話し合う】

問題番号1 (三)

問題の概要	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する
出題の趣旨	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える

岩見沢市	北海道	全国	差
81.8	83.2	84.7	-2.9



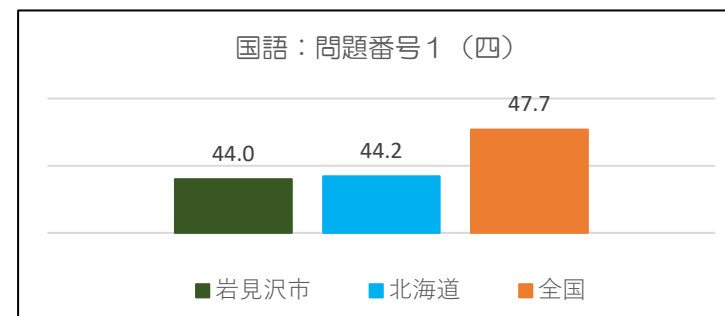
(課題)

全国と比べ、「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること」について理解できていない児童が多い。授業場面では質問するだけに終始せず、質問して分かったことを踏まえて形成した自分の考えを表現できるよう指導することが効果的である。

問題番号1 (四)

問題の概要	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="checkbox"/> でどのように話すかを書く
出題の趣旨	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる

岩見沢市	北海道	全国	差
44.0	44.2	47.7	-3.7



(課題)

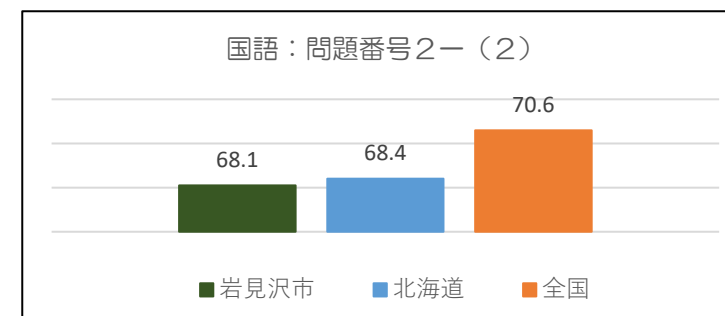
全国と比べ、選んだアイデアの問題点に対する解決方法にふれずに、アイデアを選んだ理由などを書いている解答が多く見られた。話し合いの学習活動では、目的に合った方法で情報を整理し、自分の考えに生かせるような指導が必要である。

【物語を読んで、推薦する】

問題番号2- (2)

問題の概要	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する
出題の趣旨	登場人物の相互関係について、描写を基に捉える

岩見沢市	北海道	全国	差
68.1	68.4	70.6	-2.5



(課題)

全国と比べ、「本物の宇宙船を作ることへのあこがれ」を捉えることができなかった児童が多い。学習指導では、物語全体を通して、相互関係について描かれている複数の描写に着目しながら読むことができるよう指導することが効果的である。

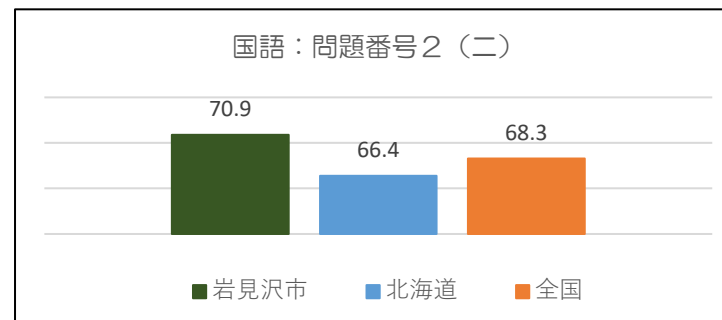
問題番号2 (二)

問題の概要	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text" value="A"/> に入る内容を書く
出題の趣旨	人物像や物語の全体像を具体的に想像する

岩見沢市	北海道	全国	差
70.9	66.4	68.3	2.6

(成果)

全国と比べ、正答率が高い。物語文を読んで、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについて、正しく理解されている児童の割合が高い。引き続き、登場人物の相互関係について、描写を基に捉える指導が望まれる。



【経験を基に考えたことを書く】

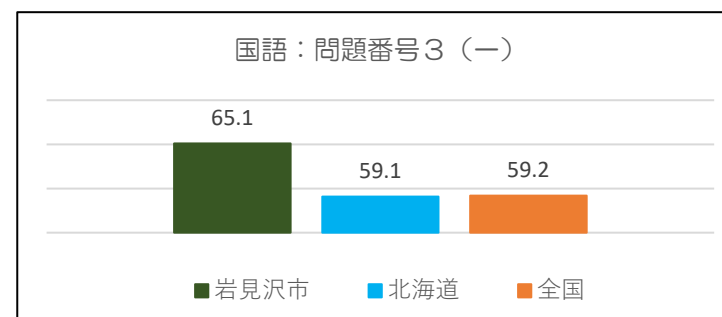
問題番号3 (一)

問題の概要	文章2】の「 <input type="text" value="....."/> 」の部分で、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する
出題の趣旨	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える

岩見沢市	北海道	全国	差
65.1	59.1	59.2	5.9

(成果)

全国的と比べ正答率が高いことから、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができている児童が多い。引き続き、文を書く学習活動では、書く相手や目的に応じて観点を明確にしながらか推察できるよう指導することが大切である。



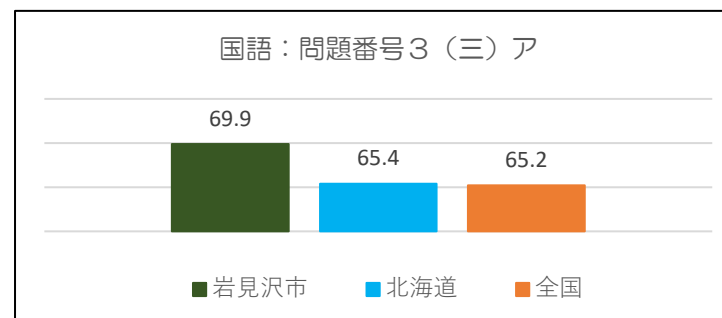
問題番号3 (三) ア

問題の概要	【文章2】の中の <input type="text" value="___部ア"/> を、漢字を使って書き直す (ろくが)
出題の趣旨	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

岩見沢市	北海道	全国	差
69.9	65.4	65.2	4.7

(成果)

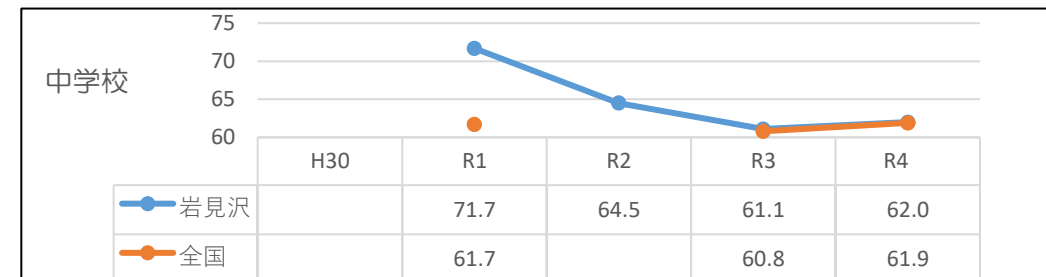
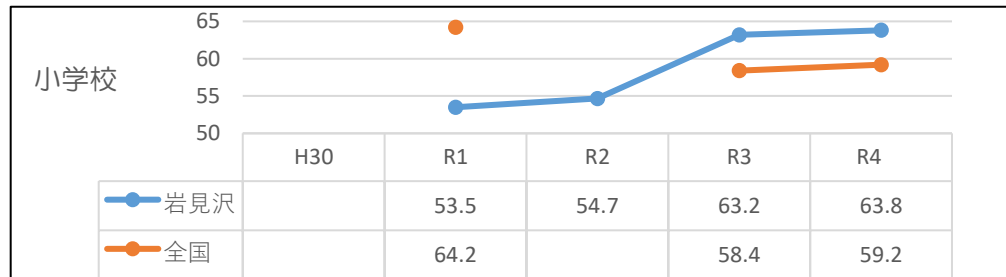
全国と比べ正答率が高いことから、漢字の指導が繰り返し適切に行われていることが窺える。文や文章の中で使う指導も丁寧に行われている成果と考えられる。



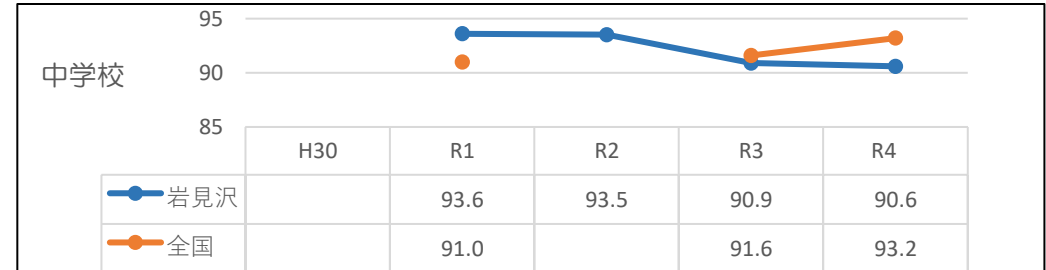
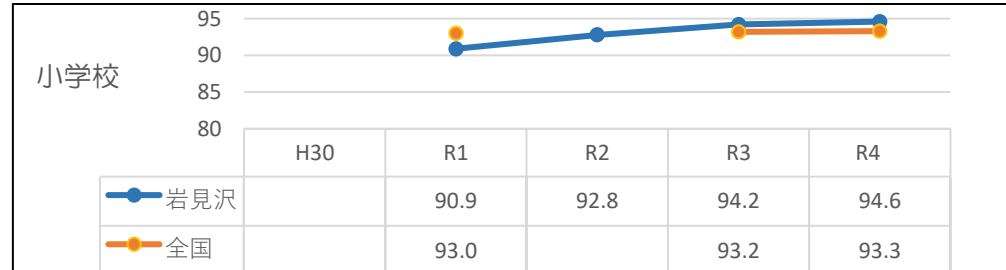
(4) 小・中学校国語 児童生徒質問紙調査

- 小・中学校国語については、多くの設問において全国と同様の傾向が見られる。
- 岩見沢市児童生徒の顕著な回答としては、小学校で(50)「国語の勉強が大切だと思いますか」の問いに肯定的に回答している割合が年々増えている。
- (51)「国語の授業の内容よく分かります」の問いに肯定的に回答している割合は、小学校は全国を上回り、中学校は昨年度まで上回っていたが、今年度下回った。
- (52)「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いに肯定的に回答している割合は、小・中学校共に全国と同程度である。

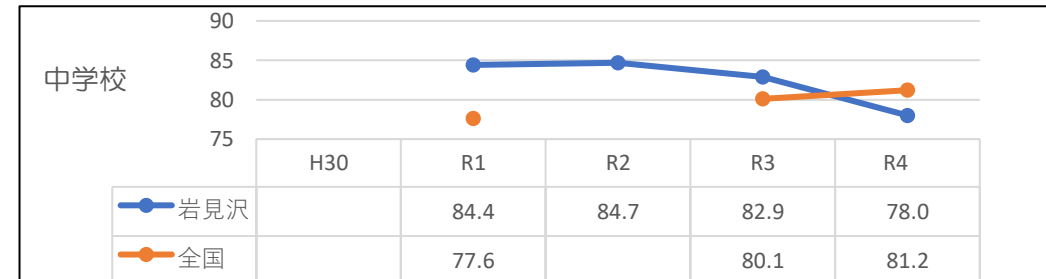
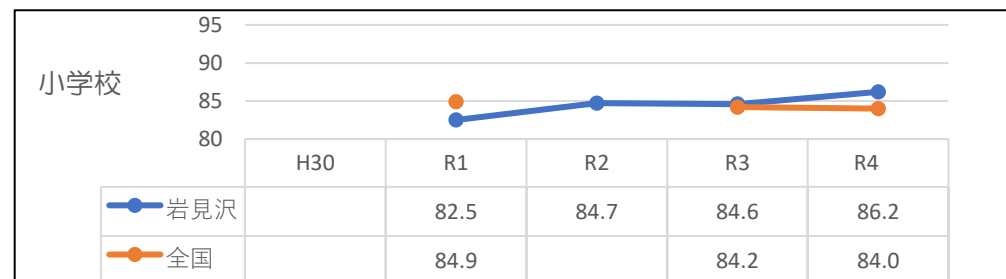
(49) 国語の勉強は好きですか。



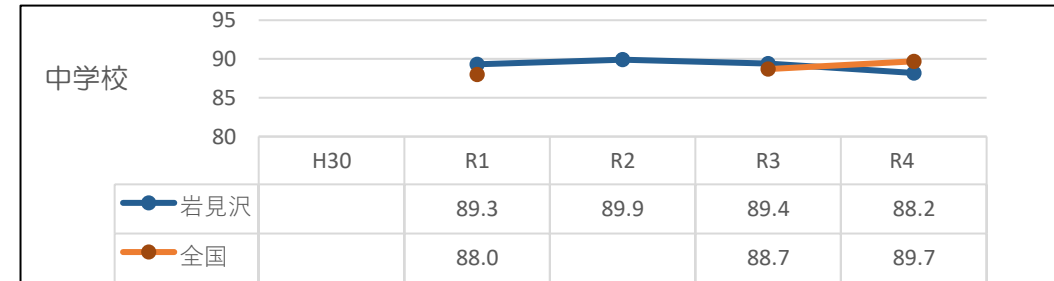
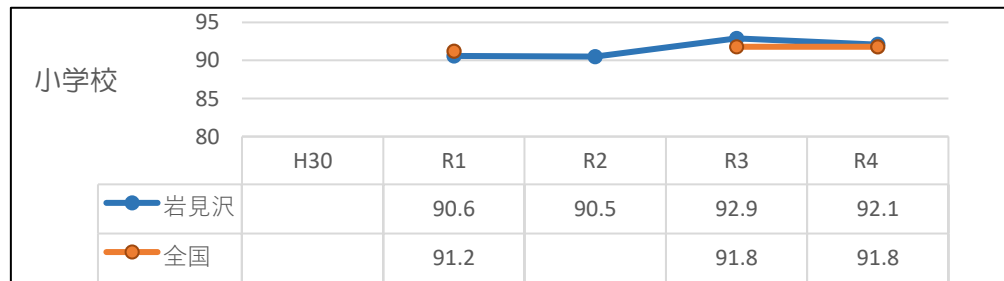
(50) 国語の勉強は大切だと思いますか。



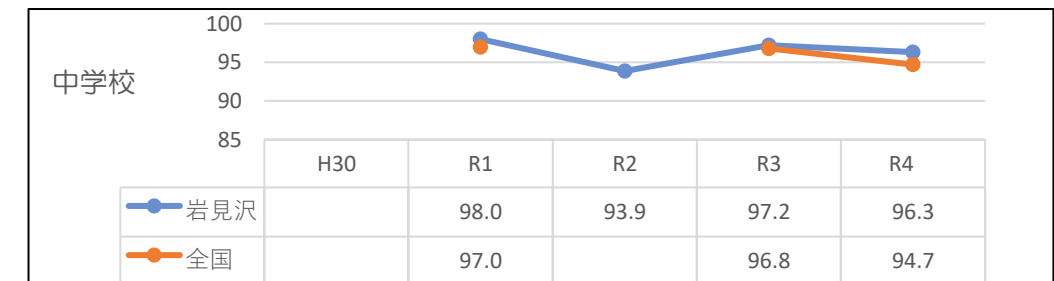
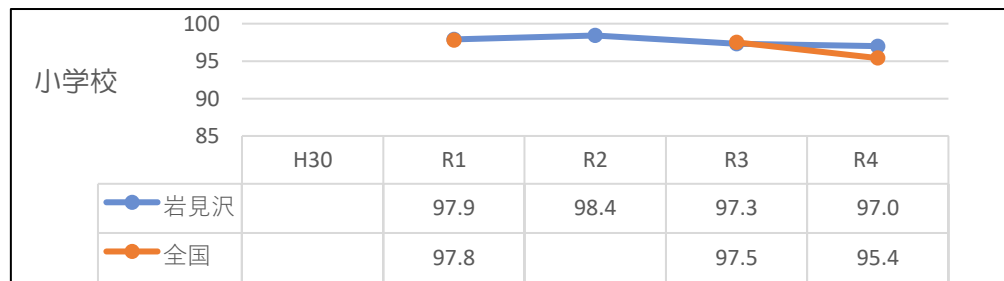
(51) 国語の授業の内容はよく分かりますか。



(52) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



(国1) 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。



Ⅲ 教科に関する調査

2 小学校算数

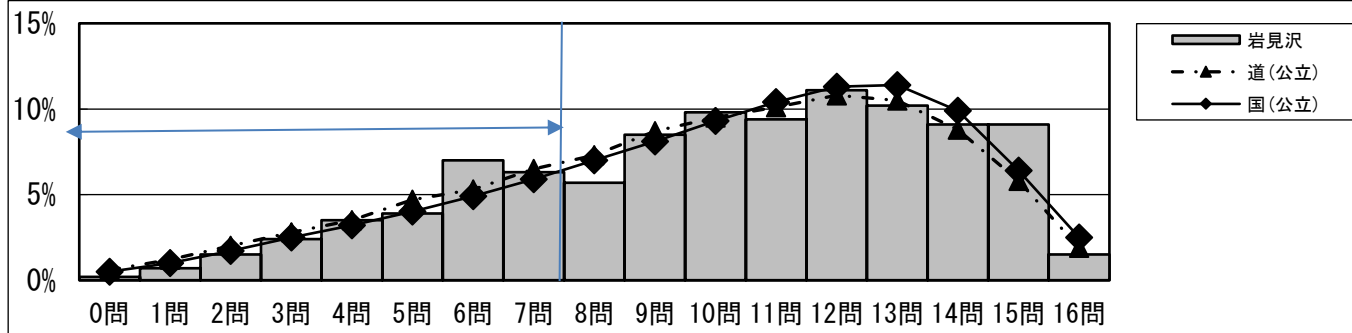
【概要】

- 平均正答率は63【63.0】%
- 平均正答率の小数值での比較では、全国との差は、-0.2ポイント

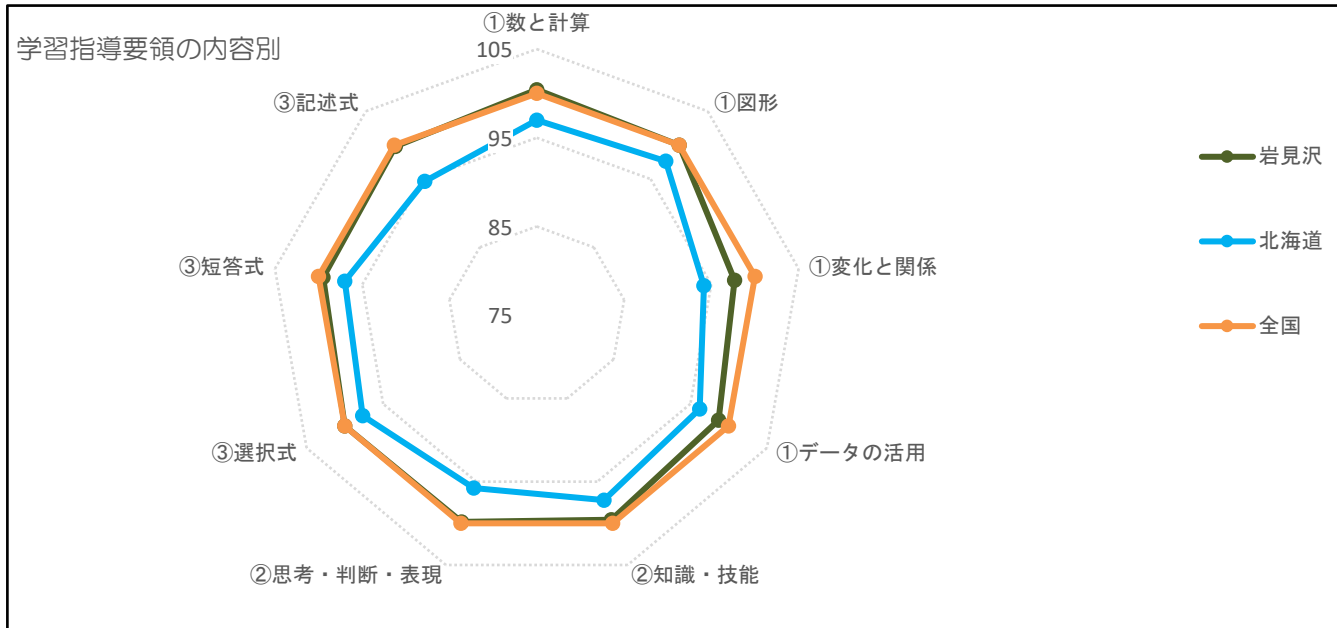
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岩見沢	540	10.1 / 16	63	11.0	3.6
北海道(公立)	34,304	9.8 / 16	61	10.0	3.7
全国(公立)	965,431	10.1 / 16	63.2	11.0	3.6

■全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

- 割合：岩見沢 25.5%
全国 23.7%
- 正答数：16問中7問以下
- 全国との差：1.8ポイント多い



正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合(%)		
	岩見沢	道(公立)	国(公立)	
16問	8	1.5	1.9	2.5
15問	49	9.1	5.8	6.4
14問	49	9.1	8.8	9.9
△ 13問	55	10.2	10.5	11.4
◇ 12問	60	11.1	10.8	11.3
◇ 11問	51	9.4	10.1	10.4
10問	53	9.8	9.5	9.3
9問	46	8.5	8.7	8.1
8問	31	5.7	7.3	7.0
▽ 7問	34	6.3	6.5	5.9
6問	38	7.0	5.3	4.9
5問	21	3.9	4.7	4.0
4問	19	3.5	3.5	3.2
3問	13	2.4	2.8	2.5
2問	8	1.5	2.0	1.7
1問	4	0.7	1.2	1.0
0問	1	0.2	0.6	0.5

※今回の調査での四分位は以下のとおりでした。

	岩見沢	道(公立)	国(公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	11.0問	10.0問	11.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	8.0問

■は、全国の「第1四分位」未満の正答数の児童の割合

【四分位の状況】

四分位における各分位の正答数については、岩見沢市は全国と比べ、第1四分位の正答数が1問少ない。児童数の割合では、全国と比べ「正答数の多い層」はやや少ない。また、「正答数の少ない層」はやや多い。

(1) 小学校算数 調査結果から見た課題等と指導改善のポイント

① 課題等

【数と計算】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、100.4%で0.4ポイント上回っている。令和3年度は96.8%であり、上昇傾向にある。
- 問題番号では、1(1),1(2),1(3),1(4),3(1),3(4)の6問が該当し、3(1),3(4)は全国を下回ったが、残りは全国と同数か上回っている。
- ◇「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を言葉と数を用いて記述する」ことはできている。〔1(3)〕
- ◆「表の意味を理科し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求める」ことに課題がある。〔3(1)〕

【図形】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は100%で全国と同様である。令和3年度は94.1%であり、上昇傾向にある。
- 問題番号では、4(1)、4(2)、4(3)、4(4)が該当し、4(1)と4(2)は全国を上回っているが、4(3)、4(4)は全国を下回っている。
- ◇「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述する」ことはできている。〔4(1)〕
- ◆「図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方についての理解」に課題がある。〔4(3)〕

【変化と関係】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は97.7%で2.3ポイント下回っている。令和3年度は95.8%であり、やや上昇している。
- 問題番号では、2(1)、2(2)、2(3)、2(4)が該当し、2(3)は全国を上回っているが、残りは全て下回っている。特に、2(4)は全国を3.9ポイント下回っている。
- ◇「示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解する」ことはできている。〔2(3)〕
- ◆「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」ことに課題がある。〔2(4)〕

【データの活用】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は98.7%で1.3ポイント下回っている。令和3年度は98.6%であり、同様の傾向である。
- 問題番号では、3(1)、3(2)、3(3)が該当し、3(3)は全国を上回っているが、残りは全国を下回っている。特に、3(1)は全国を2.9ポイント下回っている。
- ◇「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る」ことはできている。〔3(3)〕
- ◆「表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求める」ことに課題がある。〔3(1)〕

② 課題から見られる指導改善のポイント

- 本市では、全国と比べ「数と計算」、「図形」は全国と同程度ですが、「変化と関係」、「データの活用」は全国を下回っています。中でも、2(4)「比例の関係を用いて、未知の数量を求める問題」、3(1)「表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求める問題」などに課題が見られます。
- そのため、例えば、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりする学習活動を繰り返し行う必要があります。また、伴って変わる二つの数量の間に比例の関係があることを見い出し、その比例の関係を用いて、未知の数量を求める学習問題に数多く取り組む必要があります。
- 全国的に最も正答率が低かった問題は2(3)「果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ」問題で、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解できるようにする学習活動が不足していると考えられます。

(2) 小学校算数 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			岩見沢市	(公道)	(公全国)	岩見沢市	(公道)	(公全国)
1(1)	1050×4を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	92.4	92.3	92.4	0.0	0.4	0.3
1(2)	14と21の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	74.4	70.1	72.2	1.7	4.1	3.0
1(3)	カップケーキ7個分の値段を、1470÷3で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	78.9	73.5	76.0	3.3	6.4	5.2
1(4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	37.0	36.0	34.8	0.2	1.0	0.9
2(1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	百分率で表された割合を分数で表すことができる	70.9	69.0	71.1	3.3	4.7	3.9
2(2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる	63.0	61.4	64.6	2.8	4.0	3.3
2(3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	22.4	21.0	21.4	0.6	1.2	1.1
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる	44.1	41.8	48.0	4.3	6.7	5.5
3(1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	72.4	70.2	75.3	0.9	2.6	2.1
3(2)	分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる	63.0	61.3	63.9	0.6	1.7	1.6
3(3)	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる	68.0	66.8	66.8	1.7	2.6	2.2
3(4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる	65.6	63.8	67.7	8.0	10.4	8.6
4(1)	示されたプログラムについて、正三角形をかきことができる正しいプログラムに書き直す	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる	51.9	49.0	48.8	3.5	4.4	3.8
4(2)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	83.5	82.1	83.2	5.2	5.6	4.7
4(3)	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかきことができるプログラムを選ぶ	図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している	64.4	64.2	66.5	5.2	5.3	4.6
4(4)	示されたプログラムでかきことができる図形を選ぶ	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる	56.1	54.5	57.6	5.6	5.9	5.1

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答率が「下回る」場合
 ※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答率が「上回る」場合

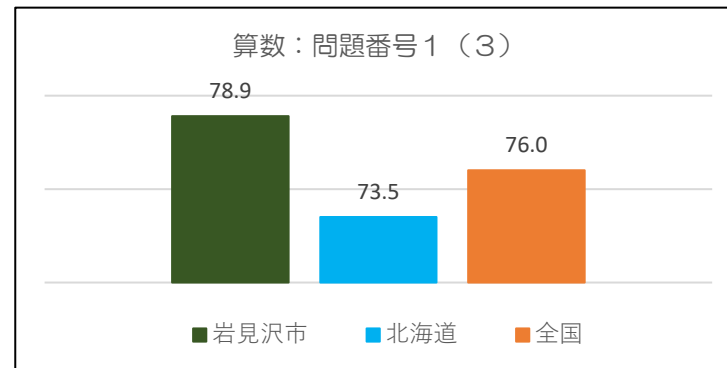
(3) 小学校算数 各教科の領域において全国と比べ3ポイント程度の差がある問題

【数と計算】

問題番号1 (3)

問題の概要	カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く
出題の趣旨	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる

岩見沢市	北海道	全国	差
78.9	73.5	76.0	2.9



(成果)

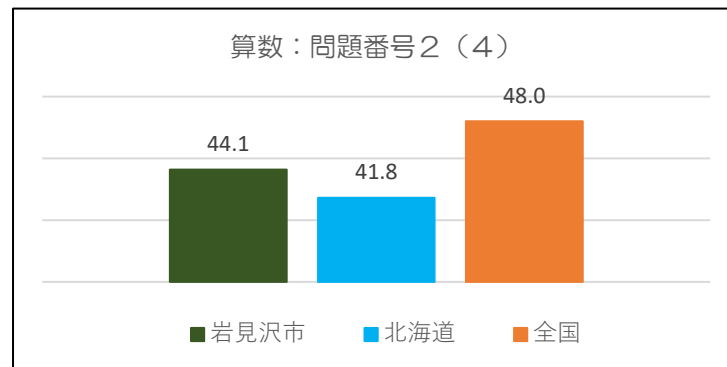
岩見沢市は、全国・全道と比べ正答率が高いため、「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する」ことができていると言える。誤答は「カップケーキが3列あることは記述できているが、1470円を3等分することは記述できていない」ことによる。問題場面の数量の関係に着目し、等分除が用いられる場面であると解釈して、除法の計算を日常生活に生かすことができるようにする指導が大切である。

【変化と関係】

問題番号2 (4)

問題の概要	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く
出題の趣旨	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる

岩見沢市	北海道	全国	差
44.1	41.8	48.0	-3.9



(課題)

比例の関係を用いて、180 mLが30mLの6倍であることを求める式や言葉の記述できていない児童が多いと考えられる。一方の数量に伴って他方の数量がどのように変化するかに着目して、未知の数量を求めることができるようにする指導が大切である。

【数と計算】【データの活用】

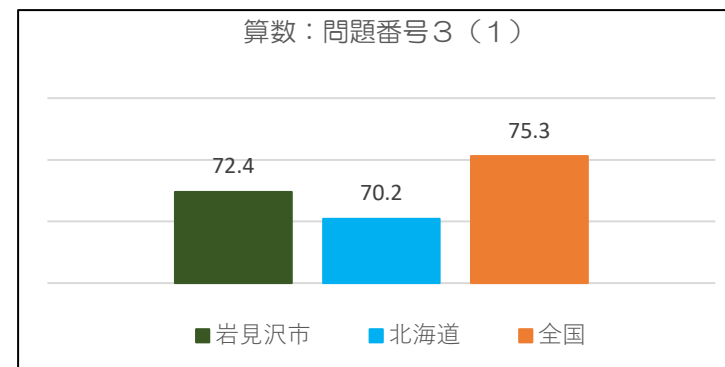
問題番号3(1)

問題の概要	表のしりとりの欄に入る数を求める式と答えを書く
出題の趣旨	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる

岩見沢市	北海道	全国	差
72.4	70.2	75.3	-2.9

(課題)

表の各欄と合計欄の意味を理解して、数量の関係を口を用いた式に表し、口に当てはまる数を求めることはできているが、しりとりの票数を求めるための式に表していないと考えられる。問題場面の数量の関係について、四則を混合させたり()を用いたりして一つの式に表すことができるようにする指導が必要である。



【図形】

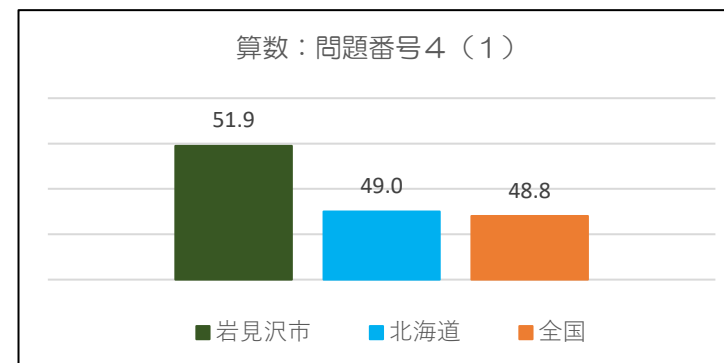
問題番号4(1)

問題の概要	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す
出題の趣旨	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる

岩見沢市	北海道	全国	差
51.9	49.0	48.8	3.1

(成果)

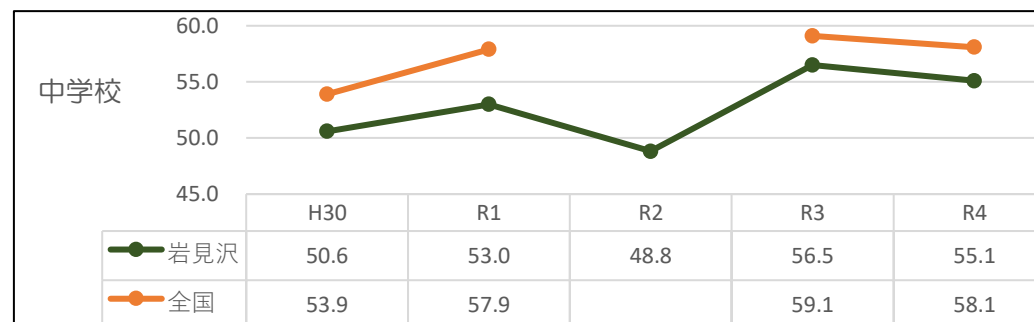
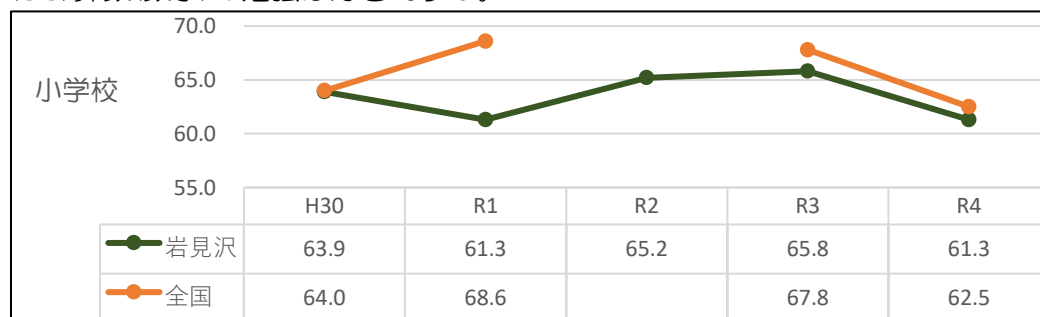
岩見沢市は、全国・全道と比べ正答率が高いので、「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述する」ことができていると言える。誤答は、「書こうとした正三角形を書くために直す命令を選ぶことはできているが、正三角形の一つの角の大きさである 60° と誤って記述している」と考えられる。コンピュータを用いると、角の大きさを変えるだけですぐに図形を作図できるため、正三角形を作図できた場合でも、それだけで終わるのではなく、回転する角の大きさを 120° にした理由について考えさせる指導が大切である。



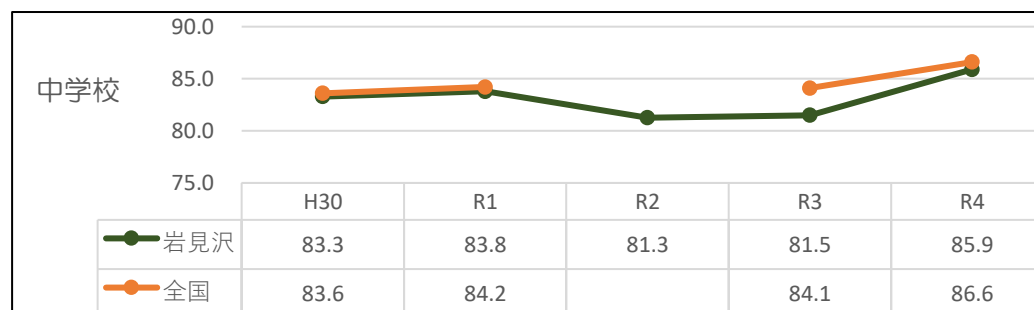
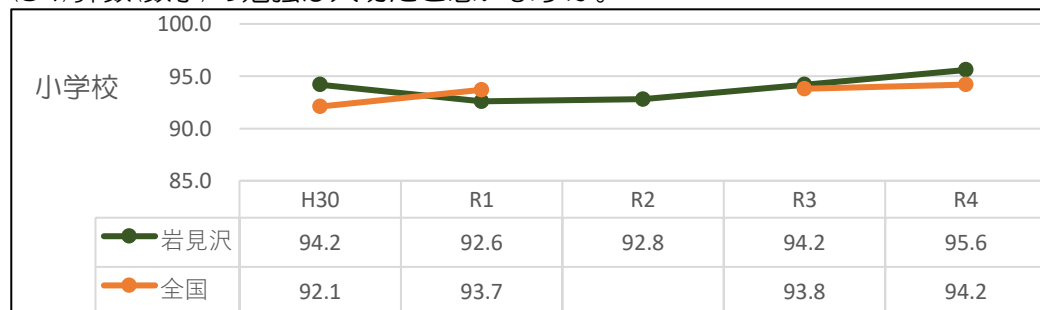
(4) 小・中学校算数(数学) 児童生徒質問紙調査

- ・小学校算数・中学校数学の設問については、多くの設問において全国と同様の傾向がみられる。
- ・岩見沢市の児童生徒の顕著な回答としては、(60)「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」の問いに肯定的に回答している児童の割合は全国よりも高い。
- ・(56)「学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いに肯定的に回答している割合は、小学校では9割を超えており、中学校は約8割だが前年度より上昇傾向にある。
- ・(57)「学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていますか」の問いに肯定的に回答している割合は、小学校では7割を切り、前年度を下回った。中学校でも5割に満たない状況で低下傾向にある。

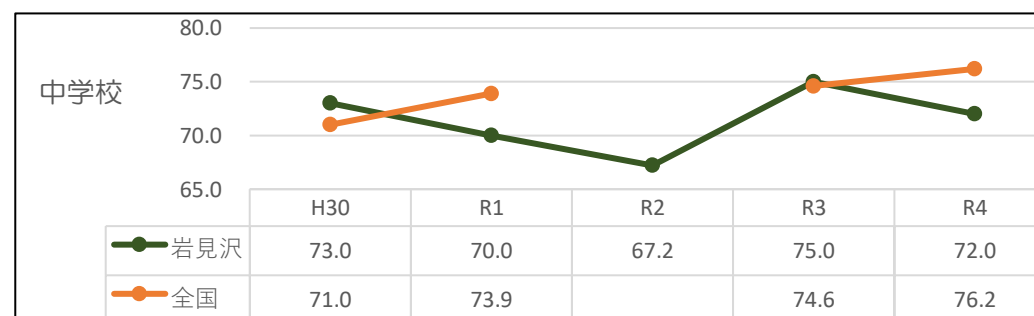
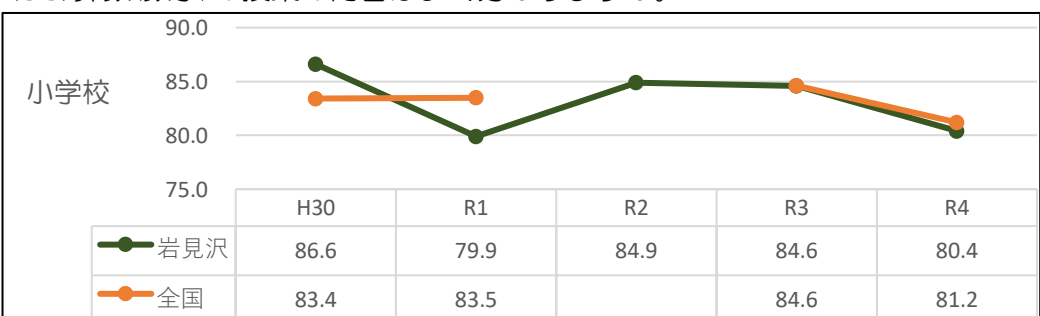
(53) 算数(数学)の勉強は好きですか。



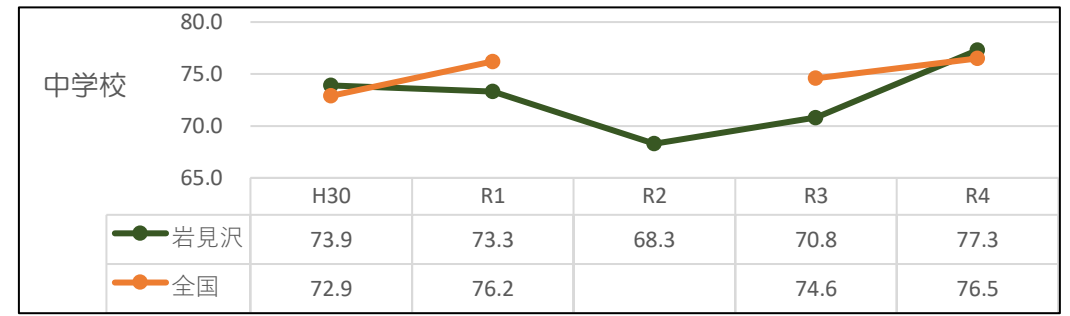
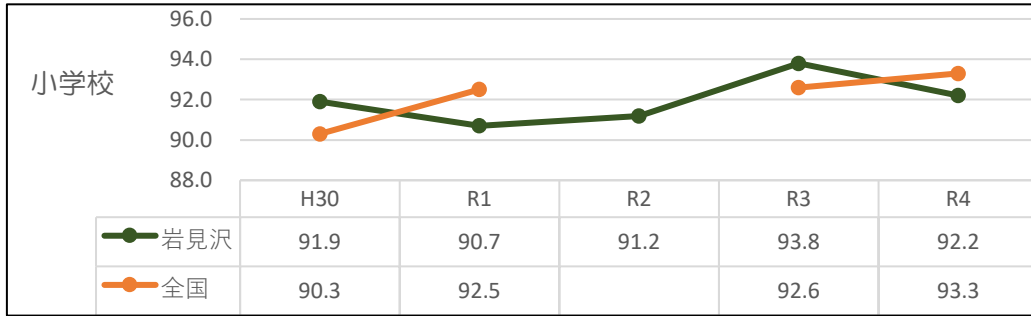
(54) 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか。



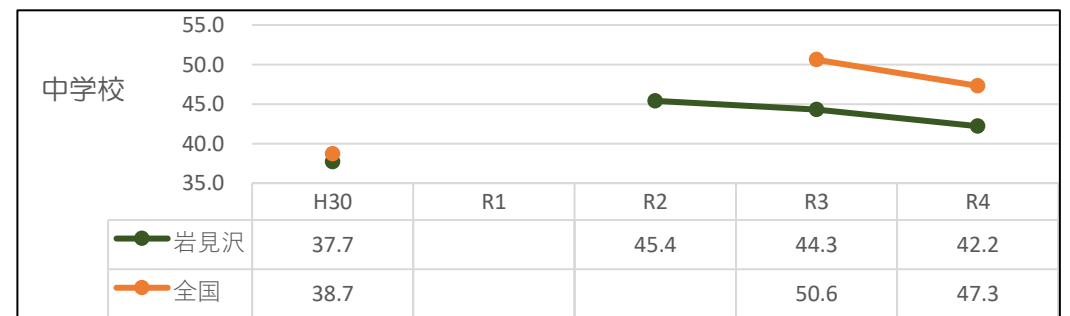
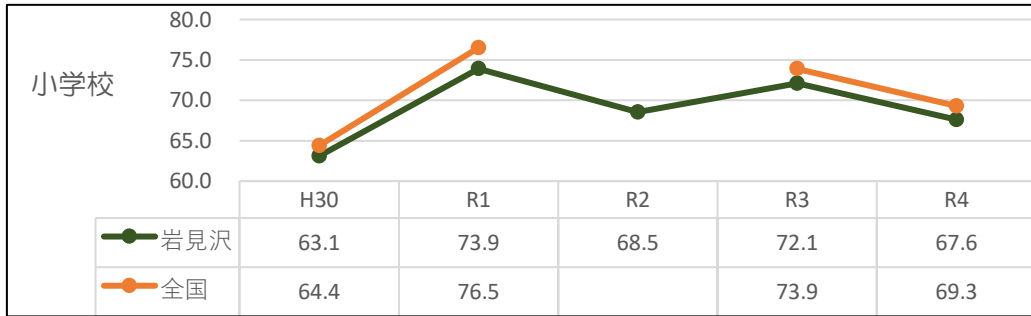
(55) 算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか。



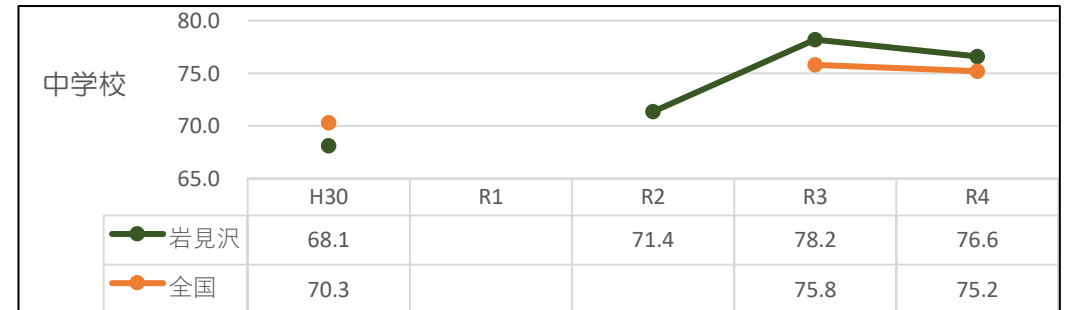
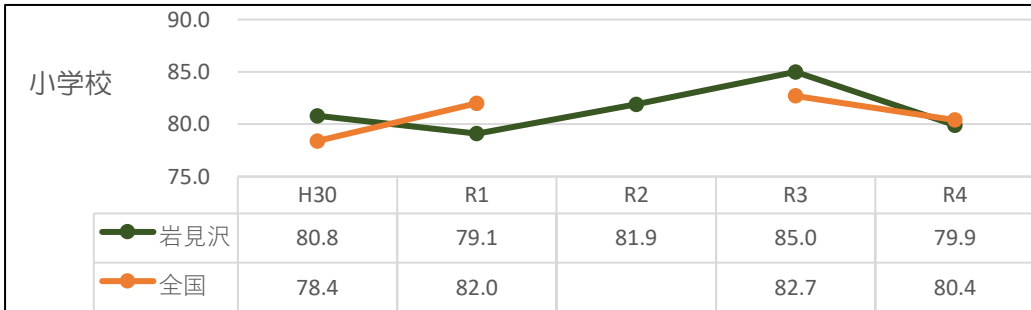
(56)算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



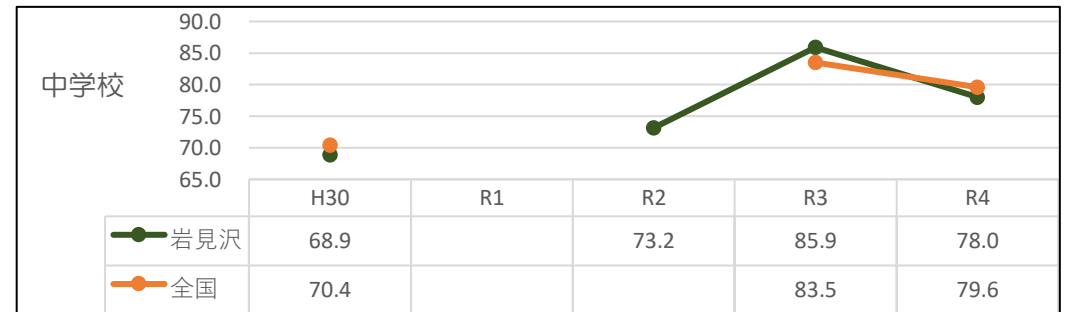
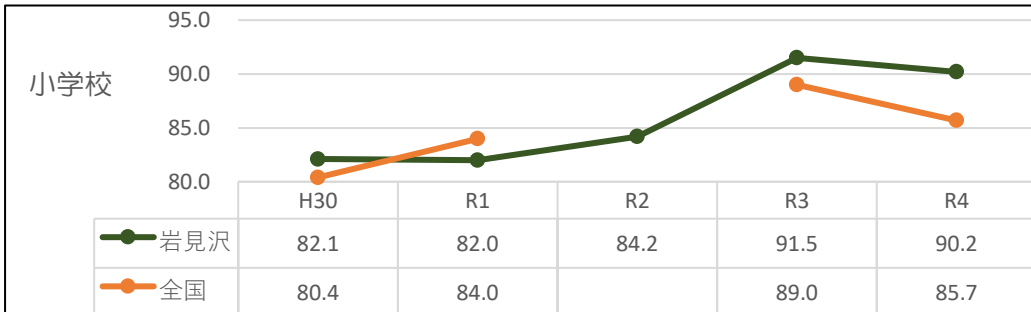
(57)算数(数学)の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていますか。



(58)算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えていますか。



(60)算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。



Ⅲ 教科に関する調査結果

3 小学校理科

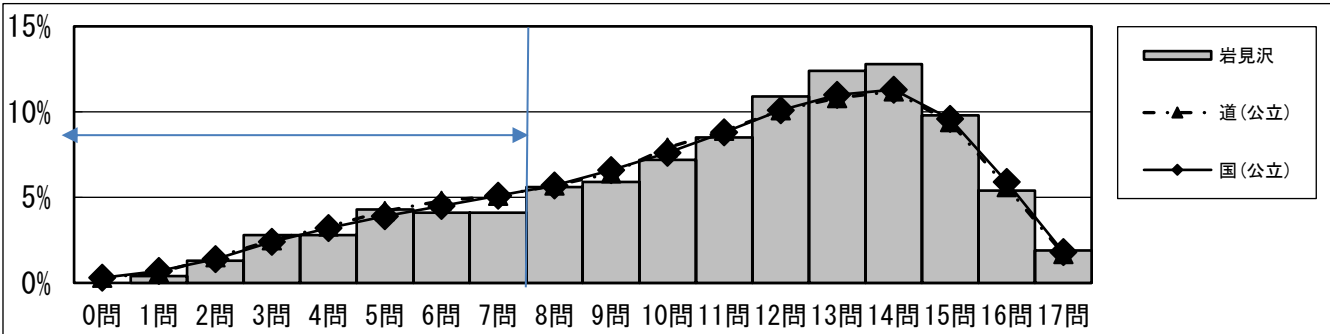
【概要】

- 平均正答率は64【64.5】%
- 平均正答率の小数值での比較では、全国との差は、+1.2ポイント

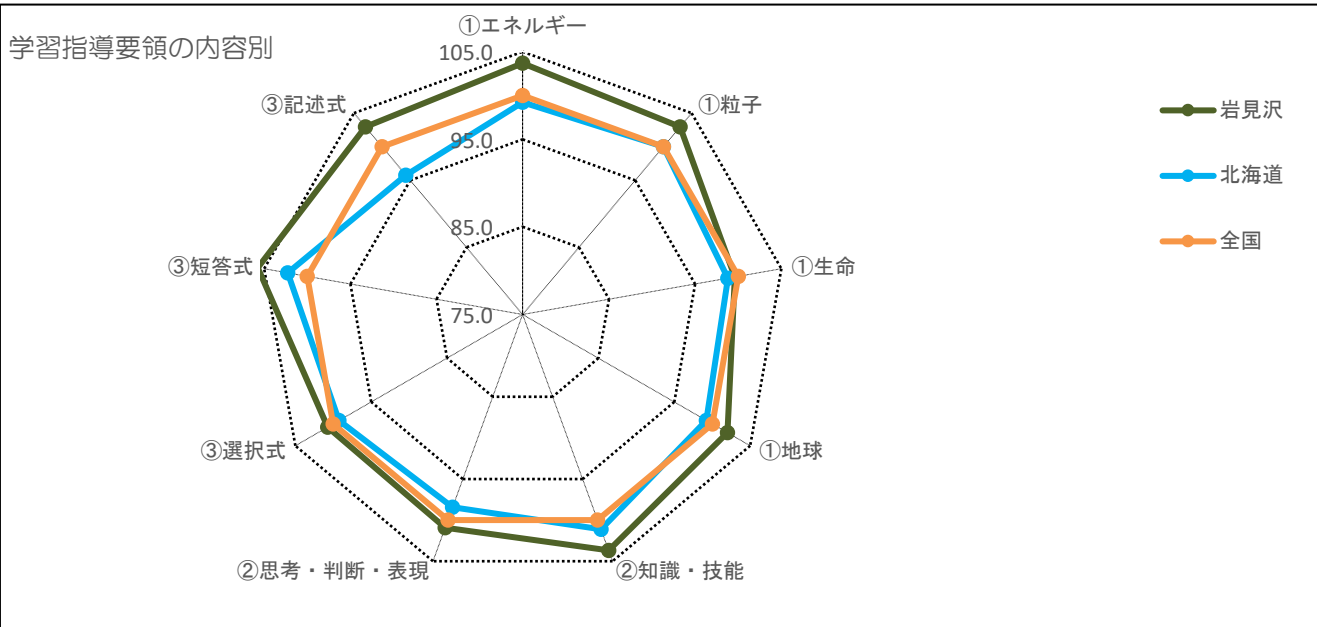
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岩見沢	540	11.0 / 17	64	12.0	3.7
北海道(公立)	34,310	10.7 / 17	63	11.0	3.8
全国(公立)	965,761	10.8 / 17	63.3	11.0	3.8

■全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

- ・割合：岩見沢 19.8%
：全国 21.5%
- ・正答数：17問中7問以下
- ・全国との差：1.7ポイント少ない



正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合(%)		
	岩見沢	岩見沢	道(公立)	国(公立)
17問	10	1.9	1.7	1.8
16問	29	5.4	5.6	5.9
15問	53	9.8	9.4	9.6
△ 14問	69	12.8	11.2	11.3
◇ 13問	67	12.4	10.8	11.0
◇ 12問	59	10.9	10.1	10.1
11問	46	8.5	8.9	8.8
10問	39	7.2	7.9	7.6
9問	32	5.9	6.4	6.6
▽ 8問	30	5.6	5.7	5.7
7問	22	4.1	5.1	5.1
6問	22	4.1	4.8	4.5
5問	23	4.3	4.2	3.9
4問	15	2.8	3.3	3.2
3問	15	2.8	2.5	2.4
2問	7	1.3	1.5	1.4
1問	2	0.4	0.6	0.7
0問	0	0.0	0.3	0.3

※今回の調査での四分位は以下のとおりでした。

	岩見沢	道(公立)	国(公立)
△ 第3四分位	14.0問	14.0問	14.0問
◇ 第2四分位	12.0問	11.0問	11.0問
▽ 第1四分位	8.0問	8.0問	8.0問

■ は、全国の「第1四分位」未満の正答数の児童の割合

【四分位の状況】

四分位における各分位の正答数は岩見沢市は全国と比べ第2四分位が1問多い。児童数の割合は全国と比べ、「正答数の多い層」ではやや多い。また、「正答数の少ない層」ではやや少ない。

(1) 小学校理科 調査結果から見た課題等と指導改善のポイント

① 課題等

【粒子】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、102.9%で2.9ポイント上回っている。平成30年度は全国と同様であり、上昇している。
- ・問題番号では、2(1)、2(2)、2(3)、2(4)、4(4)の5問が該当し、2(3)、4(4)は全国を下回ったが、残りは全国を上回っている。
- ◇「メスシリンダーという器具」は理解している。〔2(1)〕
- ◆「自然の事物・現象から得た情報を他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる」ことに課題がある。〔2(3)〕

【エネルギー】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は103.7%で3.7ポイント上回っている。平成30年度は全国と同様であり、上昇している。
- ・問題番号では、3(1)、3(2)、3(3)、3(4)の4問が該当し、いずれも全国を上回っている。
- ◇「自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもち」ことはできている。〔3(3)〕
- ◇「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する」ことはできている。〔3(4)〕

【生命】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は99.6%で0.4ポイント下回っている。平成30年度は全国と同様であり、やや下降している。
- ・問題番号では、1(1)、1(2)、1(3)、1(4)、1(5)の5問が該当し、1(2)、1(3)は全国を上回ったが、残りは全国を下回っている。特に、1(4)は全国を2.6ポイント下回っている。
- ◇「自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述する」ことはできている。〔1(2)〕
- ◆「提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち」ことに課題がある。〔1(4)〕

【地球】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は102%で2ポイント上回っている。平成30年度は1.9ポイント下回っていたので、上昇している。
- ・問題番号では、3(3)、4(1)、4(2)、4(3)、4(4)の5問が該当し、4(1)と4(4)は全国を下回ったが、残りは全国を上回っている。特に、3(3)は全国を3.7ポイント上回り、4(4)は全国を2.7ポイント下回っている。
- ◇「自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもち」ことはできている。〔3(3)〕
- ◆「水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している」ことに課題がある。〔4(4)〕

② 成果や課題から見られる今後の指導のポイント

- ・本市では、全国と比べ「生命」は全国を下回っているが、残りは全て全国を上回っています。
- ・全17問中11問の平均正答率が全国を上回っており、特に、2(1)「メスシリンダーという器具の理解」は10.3ポイント上回っています。
- ・「生命」では、例えば、教室で昆虫を飼育し、飼育した昆虫の成長を観察し、問題を解決した後、観察記録と他の学習や子どもたちのこれまでの生活経験とを比較しながら新たな問題を見いだす学習活動を行うことが考えられます。
- ・子どもたちの好奇心等を高めるため、全領域でタブレットを活用した探究型の学習や実験をビデオで撮って分析する方法も考えられます。
- ・全国的に最も正答率が低かった問題は3(1)「光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ」問題で、授業の中では、実際に鏡を使って日光が反射したときにも直進することを体験的に学ぶ学習活動を多く取り入れるとともに、問題文をよく読み、問題を具体的にイメージできるようにする指導が必要です。

(3) 小学校理科 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			岩見沢市	(公道)	(全国)	岩見沢市	(公道)	(全国)
1(1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる	92.8	92.7	92.9	0.0	0.2	0.2
1(2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	68.3	65.4	67.5	2.2	5.4	5.0
1(3)	昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ	昆虫の体のつくりを理解している	73.7	72.7	73.1	0.0	0.3	0.3
1(4)	資料を基に、カプトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	73.5	75.5	76.1	0.2	0.7	0.7
1(5)	育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ	観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	65.4	64.4	65.5	1.3	1.5	1.4
2(1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している	78.1	74.3	67.8	5.6	8.0	9.8
2(2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている	73.0	70.3	70.0	0.2	0.6	0.6
2(3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる	59.4	60.8	62.8	0.6	1.0	1.0
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	41.1	36.8	39.3	5.9	8.8	8.7
3(1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している	28.7	28.3	27.8	0.0	0.6	0.6
3(2)	実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ	問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している	75.9	73.7	74.4	0.2	1.2	1.3
3(3)	鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く	自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる	72.6	69.2	68.9	3.7	5.2	5.1
3(4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	36.7	33.7	35.1	9.1	11.2	11.2
4(1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	81.7	81.1	82.3	0.9	1.2	1.0
4(2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる	67.6	64.9	64.5	0.7	1.4	1.3
4(3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	48.5	45.5	45.5	4.3	6.2	6.5
4(4)	鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く	水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している	59.3	59.6	62.0	4.3	6.5	6.2

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答率が「下回る」場合
 ※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答率が「上回る」場合

Ⅲ 教科に関する調査

4 中学校国語

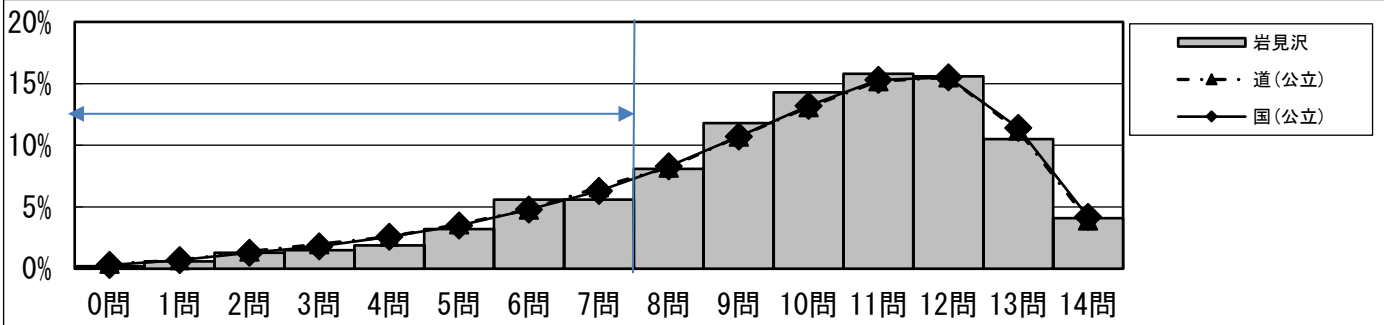
【概要】
 ○ 平均正答率は69【69.5】%
 ○ 平均正答率の小数值での比較では、全国との差は、+0.5ポイント

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岩見沢市	533	9.7 / 14	69	10.0	2.8
北海道(公立)	32,910	9.6 / 14	69	10.0	3.0
全国(公立)	891,820	9.7 / 14	69.0	10.0	2.9

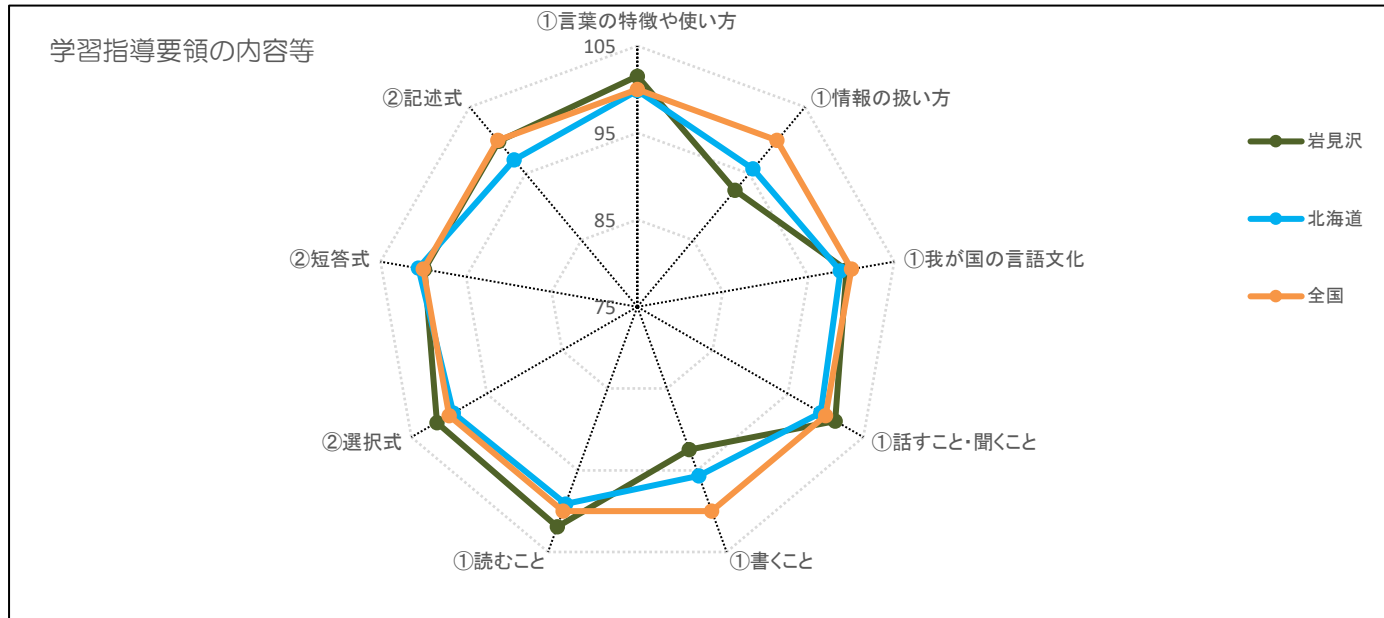
■ 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合

- 割合：岩見沢 19.9%
全国 21.3%
- 正答数：14問中7問以下
- 全国との差：1.4ポイント少ない

正答数	生徒数	割合(%)		
	岩見沢	岩見沢	道(公立)	国(公立)
14問	22	4.1	3.9	4.2
13問	56	10.5	11.2	11.4
△ 12問	83	15.6	15.5	15.5
◇ 11問	84	15.8	15.2	15.3
◇ 10問	76	14.3	13.1	13.2
▽ 9問	63	11.8	10.7	10.7
▽ 8問	43	8.1	8.2	8.3
7問	30	5.6	6.6	6.3
6問	30	5.6	4.8	4.8
5問	17	3.2	3.6	3.5
4問	10	1.9	2.6	2.6
3問	8	1.5	2.0	1.8
2問	7	1.3	1.4	1.3
1問	3	0.6	0.7	0.7
0問	1	0.2	0.4	0.3



正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



※今回の調査での四分位は以下のとおりでした。

	岩見沢	道(公立)	国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	8.0問	8.0問	8.0問

■ は、全国の「第1四分位」未満の正答数の生徒の割合

【四分位の状況】
 四分位における各分位の正答数については、岩見沢市は全国と同数である。
 生徒数の割合は全国と比べ、「正答数の多い層」では、やや少ない。また、「正答数の少ない層」でも、やや少ない。

(1) 中学校国語 調査結果から見た課題等と指導改善のポイント

① 課題等

〔思考力、判断力、表現力等〕

【話すこと・聞くこと】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、101.3%で、1.3ポイント上回っている。昨年度は101.4%で共に全国より高い。
- ・問題番号では、1一、1二、1三の3問が該当し、1一は全国を下回っているが、後の2問は全国を上回っている。
- ◇「論理の展開などに注意して聞くこと」はできている。〔1二〕
- ◆「聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫すること」に課題がある。〔1一〕

【書くこと】・〔知識及び技能〕【情報の扱い方に関する事項】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、92.5%で、7.5ポイント下回っている。昨年度は106.8%なので低下した。
- ・問題番号では、2三が該当し、全国を下回っている。また、正答率は50%を下回っており課題である。
- ◆「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」に課題がある。〔2三〕

【読むこと】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、101.9%で1.9ポイント上回っている。昨年度は99.6%なので上昇した。
- ・問題番号では3三、3四が該当し、3四は全国を上回ったが、3三は下回っている。
- ◇「場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈すること」はできている。〔3四〕
- ◆「場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えること」に課題がある。〔3三〕

〔知識及び技能〕

【言語の特徴や使い方に関する事項】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、101.5%で、1.5ポイント上回っている。
- ・問題番号では、1三、2一、2二①、2二②、3一、3二の6問が該当し、1三、3一、3二は全国を上回り、2一、2二①は下回った。
- ◇「表現の技法について理解すること」はできている。〔3一〕
- ◆「文脈に即して漢字を正しく書くこと」に課題がある。〔2二①〕

【我が国の言語文化に関する事項】

- ・全国を100とした時、岩見沢市の状況は、99.4%で、0.6ポイント下回っている。
- ・問題番号では、4一、4二、4三が該当し、4二は全国を上回ったが、4一、4三は下回った。
- ◆「行書の特徴を理解すること」に課題がある。〔4一〕

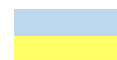
② 課題から考えられる指導改善のポイント

- ・本市では、全国と比べ「B書くこと」領域の正答率が低く、2三の「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」に課題が見られます。
- ・そのため、意見文を書く学習活動では、「題材の設定、情報の収集、内容の検討」、「構成の検討」、「考えの形成、記述」、「推敲」、「共有」に関する各指導事項を身に付けることができるように、意図的・計画的かつ系統的に3年間指導することが大切です。その際、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす学習活動を設定する必要があります。また、タブレット等を活用することにより、作成した意見文の構成を変えたり、推敲が複数回できるような工夫が考えられます。
- ・全国的に正答率がもっとも低かった問題は、知識及び技能「我が国の言語文化に関する事項」の4一で、「行書の特徴を理解すること」に課題が見られます。
- ・そのため、例えば、直線的な点画で構成されている漢字を行書で書く際には、止め・はね等の形が変わったり、筆順が変わったりする場合がありますなど、行書の特徴を捉えた書く指導が必要です。また、実際に行書で書いた文字のどの部分に表れているかを確認する学習活動も考えられます。

(2) 中学校国語 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			岩見沢市	(公道) (公立)	(公全国) (立国)	岩見沢市	(公道) (公立)	(公全国) (立国)
1一	スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する	72.0	75.3	74.7	2.1	4.0	3.8
1二	話の進め方のよさを具体的に説明したのとして適切なものを選択する	論理の展開などに注意して聞く	69.8	65.4	65.1	0.2	0.1	0.1
1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す	52.2	49.8	51.8	15.0	18.6	16.2
2一	意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う	81.4	81.5	82.3	0.0	0.2	0.2
2二①	漢字を書く(のぞく)	文脈に即して漢字を正しく書く	76.9	80.9	82.1	11.8	9.7	8.8
2二②	漢字を書く(よろこんで)		80.5	80.3	80.5	2.6	3.6	3.3
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	43.0	44.5	46.5	6.9	10.0	9.0
3一	「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する	表現の技法について理解する	60.0	55.2	52.5	0.8	0.7	0.7
3二	「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解する	88.7	84.8	84.0	0.0	0.3	0.3
3三	話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える	場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える	61.7	61.7	62.0	0.8	1.0	1.0
3四	「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く	場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する	76.7	73.0	73.8	12.6	15.1	13.3
4一	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する	37.9	38.5	39.4	1.1	1.2	0.9
4二	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する	90.8	89.0	90.1	1.3	1.4	1.0
4三	書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する	80.7	80.5	81.1	1.7	1.5	1.1

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答率が「下回る」場合
 ※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答率が「上回る」場合



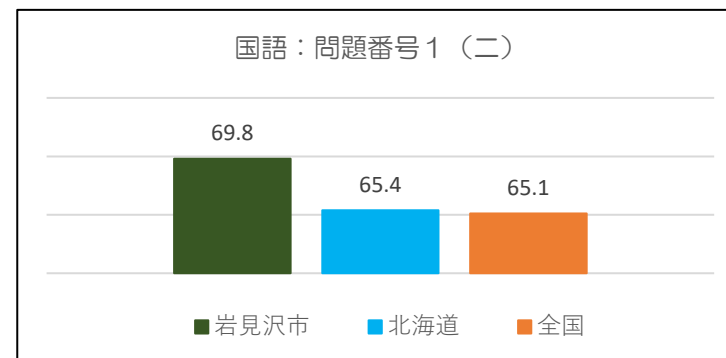
(3) 中学校国語 各教科の領域において全国と比べ3ポイント以上の差がある問題

【スピーチをする】

問題番号1 (二)

問題の概要	話の進め方のよさを具体的に説明したものとして適切なものを選択する
出題の趣旨	論理の展開などに注意して聞く

岩見沢市	北海道	全国	差
69.8	65.4	65.1	4.7



(成果)

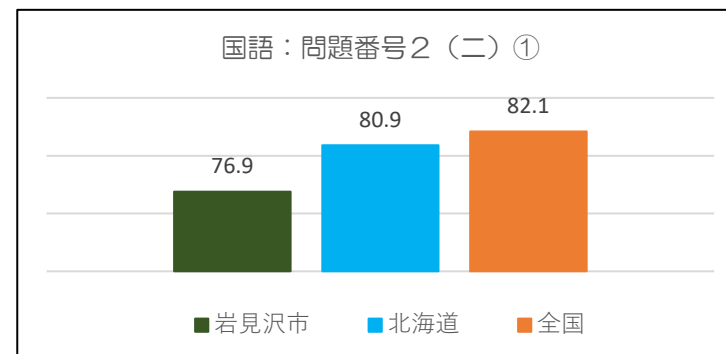
「論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること」はできている。

【意見文を書く】

問題番号2 (二) ①

問題の概要	漢字を書く (のぞく)
出題の趣旨	文脈に即して漢字を正しく書く

岩見沢市	北海道	全国	差
76.9	80.9	82.1	-5.2



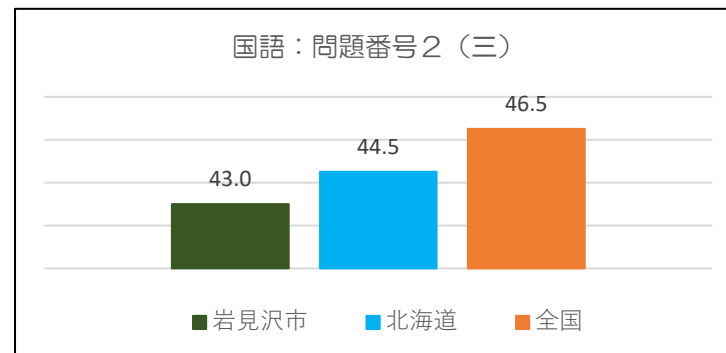
(課題)

「小学校第6学年の配当漢字である『除』を、文脈に即して漢字で正しく書くこと」に課題がある。特に、無回答率が高い。

問題番号2 (三)

問題の概要	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える
出題の趣旨	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く

岩見沢市	北海道	全国	差
43.0	44.5	46.5	-3.5



(課題)

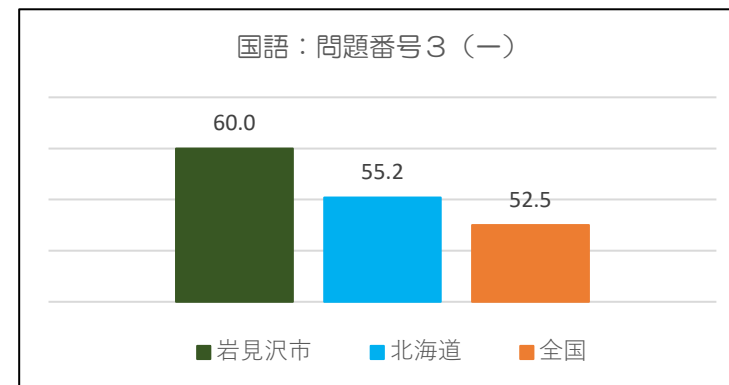
「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」に課題がある。

【文学的な文章を読む】

問題番号3 (一)

問題の概要	「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する
出題の趣旨	表現の技法について理解する

岩見沢市	北海道	全国	差
60.0	55.2	52.5	7.5



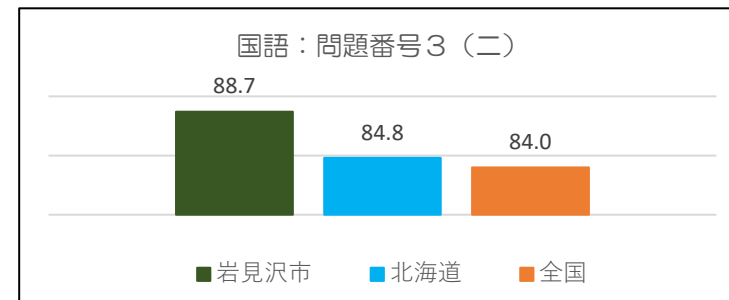
(成果)

「比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと」はできている。

問題番号3 (二)

問題の概要	「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する
出題の趣旨	事象や行為、心情を表す語句について理解する

岩見沢市	北海道	全国	差
88.7	84.8	84.0	4.7



(成果)

「事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする指導」は適切に行われていることが窺える。

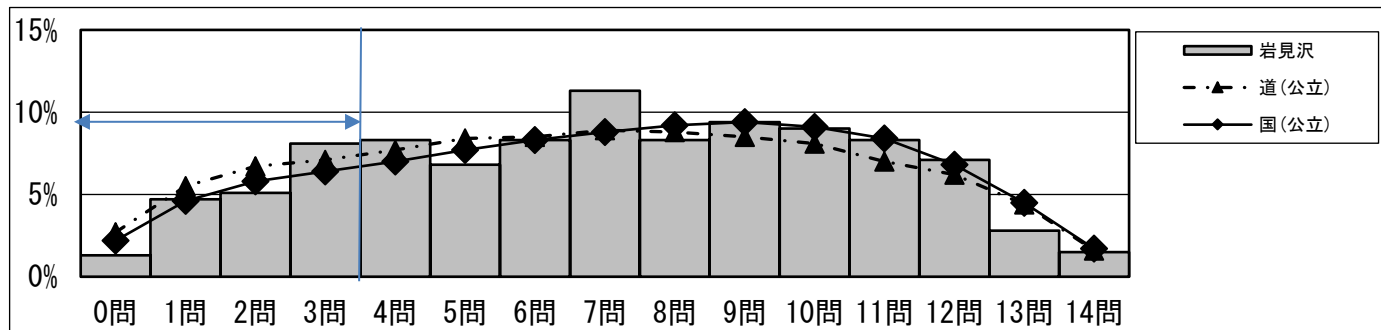
Ⅲ 教科に関する調査

5 中学校数学

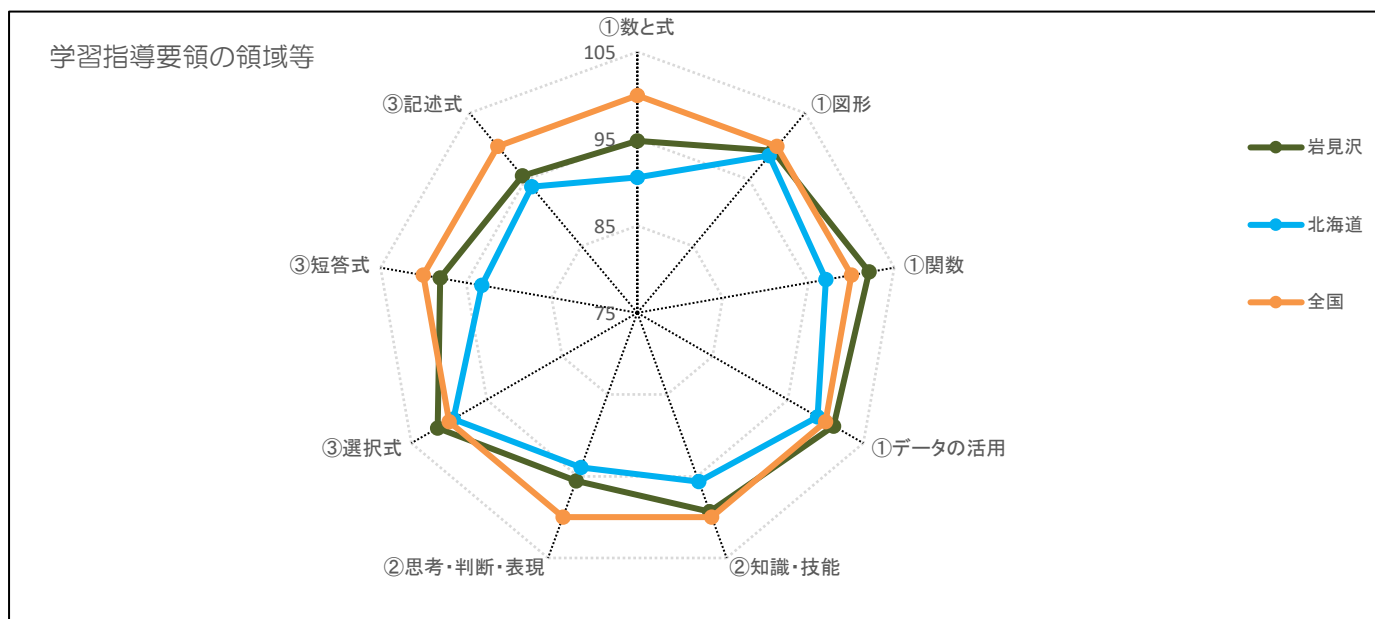
【概要】

- 平均正答率は51【50.6】%
- 平均正答率の小数值での比較では、全国との差は、-0.8ポイント

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岩見沢	533	7.1 / 14	51	7.0	3.5
北海道(公立)	32,905	6.9 / 14	49	7.0	3.7
全国(公立)	891,913	7.2 / 14	51.4	7.0	3.6



正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



■ 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合

- 割合: 岩見沢 19.2%
全国 19.0%
- 正答数: 14問中3問以下
- 全国との差: 0.2ポイント多い

正答数	生徒数	割合(%)		
	岩見沢	岩見沢	道(公立)	国(公立)
14問	8	1.5	1.6	1.7
13問	15	2.8	4.4	4.5
12問	38	7.1	6.2	6.8
11問	44	8.3	7.0	8.4
△ 10問	48	9.0	8.1	9.1
9問	50	9.4	8.5	9.4
8問	44	8.3	8.8	9.2
◇ 7問	60	11.3	8.9	8.8
6問	44	8.3	8.5	8.3
5問	36	6.8	8.4	7.7
▽ 4問	44	8.3	7.7	7.0
3問	43	8.1	7.1	6.4
2問	27	5.1	6.7	5.8
1問	25	4.7	5.5	4.6
0問	7	1.3	2.7	2.2

※今回の調査での四分位は以下のとおりでした。

	岩見沢	道(公立)	国(公立)
△ 第3四分位	10.0問	10.0問	10.0問
◇ 第2四分位	7.0問	7.0問	7.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問	4.0問

■ は、全国の「第1四分位」未満の正答数の生徒の割合

【四分位の状況】
四分位における各分位の正答数については、岩見沢市は全国と同数である。
生徒数の割合は全国と比べ、「正答数の多い層」ではやや少ない。また、「正答数の少ない層」ではやや多い。

(1) 中学校数学 調査結果から見た課題等と指導改善のポイント

① 課題等

【数と式】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、94.8%で5.2ポイント下回っている。昨年度は101.8%であり、下降している。
- 問題番号では、1、2、6(1)、6(2)、6(3)の5問が該当し、2、6(1)は全国を上回っているが、残りは全国を下回っている。
- ◇「問題場面における考察の対象を明確に捉えること」はできている。〔6(1)〕
- ◆「自然数を素数の積で表すこと」に課題がある。〔1〕

【図形】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、99.3%で、0.7ポイント下回っている。昨年度は104.7%であり、下降している。
- 問題番号では、3、9(1)、9(2)が該当し、9(1)は全国を上回っているが、残りは全国を下回っている。
- ◇「証明の根拠として用いられる三角形の合同条件の理解」はできている。〔9(1)〕
- ◆「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること」に課題がある。〔9(2)〕

【関数】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、102.1%で2.1ポイント上回っている。昨年度は104.3%であり、共に全国より高い。
- 問題番号では、4、8(1)、8(2)が該当し、4、8(1)は全国を上回っているが、8(2)は下回った。
- ◇「一次関数の変化の割合の意味を理解すること」はできている。〔4〕
- ◆「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」に課題がある。〔8(2)〕

【データの活用】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、101.1%で、1.1ポイント上回っている。昨年度は102.0%であり、共に全国より高い。
- 問題番号では、5、7(1)、7(2)が該当し、7(2)を除いて全国を下回っている。7(2)は全国を2.6ポイント上回っている。
- ◇「箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること」はできている。〔7(2)〕
- ◆「多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味の理解」に課題がある。〔5〕

② 課題から見られる指導改善のポイント

- 本市では、全国と比べ「C関数」と「Dデータの活用」領域の正答率は高く、「A数と式」と「B図形」は低くなっています。昨年度は全ての領域が全国を上回りましたので、やや低下しています。特に、「A数と式」の「自然数を素数の積で表す問題」が大きく下回っています。
- そのため、例えば、自然数42をその約数の積で表す学習活動では、約数の積で表された式の中に素数の積があることを調べたり、素数の意味を確認したりする場面を設定することが考えられます。このことにより、自然数42を約数の積に表す場合には多様な式で表すことができるが、素数の積は一通りであることを具体的に知ることができます。
- 平均正答率ももっとも低かった問題は、「B図形」領域の9(2)「 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する問題」で、全国とほぼ同様の約1割の正答率に止まっています。「長方形と正三角形によってできる図形について、条件を保ったまま辺の長さを変えた場合の、ある角の大きさについて成り立つ性質を見だし、数学的に説明すること」に課題が見られます。そのため、例えば、タブレットなどを活用し、長方形の辺の長さをいろいろ変えたりする操作活動を通して、角度が変わらないことを見いだしたり、予想した事柄が一般的に成り立つ理由を友達と説明し合ったりするなど、言葉で表現する学習活動を取り入れる工夫が必要です。

(2) 中学校数学 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			岩見沢市	(公道)	(公全国)	岩見沢市	(公道)	(公全国)
1	42を素因数分解する	自然数を素数の積で表すことができる	37.5	35.8	52.2	10.7	16.1	11.5
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	76.4	71.1	74.5	4.3	6.9	6.1
3	ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ	反例の意味を理解している	44.7	45.1	44.9	0.2	0.3	0.4
4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している	39.6	36.9	37.9	0.2	0.3	0.4
5	容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している	82.7	82.1	83.3	0.0	0.2	0.3
6 (1)	同じ偶数の和である $2n + 2n = 4n$ について、 n が9のときどのような計算を表しているかを書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	77.5	73.2	73.8	5.8	6.8	6.0
6 (2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	45.0	43.5	48.7	21.8	24.9	20.0
6 (3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	35.5	36.1	37.6	25.0	29.9	26.2
7 (1)	コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	43.7	42.4	44.0	0.8	1.8	1.4
7 (2)	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ	箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる	46.7	45.1	44.1	0.2	0.8	0.7
8 (1)	与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	55.9	54.3	54.6	5.6	7.9	7.2
8 (2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	38.1	35.6	38.4	22.7	26.0	24.4
9 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	74.9	71.7	73.2	7.3	8.6	7.5
9 (2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	10.5	12.2	12.5	40.3	42.5	38.5

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答率が「下回る」場合
 ※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答率が「上回る」場合

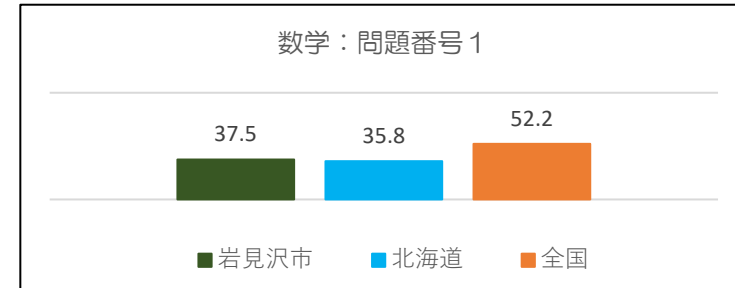
(3) 中学校数学 各教科の領域において全国と比べ3ポイント程度の差がある問題及び平均正答率の低い問題

【数と式】

問題番号1

問題の概要	42を素因数分解する
出題の趣旨	自然数を素数の積で表すことができる

岩見沢市	北海道	全国	差
37.5	35.8	52.2	-14.7



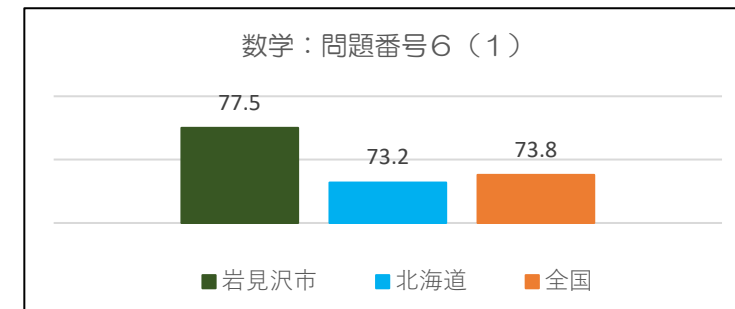
(課題)

無解答率は少ないものの、解答類型99が多く、その中には「2, 3, 7」という解答が見られた。これは、42の素因数を記述しているが、それらを積で表すといった素因数分解することの意味を理解していない生徒がいると考えられる。また、「1, 2, 3, 6, 7, 14, 21, 42」という解答が見られた。これは、42の約数を求めた生徒がいると考えられる。

問題番号6(1)

問題の概要	同じ偶数の和である $2n+2n=4n$ について、 n が9のときどのような計算を表しているかを書く
出題の趣旨	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる

岩見沢市	北海道	全国	差
77.5	73.2	73.8	3.7



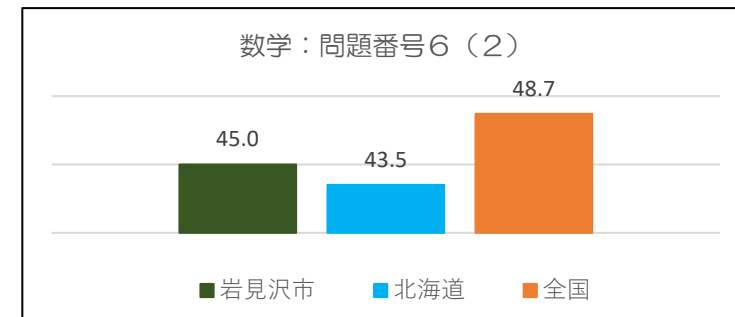
(成果)

文字を用いた式の意味を理解して、問題場面における考察の対象を明確に捉えることができていると考えられる。また、文字を用いた式と具体的な数を用いた式とを相互に関連付けながら、文字を用いた式が表している事柄を理解できていると思われる。

問題番号6(2)

問題の概要	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する
出題の趣旨	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる

岩見沢市	北海道	全国	差
45.0	43.5	48.7	-3.7



(課題)

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られる。また、 $2n+(2n+4)$ を正しく計算することができなかった生徒もいると考えられる。

【データの活用】

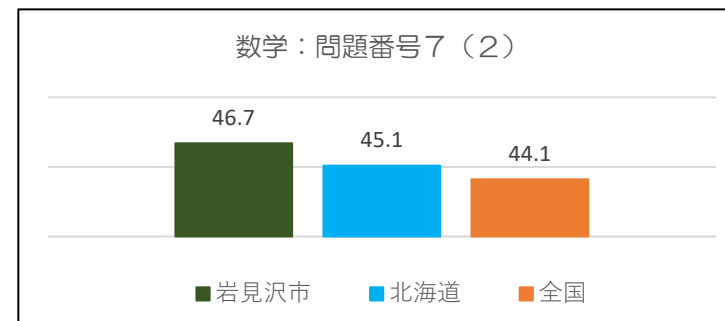
問題番号7(2)

問題の概要	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ
出題の趣旨	箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる

岩見沢市	北海道	全国	差
46.7	45.1	44.1	2.6

(成果)

全国と比べると、箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることがややできていると言える。一方、平均正答率が5割を下回っていることから、箱ひげ図の意味を実生活と結び付けるなどして、丁寧に指導する必要がある。



【図形】

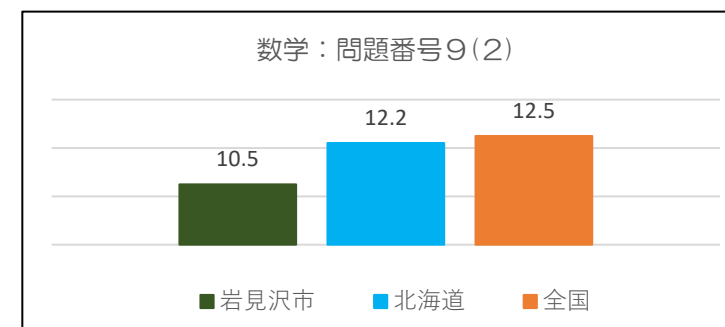
問題番号9(2)

問題の概要	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する
出題の趣旨	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる

岩見沢市	北海道	全国	差
10.5	12.2	12.5	-2

(課題)

無解答率が4割を超えており、数学的に証明する学習活動が不十分であると考えられる。また、平均正答率が1割程度と大変低く、図形の証明に苦手意識をもっていることが窺える。



Ⅲ 教科に関する調査

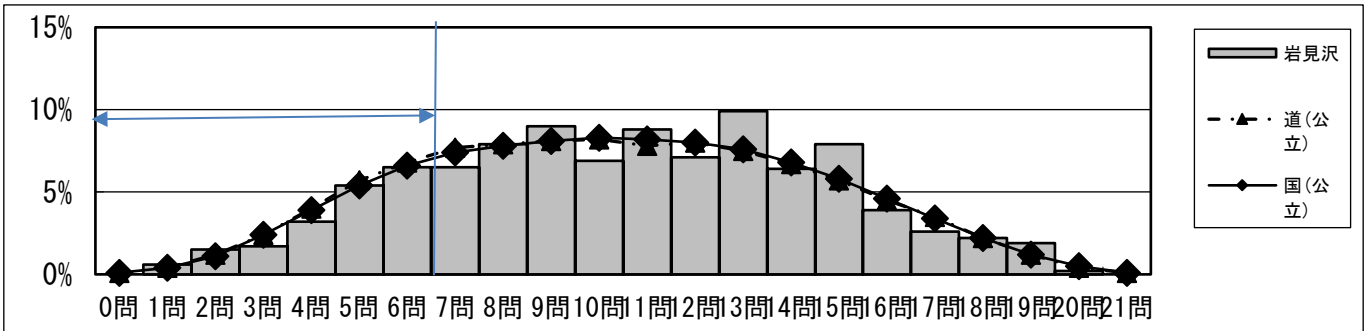
6 中学校理科

【概要】
 ○ 平均正答率は50【50.0】%
 ○ 平均正答率の小数值での比較では、全国との差は、+0.7ポイント

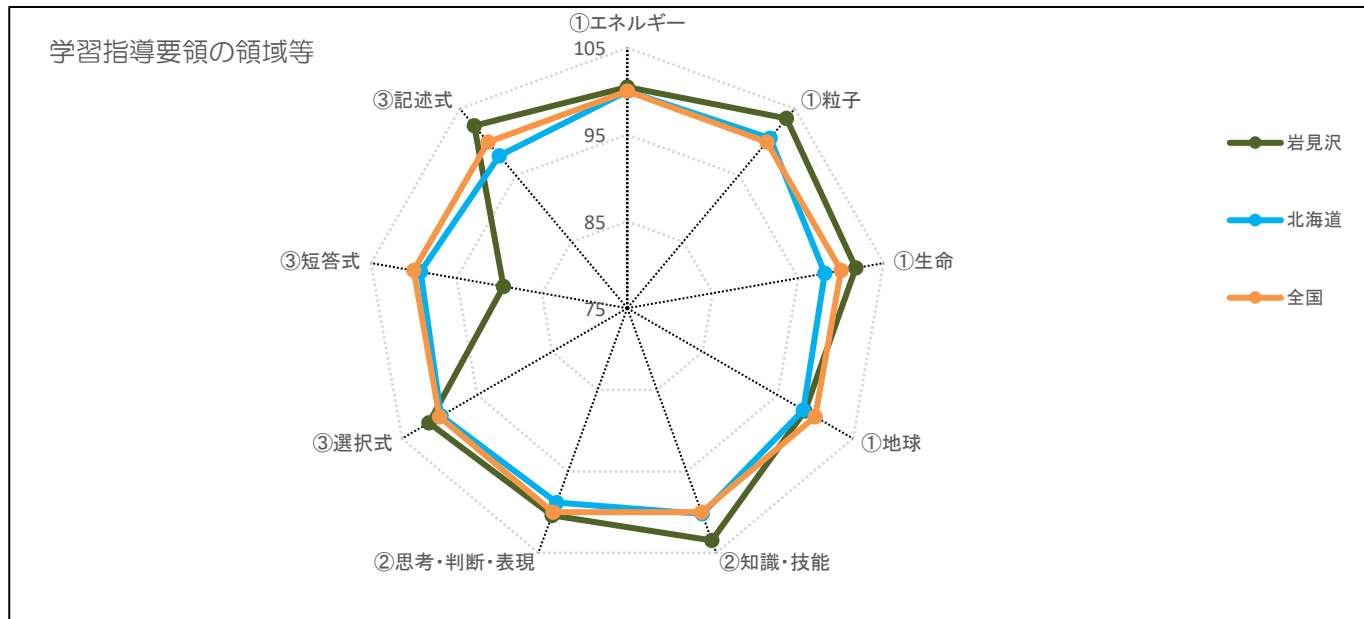
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
岩見沢	535	10.5 / 21	50	11.0	4.1
北海道(公立)	32,940	10.3 / 21	49	10.0	4.1
全国(公立)	892,585	10.4 / 21	49.3	10.0	4.1

■ 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合

- 割合：岩見沢 18.9%
全国 19.9%
- 正答数：21問中6問以下
- 全国との差：1.0ポイント少ない



正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数集計値				
正答数	生徒数	割合(%)		
	岩見沢	岩見沢	道(公立)	国(公立)
21問	0	0.0	0.1	0.1
20問	1	0.2	0.4	0.5
19問	10	1.9	1.2	1.2
18問	12	2.2	2.2	2.2
17問	14	2.6	3.5	3.4
16問	21	3.9	4.5	4.6
15問	42	7.9	5.7	5.8
△ 14問	34	6.4	6.7	6.8
13問	53	9.9	7.5	7.6
◇ 12問	38	7.1	8.0	8.0
◇ 11問	47	8.8	7.8	8.2
10問	37	6.9	8.2	8.3
9問	48	9.0	8.1	8.1
8問	42	7.9	7.9	7.8
▽ 7問	35	6.5	7.7	7.4
6問	35	6.5	6.8	6.6
5問	29	5.4	5.7	5.4
4問	17	3.2	4.0	3.9
3問	9	1.7	2.4	2.4
2問	8	1.5	1.2	1.1
1問	3	0.6	0.4	0.4
0問	0	0.0	0.1	0.1

※今回の調査での四分位は以下のとおりでした。

	岩見沢	道(公立)	国(公立)
△ 第3四分位	14.0問	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	11.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

は、全国の「第1四分位」未満の正答数の生徒の割合

【四分位の状況】
 四分位における各分位の正答数については、岩見沢市は全国と比べ、第2と第3四分位の正答数が1問多い。生徒数の割合では全国と比べ、「正答数の多い層」ではやや多く、「正答数の少ない層」ではやや少ない。

(1) 中学校理科 調査結果から見た課題等と指導改善のポイント

① 課題等

【エネルギー】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、100.5%で0.5ポイント上回っている。
- 問題番号では、1(1)、1(2)、3(3)、5(1)、5(2)、5(3)の6問が該当し、5(1)、5(2)は全国を下回っているが、あとは全国を上回っている。
- ◇「化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すこと」はできている。〔3(3)〕
- ◆「力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明すること」に課題がある。〔5(1)〕
- ◆「課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能を身に付けること」に課題がある。〔5(2)〕

【粒子】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、103.5%で3.5ポイント上回っている。
- 問題番号では、3(1)、3(2)、3(3)、7(1)、7(2)の5問が該当し、3(3)は全国を下回っているが、あとは全て全国を上回っている。
- ◇「液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象のように状態変化に関する知識及び技能を活用すること」はできている。〔7(1)〕
- ◆「化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもとして必要なものを分析して解釈すること」に課題がある。〔3(3)〕

【生命】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、101.7%で1.7ポイント上回っている。
- 問題番号では、4(1)、4(2)、8(1)、8(2)、8(3)の5問が該当し、8(3)は全国を大きく上回っているが、あとは全て全国を下回っている。
- ◇「未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈すること」はできている。〔8(3)〕
- ◆「アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うこと」に課題がある。〔8(1)〕

【地球】

- 全国を100とした時、岩見沢市の状況は、98.6%で1.4ポイント下回っている。
- 問題番号では、2(1)、2(2)、2(3)、6(1)、6(2)、6(3)の6問が該当し、2(2)、2(3)、6(2)は全国を下回り、2(1)、6(1)、6(3)は全国を上回っている。
- ◇「観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由について観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明すること」はできている。〔2(1)〕
- ◆「飛行機雲について地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えを多面的、総合的に検討し、改善すること」に課題がある。〔2(3)〕

② 課題から見られる指導改善のポイント

- 本市では、全国と比べ「地球」領域は正答率が低いが、あとの3領域は全国より高くなっています。
- そのため、例えば、「地球」領域では、気圧に関する知識を活用して、観測データから読み取った情報を天気図と関連付けるような学習活動が大切です。その際、タブレット等で空の様子を撮影した画像と天気図を関連付けて分析し解釈するなど、オーセンティックな学習を行うことにより実生活と結び付いた知識として定着されると考えられます。
- 平均正答率がもっとも低かった問題は、「エネルギー」領域の5(1)「おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する問題」で、全国も1割5分程度の正答率でしたが、岩見沢市はさらに下回る約1割の正答率に止まっています。解答類型では3が最も多く「ばねの上で静止している物体に働く重量とつり合う力は説明できているが、重量とつり合う力をばね全体で押し返す力と捉え、作用点がバネの中心あると考えたり、つり合う力を同一作用点の力や床からの垂直抗力と捉えたりする生徒がいると考えられます。
- そのため、授業では、例えば、物体に力を働かせる実験を行い、一つの物体に二つの力が働いていることに気付くようにし、それらの力の大きさや向きを矢印で表して、つり合いの関係を説明する学習場面を設定することが考えられます。

(3) 中学校理科 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			岩見沢市	(公道立)	(公全国立)	岩見沢市	(公道立)	(公全国立)
1(1)	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	55.0	47.9	44.2	0.0	0.0	0.1
1(2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる	80.4	79.9	78.5	0.0	0.1	0.1
2(1)	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を空気の柱の長さで説明する際、適切な長さの変化を選択する	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明できるか問うことで、気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる	55.9	53.2	54.2	0.0	0.2	0.2
2(2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる	38.1	40.1	40.8	0.0	0.2	0.3
2(3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる	25.2	27.7	28.5	0.0	0.3	0.3
3(1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる	84.9	80.2	80.1	0.0	0.1	0.1
3(2)	水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する	水を電気分解して発生させた水素を燃料として使う仕組みを探究する学習場面において、粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる	62.8	59.3	60.2	0.2	0.3	0.3
3(3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもとを指摘する	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもととして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる	22.2	24.6	24.8	4.1	4.4	4.3
4(1)	ダイオウクワヅムシとタンコムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由を説明する	節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる	74.0	71.7	74.5	5.4	7.2	5.5
4(2)	脊椎動物には骨格のつくり共通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトとカエルのあしの関節を選択する	複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格について共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる	64.5	64.8	65.6	0.2	0.2	0.2
5(1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる	10.3	12.8	15.3	0.2	0.3	0.2
5(2)	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる	40.7	43.3	45.0	0.4	0.5	0.4
5(3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる	44.3	42.8	43.3	28.2	31.2	29.4
6(1)	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	48.4	48.4	48.0	0.0	0.3	0.3
6(2)	陸上のB地点で古生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する	過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる	58.5	58.7	60.3	0.0	0.6	0.6
6(3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる	35.9	33.9	34.2	0.2	0.7	0.7
7(1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	39.1	37.3	35.9	0.2	0.4	0.4
7(2)	吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する	実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる	54.4	54.6	53.4	0.9	0.8	1.0
8(1)	アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する	アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる	53.5	53.9	55.2	10.7	12.9	11.6
8(2)	予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する	予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見直しをもつことができるかどうかをみる	54.8	53.9	55.1	12.1	15.7	14.9
8(3)	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する	未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる	47.7	39.5	39.2	1.1	1.8	1.4

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答率が「下回る」場合
 ※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答率が「上回る」場合

(3) 中学校理科 各教科の領域において全国と比べ3ポイント以上の差がある問題

【地球】

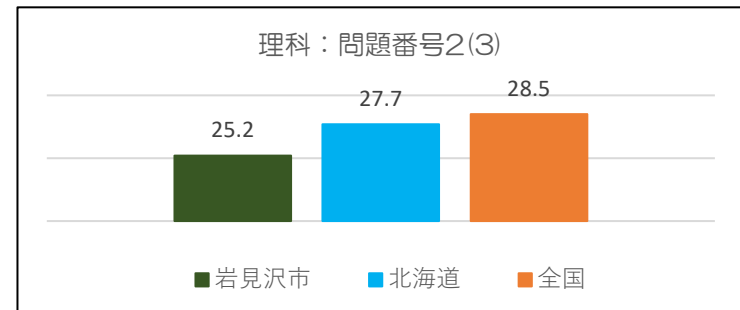
問題番号2(3)

問題の概要	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する
出題の趣旨	飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる

岩見沢市	北海道	全国	差
25.2	27.7	28.5	-3.3

(課題)

解答類型2と3が多いことから、考察の根拠としてその観測データを用いることが妥当かどうか検討して改善することに課題があると考えられる。



【粒子】

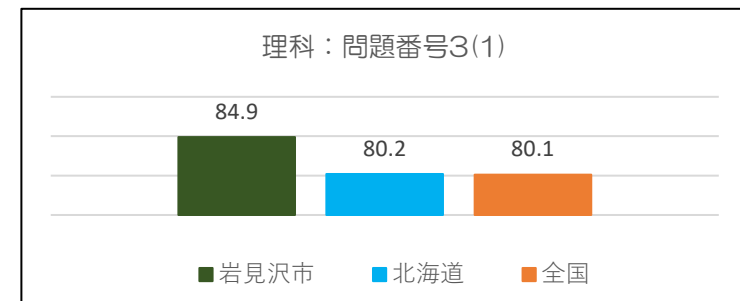
問題番号3(1)

問題の概要	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す
出題の趣旨	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる

岩見沢市	北海道	全国	差
84.9	80.2	80.1	4.8

(成果)

2種類の物質を反応させる実験で、反応前と異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表せることを理解していると考えられる。



【エネルギー】

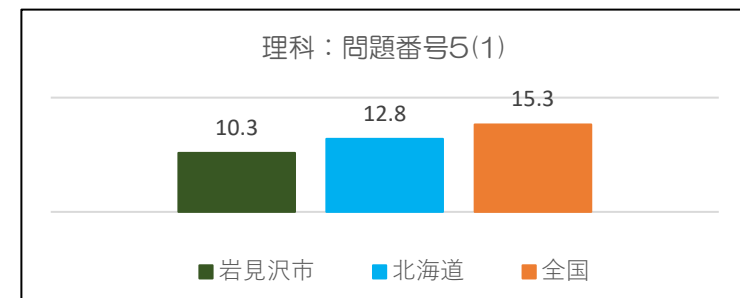
問題番号5(1)

問題の概要	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する
出題の趣旨	力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる

岩見沢市	北海道	全国	差
10.3	12.8	15.3	-5

(課題)

静止している物体に働く重力とつり合う力を矢印で表すことに課題がある。一つの物体に二つの力が働いている時の力の大きさや向きを矢印で表し、つり合いの関係を説明する学習場面を設定する必要がある。



問題番号5(2)

問題の概要	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する
出題の趣旨	課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる

岩見沢市	北海道	全国	差
40.7	43.3	45.0	-4.3

(課題)

課題に正対した考察を行うために必要な結果を実験結果から抽出するなどの適切な処理を行い、グラフを作成する技術が身に付いていないと考えられる。

【粒子】

問題番号7(1)

問題の概要	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する
出題の趣旨	液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる

岩見沢市	北海道	全国	差
39.1	37.3	35.9	3.2

(成果)

全国と比べて、液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な現象について、その概念等を理解できていると言えるが、平均正答率が4割を下回っていることから、身近な現象で活用できる程度に概念等を理解できるよう指導を充実させる必要がある。

【生命】

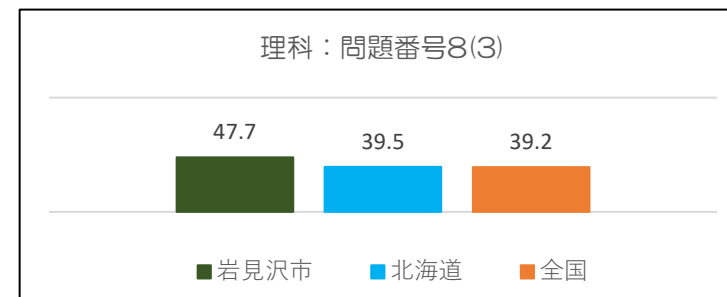
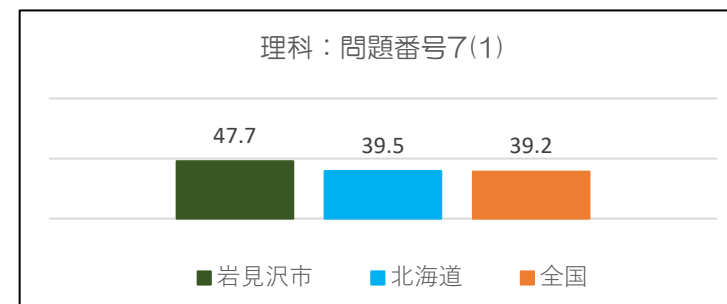
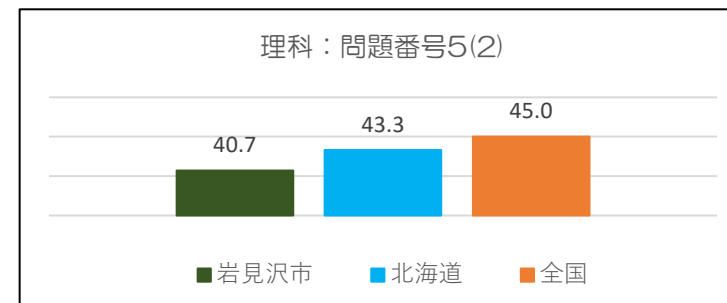
問題番号8(3)

問題の概要	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する
出題の趣旨	未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる

岩見沢市	北海道	全国	差
47.7	39.5	39.2	8.5

(成果)

全国と比べて、平均正答率が大きく上回っていることから、動物の外部形態にうちて共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈することは一定程度できている。一方、平均正答率が5割を下回っていることから、指導の一層の充実が求められる。

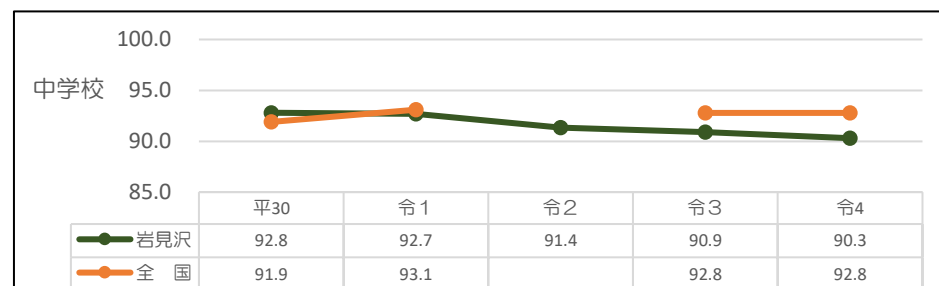
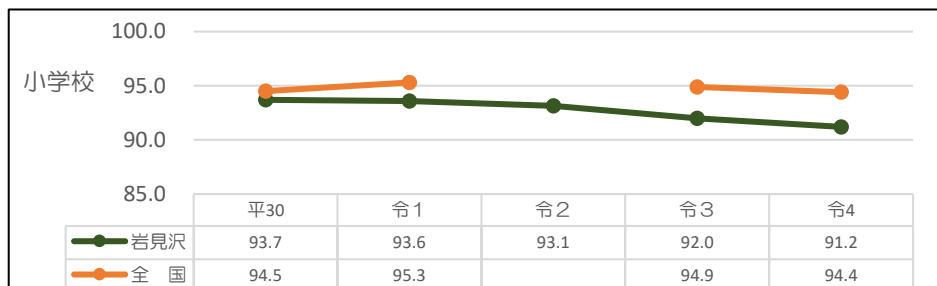


IV 児童生徒質問紙

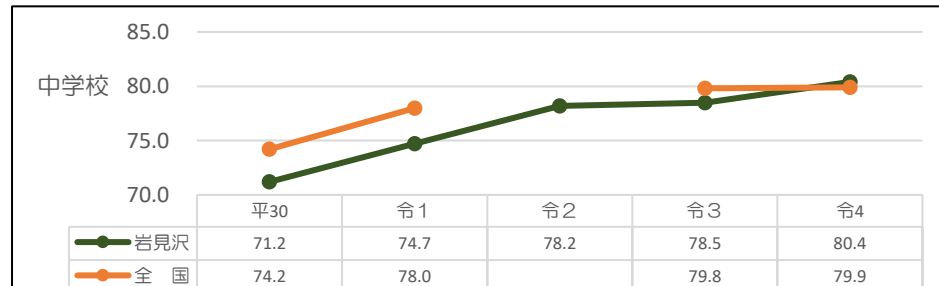
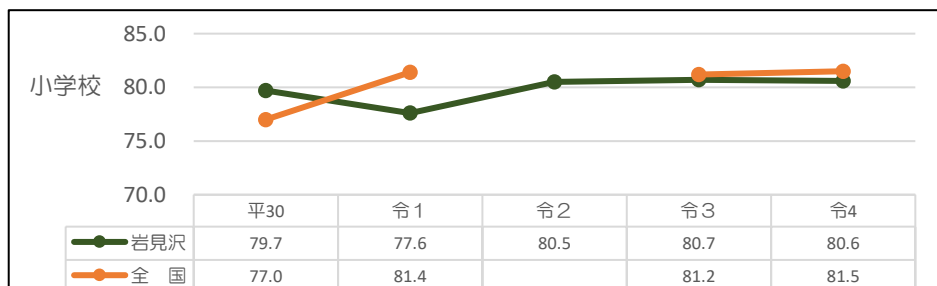
1 基本的生活習慣

「朝食を毎日食べていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は3.2ポイント、中学校は2.5ポイント下回っている。5年間の経年変化で見ると小・中学校ともやや低下傾向にある。「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は0.9ポイント下回り、中学校は0.5ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は横ばい、中学校はやや上昇傾向にある。「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は0.6ポイント下回り、中学校は0.9ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は横ばい、中学校はやや上昇傾向にある。

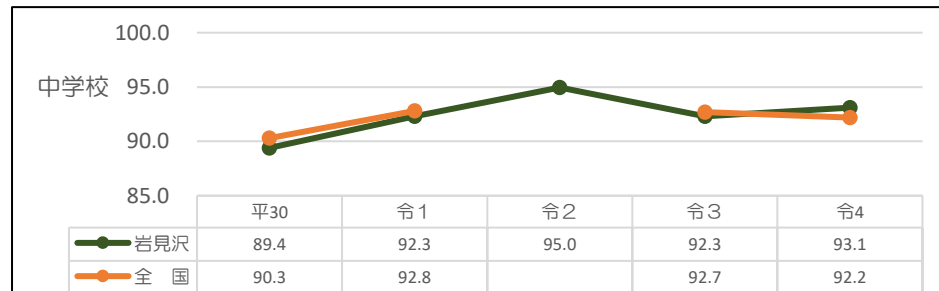
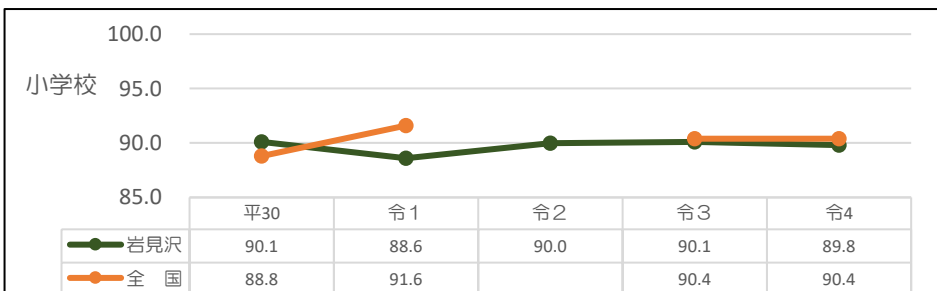
(1) 朝食を毎日食べていますか。



(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

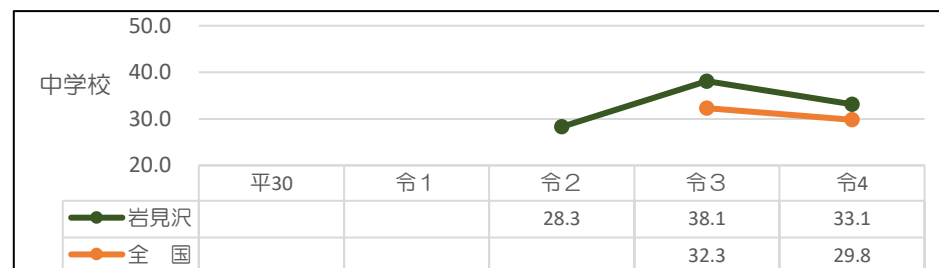
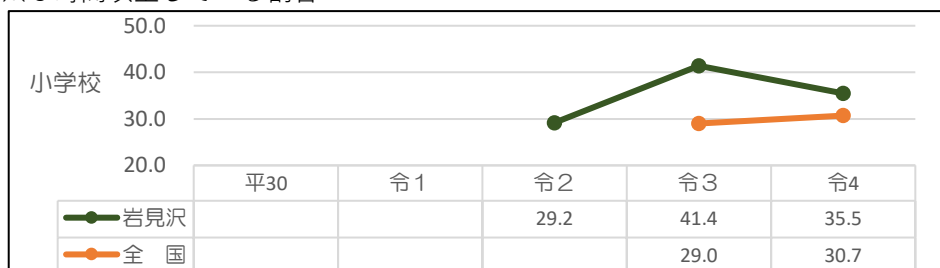


2 ゲームの時間、家庭学習

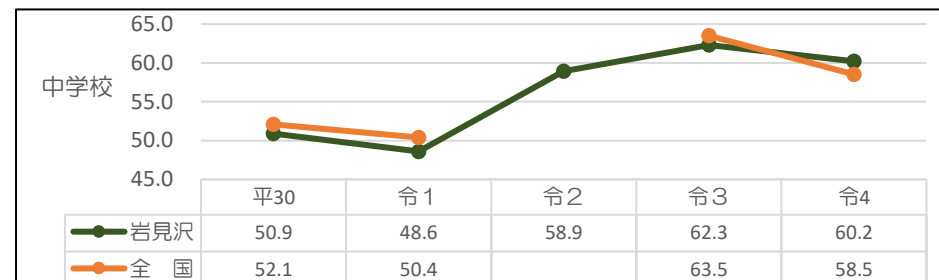
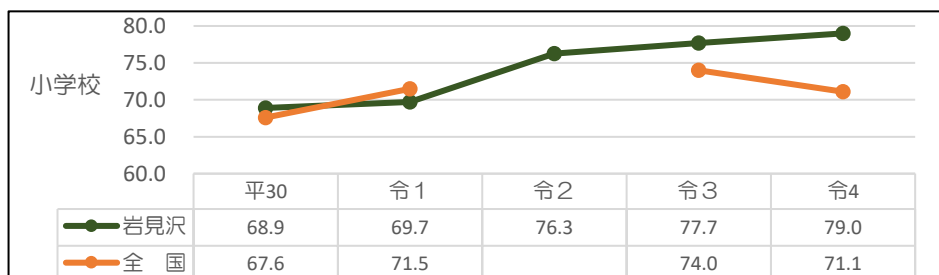
「普段、テレビゲームを行っている時間」で、3時間以上と回答した児童生徒の割合は全国と比べて、小学校は4.8ポイント、中学校は3.3ポイント下回っている。3年間の経年変化で見ると小・中学校ともやや上昇傾向にある。「毎日、自分で計画を立てて家庭学習していますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は7.9ポイント、中学校は1.7ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小・中学校とも上昇傾向にある。「普段、家庭学習を行っている時間」で、小学校1時間以上、中学校2時間以上と回答した児童生徒の割合は全国と比べて、小学校は7.3ポイント、中学校は11.7ポイント下回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は横ばい、中学校は一旦上昇したが、現在は低下傾向にある。

(5) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

※3時間以上している割合

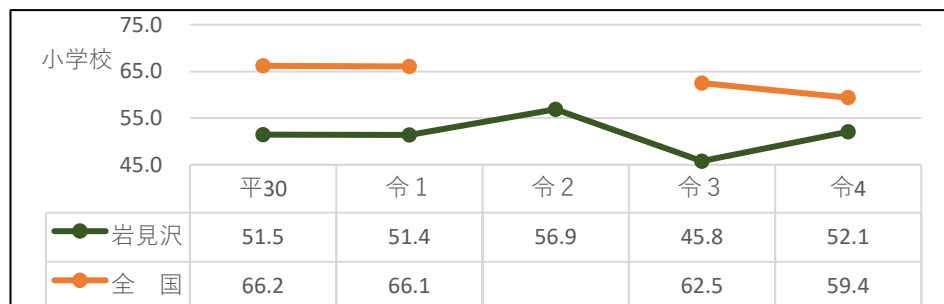


(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。

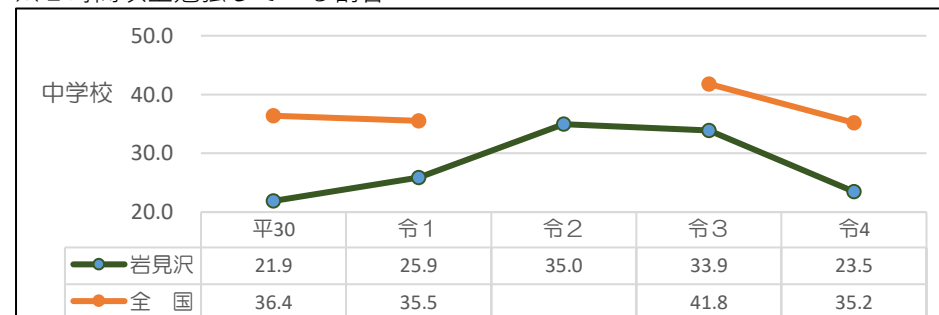


(21) 学校の勉強以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）。

※1時間以上勉強している割合



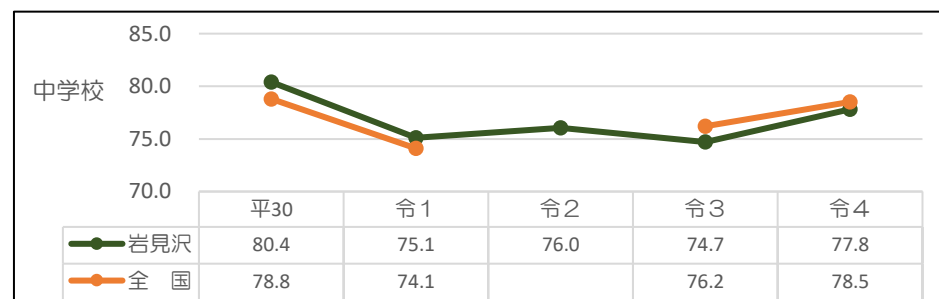
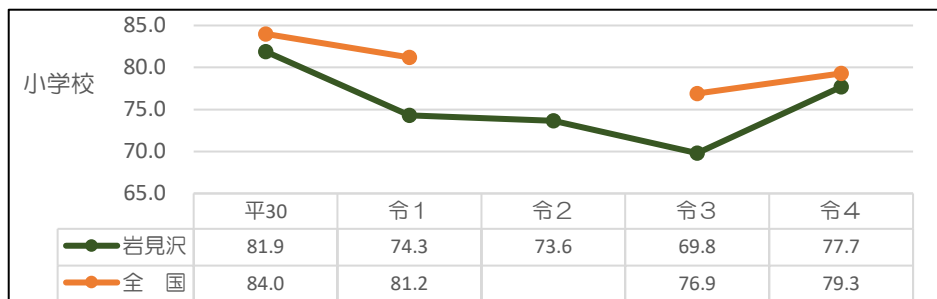
※2時間以上勉強している割合



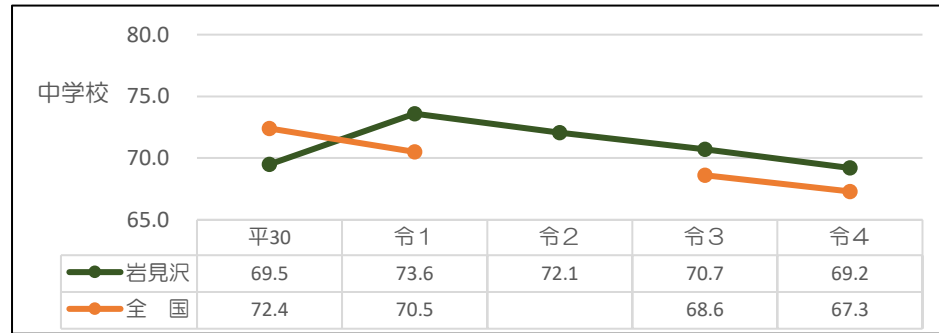
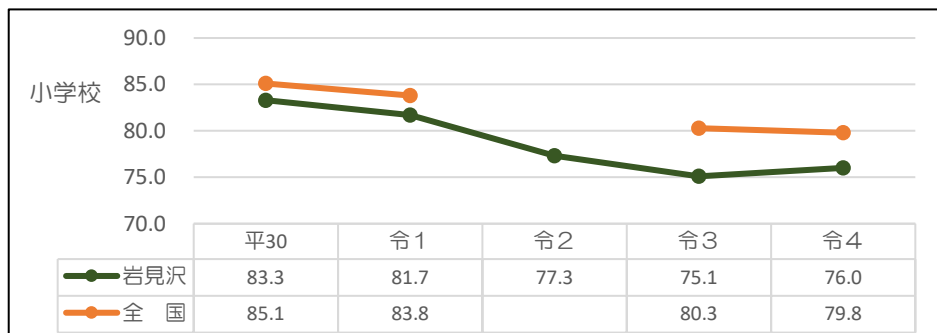
3 児童生徒の自己有用感に関する状況

「自分には、よいところがあると思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.6ポイント、中学校は0.7ポイント下回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は下降から上昇傾向に転じ、中学校はやや上昇傾向にある。「将来の夢や目標を持っていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は3.8ポイント下回り、中学校は1.9ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小・中学校ともやや下降傾向にある。「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は0.8ポイント上回り、中学校は0.7ポイント下回っている。5年間の経年変化で見ると小・中学校とも横ばい傾向にある。

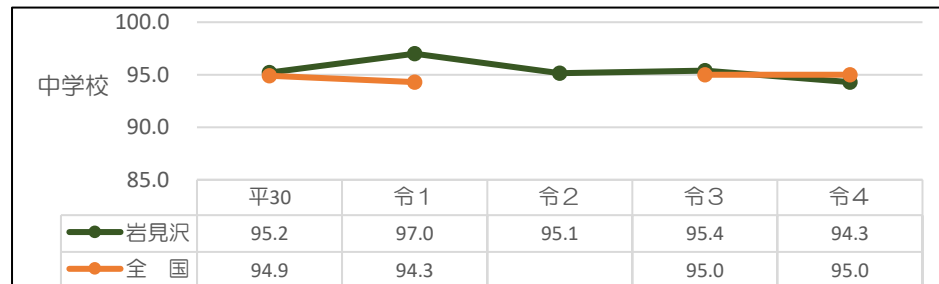
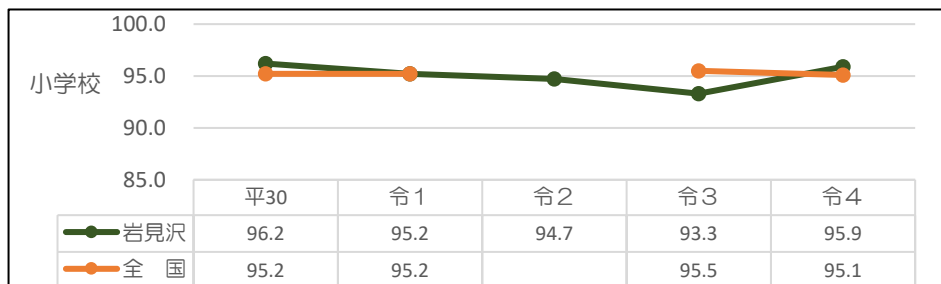
(7) 自分には、よいところがあると思いますか。



(9) 将来の夢や目標を持っていますか。



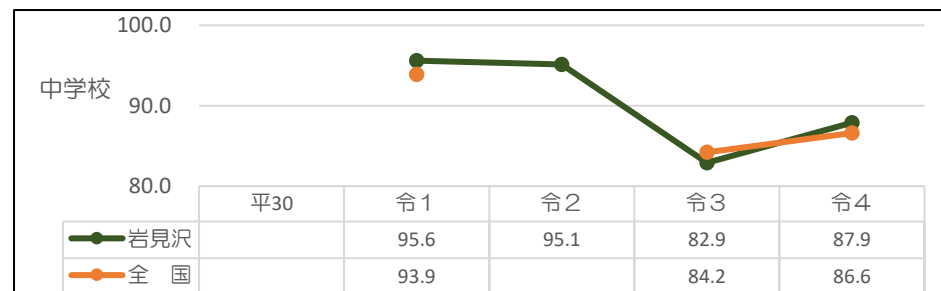
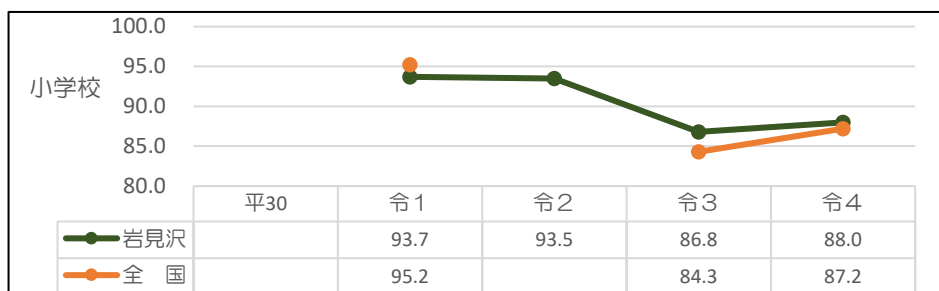
(15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



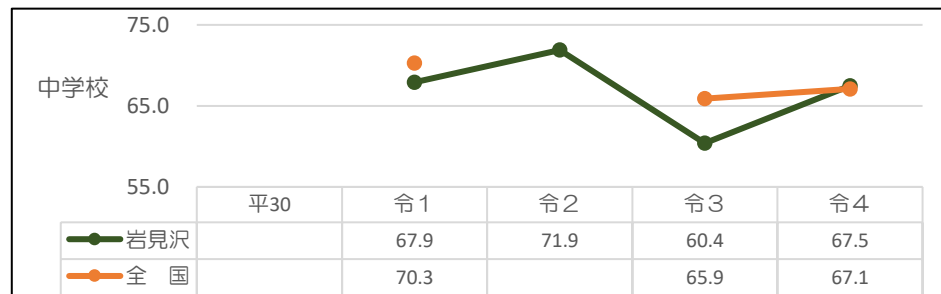
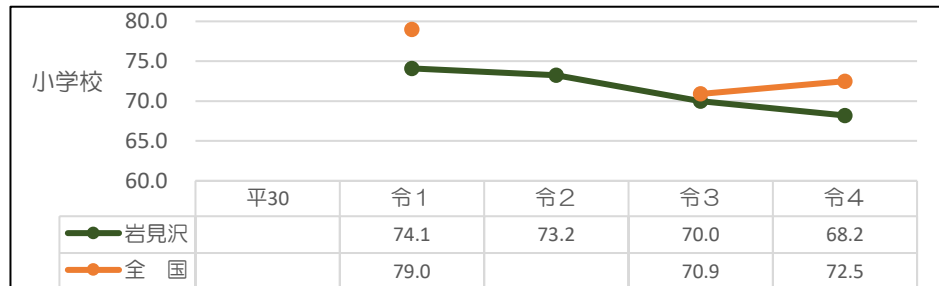
4 児童生徒の挑戦心・達成感・規範意識等に関する状況

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は0.8ポイント、中学校は1.3ポイント上回っている。4年間の経年変化では下降傾向からやや上昇に転じている。「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は4.3ポイント下回り、中学校は0.4ポイント上回っている。4年間の経年変化では小学校ではやや下降傾向にあり、中学校は令和3年度に下降したが上昇に転じた。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.0ポイント、中学校は0.5ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は横ばい、中学校は令和2年度まで上昇し、令和3年度に下降したが、令和4年度は上昇に転じた。

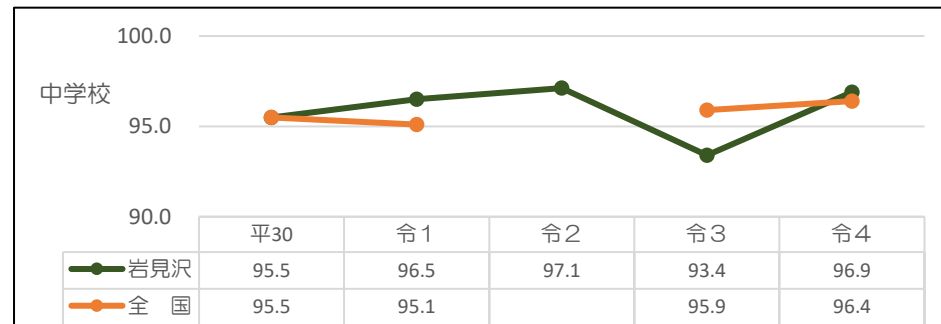
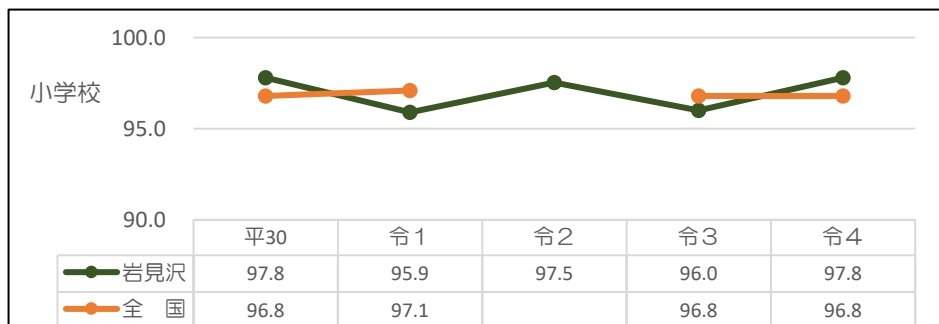
(10)自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。



(11)難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。



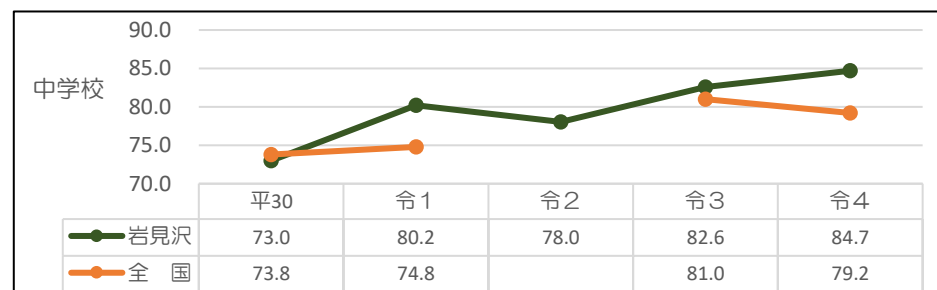
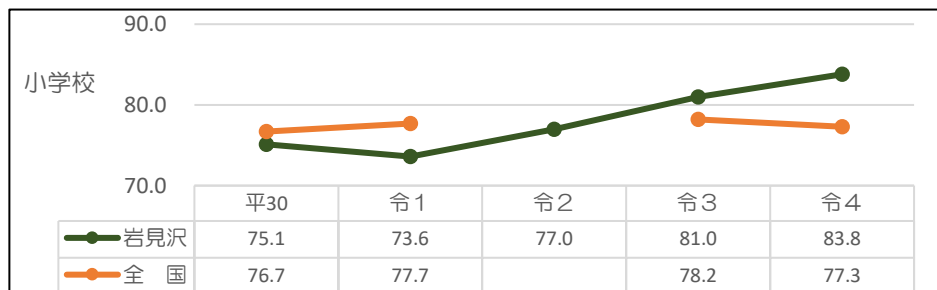
(13)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



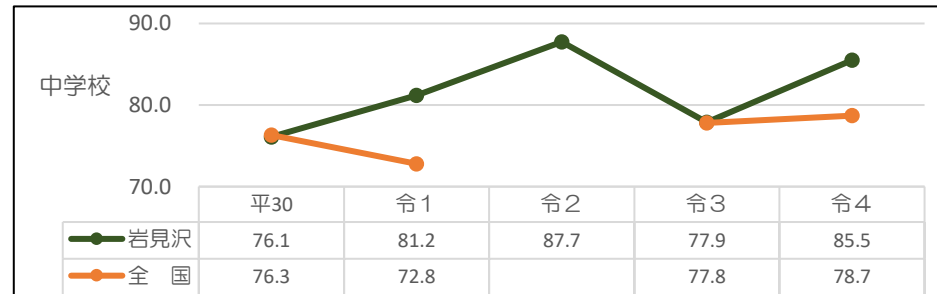
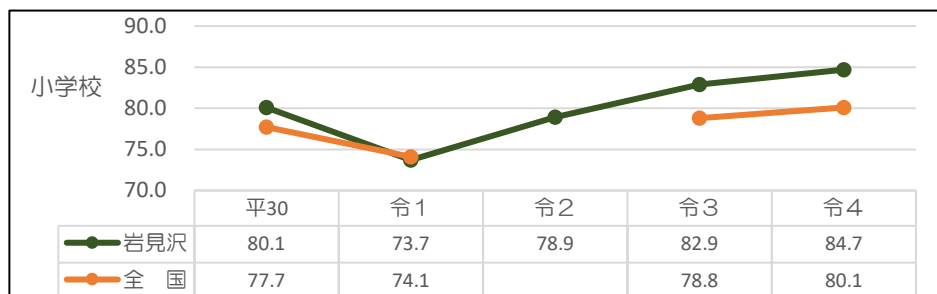
5 主体的・対話的な学び

「5年生まで（中1・2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は6.5ポイント、中学校は5.5ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小・中学校ともに上昇傾向にある。「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は4.6ポイント、中学校は6.8ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は上昇傾向、中学校は令和3年度に下降したが上昇に転じた。学校質問紙「調査対象学年の児童生徒は、授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は12.8ポイント、中学校は12.1ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小・中学校とも肯定的な回答がほぼ100%である。

(39) 5年生まで（中1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

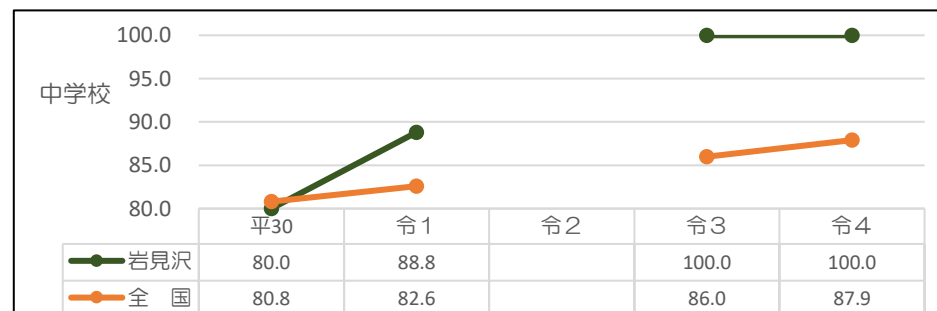
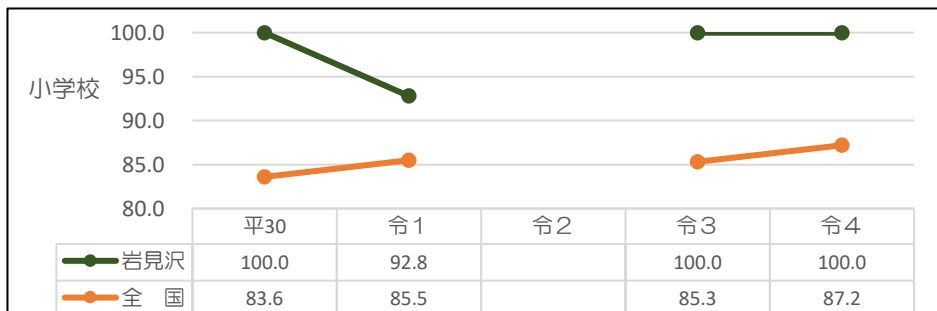


(43) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



【学校質問紙】

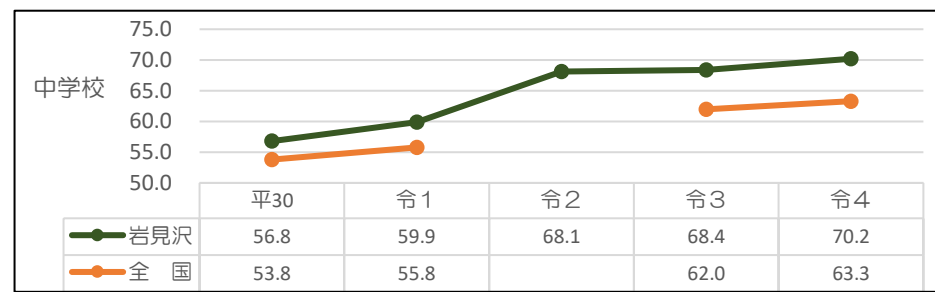
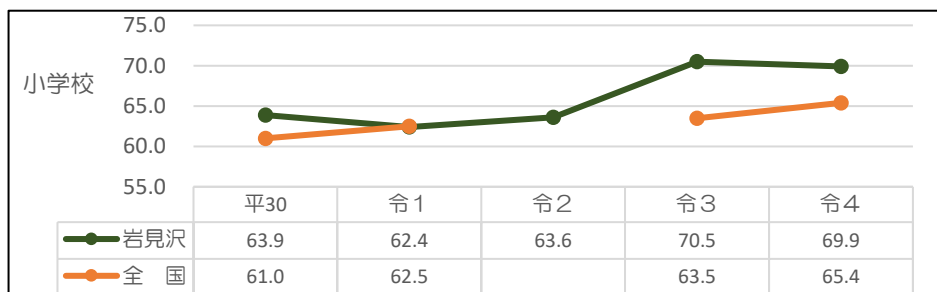
(23) 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。



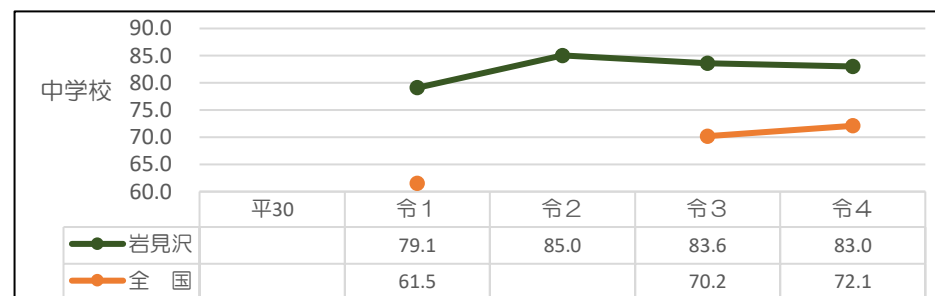
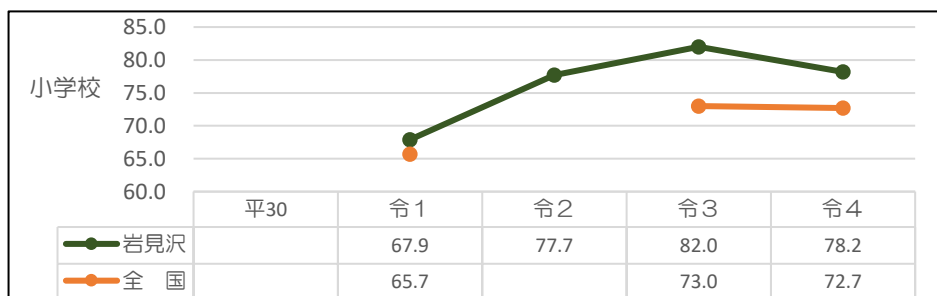
6 これまでに受けた授業内容（総合・道徳含む）

- 「5年生まで（中1・2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表しましたか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は4.5ポイント、中学校は6.9ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小・中学校ともに上昇傾向にある。
- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は5.5ポイント、中学校は10.9ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は上昇傾向にあったが今年度下降した。中学校は横ばい傾向にある。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は9.4ポイント、中学校は6.4ポイント上回っている。5年間の経年変化で見ると小学校は上昇傾向にあり、中学校は横ばい傾向である。

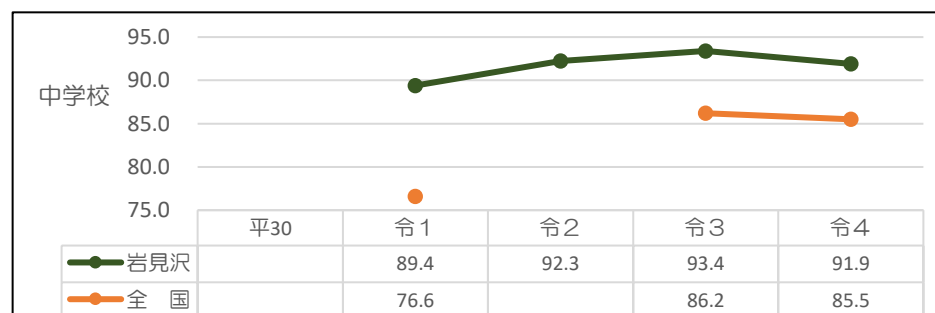
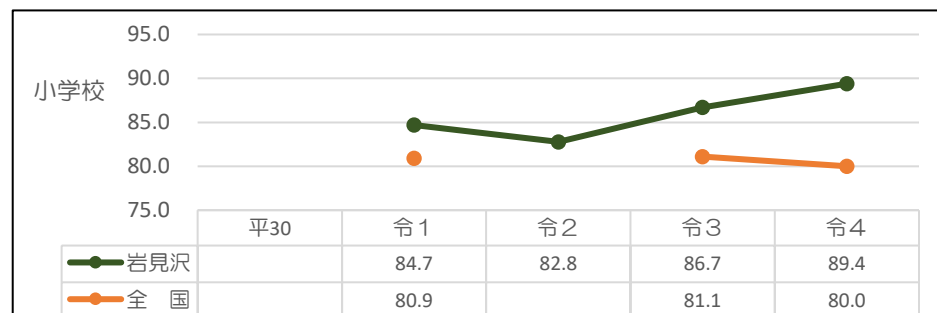
(38) 5年生まで（中1，2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表しましたか



(45) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



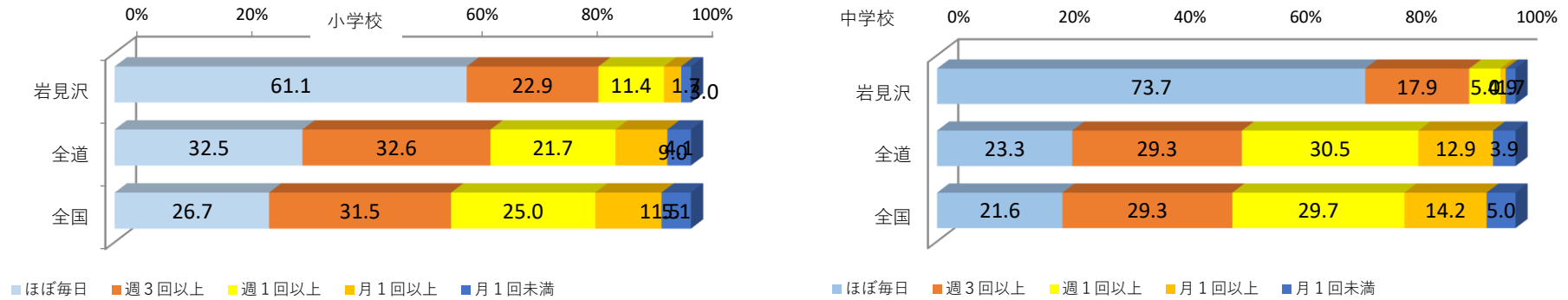
(48) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



7 ICTに関連した児童生徒質問紙の状況

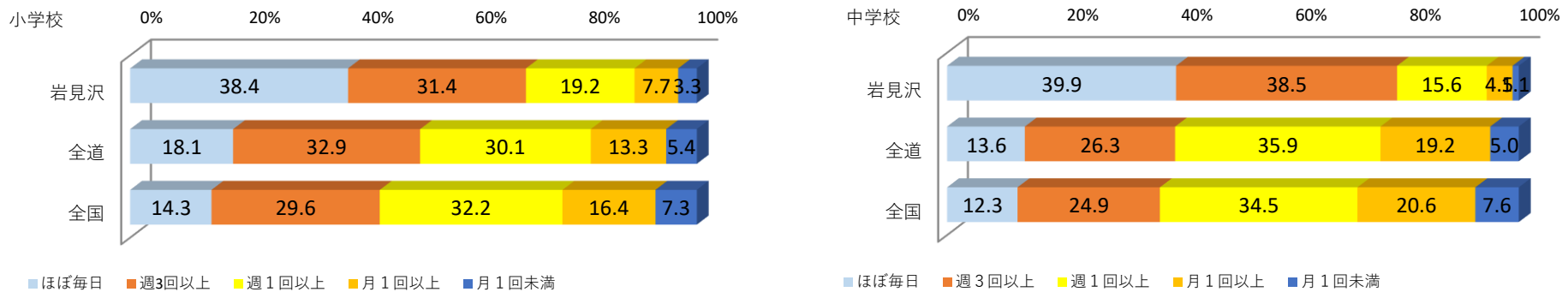
(32) 5年生（中1、2年生のとき）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

「1 ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べ、小学校で34.4（昨年度比+10.3）ポイント、中学校で52.1（昨年度比+51.6）ポイント高い。



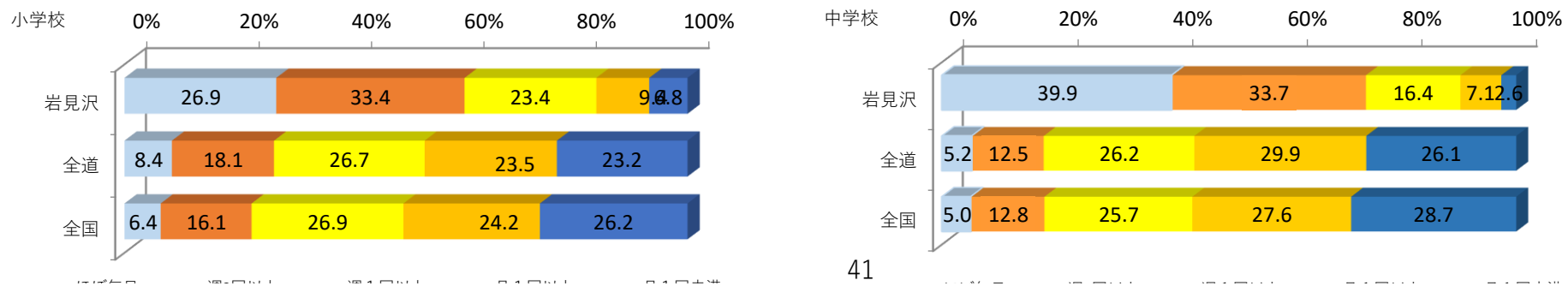
(33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

「1 ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べ、小学校で24.1ポイント、中学校で27.6ポイント高い。



(34) 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

「1 ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べ、小学校で20.5ポイント、中学校で34.9ポイント高い。

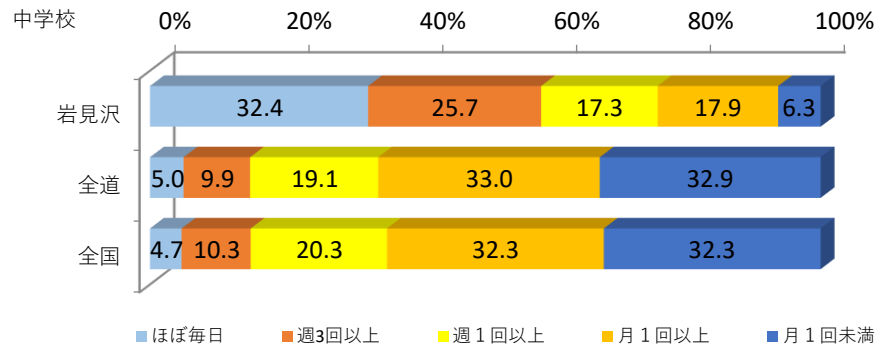
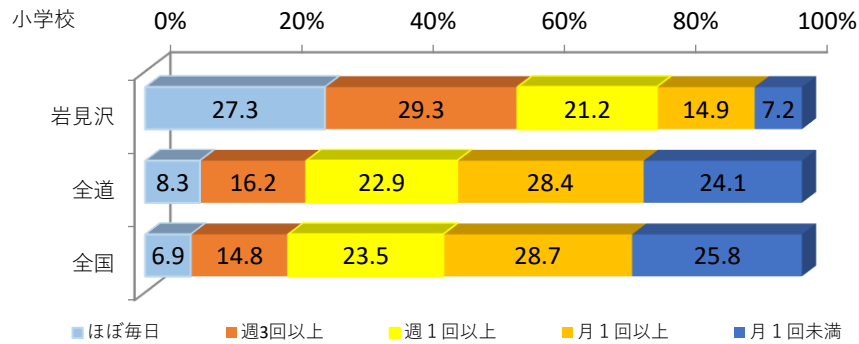


■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

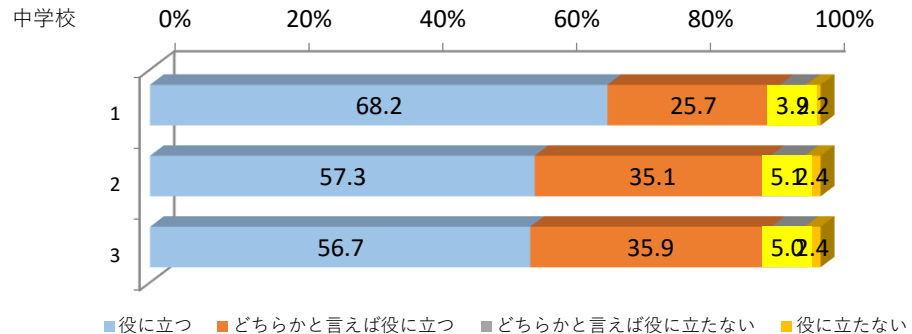
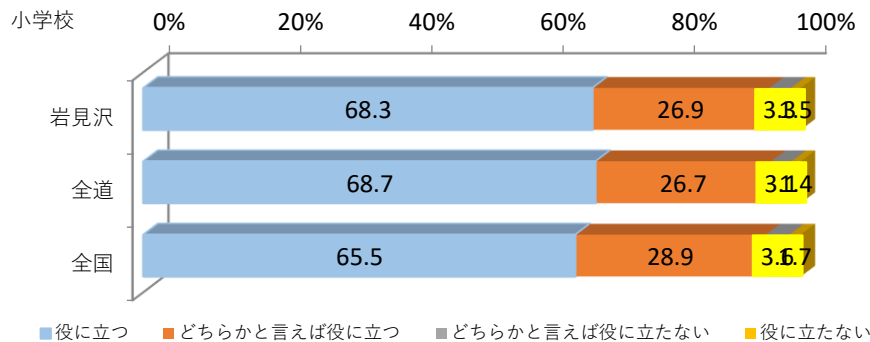
(35) 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

「1ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べ、小学校で20.4ポイント、中学校で27.7ポイント高い。



(36) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

「1役に立つ」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べ、小学校で2.8ポイント、中学校で11.5ポイント高い。



V 児童生徒質問紙クロス集計（参考）

(1) 朝食を毎日食べていますか（小）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	している	432	80.3	68.6	65.2	67.0
2	どちらかといえば、している	59	11.0	58.6	57.6	57.7
3	あまりしていない	32	5.9	53.8	52.9	55.0
4	全くしていない	14	2.6	49.5	45.1	42.4

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（小）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	している	204	37.9	66.4	63.9	65.7
2	どちらかといえば、している	230	42.8	68.7	66.0	67.3
3	あまりしていない	89	16.5	59.5	56.5	57.0
4	全くしていない	14	2.6	60.2	46.9	52.1

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（小）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	している	288	53.5	66.5	62.5	64.9
2	どちらかといえば、している	195	36.2	67.3	65.5	66.9
3	あまりしていない	39	7.2	63.7	63.8	60.8
4	全くしていない	15	2.8	48.6	43.8	38.8

(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（小）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	きちんと守っている	208	38.7	66.3	63.5	65.6
2	だいたい守っている	173	32.2	67.8	64.5	64.8
3	あまり守っていない	25	4.6	58.0	49.3	53.6
4	守っていない	3	0.6	73.8	72.9	78.4
5	約束はない	63	11.7	63.4	61.9	63.1
6	持っていない	66	12.3	65.7	63.5	65.1

(1) 朝食を毎日食べていますか（中）

選択肢		生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	数学	理科
1	している	418	78.3	70.8	52.7	51.5
2	どちらかといえば、している	65	12.2	69.5	49.5	48.3
3	あまりしていない	29	5.4	59.7	34.7	40.9
4	全くしていない	22	4.1	57.1	36.4	40.3

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（中）

選択肢		生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	数学	理科
1	している	202	37.8	69.1	50.5	49.2
2	どちらかといえば、している	228	42.7	70.7	51.3	51.0
3	あまりしていない	81	15.2	67.5	50.3	49.3
4	全くしていない	23	4.3	68.9	46.9	51.3

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（中）

選択肢		生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	数学	理科
1	している	337	63.1	69.5	50.4	49.7
2	どちらかといえば、している	160	30.0	70.8	51.4	51.5
3	あまりしていない	27	5.1	67.7	51.9	50.1
4	全くしていない	10	1.9	55.7	44.3	40.5

(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（中）

選択肢		生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	数学	理科
1	きちんと守っている	193	36.1	69.6	50.8	48.7
2	だいたい守っている	192	36.0	69.6	51.7	52.0
3	あまり守っていない	30	5.6	67.7	48.5	48.6
4	守っていない	5	0.9	67.1	41.4	54.3
5	約束はない	83	15.5	69.3	47.7	47.2
6	持っていない	31	5.8	71.0	54.8	55.0

(5) 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（小）

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 4時間以上	118	21.9	58.5	55.0	56.8
2 3時間以上，4時間より少ない	72	13.4	60.6	59.8	60.3
3 2時間以上，3時間より少ない	104	19.3	64.1	61.4	62.1
4 1時間以上，2時間より少ない	131	24.3	73.0	70.8	72.0
5 1時間より少ない	80	14.9	68.8	63.6	67.0
6 全くしない	33	6.1	76.4	71.6	73.3

(6) 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）（小）

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 4時間以上	74	13.8	59.1	56.6	57.8
2 3時間以上，4時間より少ない	53	9.9	58.8	58.6	57.2
3 2時間以上，3時間より少ない	81	15.1	63.1	58.8	59.4
4 1時間以上，2時間より少ない	100	18.6	71.0	67.3	67.5
5 1時間より少ない	82	15.2	72.3	68.1	71.7
6 全くしない	57	10.6	68.4	66.7	68.5
7 持っていない	90	16.7	65.8	62.9	66.7

(7) 自分には，よいところがあると思いますか（小）

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	184	34.2	68.5	66.8	66.4
2 どちらかといえば，当てはまる	234	43.5	66.7	63.1	65.8
3 どちらかといえば，当てはまらない	94	17.5	61.5	58.6	60.5
4 当てはまらない	26	4.8	58.5	52.2	54.5

(5) 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（中）

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 4時間以上	95	17.8	63.3	41.2	46.7
2 3時間以上，4時間より少ない	80	15.0	65.5	46.5	45.4
3 2時間以上，3時間より少ない	121	22.7	69.5	51.5	49.7
4 1時間以上，2時間より少ない	108	20.2	71.4	54.6	51.9
5 1時間より少ない	77	14.4	78.2	58.9	56.1
6 全くしない	53	9.9	70.2	52.0	51.6

(6) 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）（小）

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 4時間以上	110	20.6	65.5	45.3	47.9
2 3時間以上，4時間より少ない	64	12.0	62.5	42.6	44.3
3 2時間以上，3時間より少ない	122	22.8	70.1	50.6	49.8
4 1時間以上，2時間より少ない	119	22.3	72.4	52.6	51.8
5 1時間より少ない	45	8.4	72.1	58.9	54.0
6 全くしない	31	5.8	75.6	53.7	49.3
7 持っていない	42	7.9	74.0	60.5	56.5

(7) 自分には，よいところがあると思いますか（中）

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	202	37.8	67.9	50.7	49.7
2 どちらかといえば，当てはまる	214	40.1	72.1	52.9	52.0
3 どちらかといえば，当てはまらない	84	15.7	67.9	48.7	46.9
4 当てはまらない	34	6.4	67.0	41.6	47.3

(8) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	272	50.6	67.9	65.8	67.2
2	どちらかといえば、当てはまる	208	38.7	65.5	61.7	63.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	49	9.1	60.2	56.4	58.9
4	当てはまらない	9	1.7	54.8	45.8	39.9

(9) 将来の夢や目標を持っていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	307	57.1	63.8	60.2	61.9
2	どちらかといえば、当てはまる	101	18.8	70.3	69.2	70.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	64	11.9	70.6	67.8	70.9
4	当てはまらない	66	12.3	65.0	62.3	61.7

(10) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	206	38.3	66.7	63.7	64.7
2	どちらかといえば、当てはまる	267	49.6	66.1	62.9	64.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	56	10.4	65.4	63.4	64.9
4	当てはまらない	9	1.7	50.8	48.6	55.6

(11) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	126	23.4	62.1	59.3	60.7
2	どちらかといえば、当てはまる	241	44.8	66.4	64.3	64.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	142	26.4	70.1	64.5	69.3
4	当てはまらない	29	5.4	59.9	61.9	58.2

(8) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	226	42.3	70.0	50.2	50.4
2	どちらかといえば、当てはまる	240	44.9	69.9	52.5	51.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	56	10.5	68.0	46.7	44.6
4	当てはまらない	12	2.2	58.9	43.5	49.2

(9) 将来の夢や目標を持っていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	249	46.6	69.7	50.6	49.8
2	どちらかといえば、当てはまる	120	22.5	70.3	52.6	51.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	97	18.2	69.9	51.1	51.1
4	当てはまらない	68	12.7	66.9	46.8	46.7

(10) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	222	41.6	70.4	51.0	49.5
2	どちらかといえば、当てはまる	247	46.3	68.5	50.3	49.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	60	11.2	70.0	50.7	52.2
4	当てはまらない	5	0.9	74.3	55.7	59.0

(11) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	118	22.1	65.4	50.7	47.1
2	どちらかといえば、当てはまる	241	45.1	71.3	51.3	50.7
3	どちらかといえば、当てはまらない	146	27.3	69.9	50.3	51.7
4	当てはまらない	29	5.4	70.0	47.0	48.6

(12) 人が困っているときは、進んで助けていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	219	40.7	64.3	60.6	61.4
2	どちらかといえば、当てはまる	250	46.5	67.4	64.9	67.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	60	11.2	66.4	65.1	65.3
4	当てはまらない	9	1.7	67.5	57.6	54.9

(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	481	89.4	65.8	62.8	65.0
2	どちらかといえば、当てはまる	45	8.4	65.4	64.2	58.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	9	1.7	83.3	82.6	75.8
4	当てはまらない	3	0.6	54.8	29.2	37.3

(14) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	183	34.0	64.1	62.3	63.4
2	どちらかといえば、当てはまる	156	29.0	67.5	66.1	66.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	123	22.9	65.9	61.6	64.7
4	当てはまらない	76	14.1	67.7	60.9	63.5

(15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	400	74.3	66.6	63.2	64.8
2	どちらかといえば、当てはまる	116	21.6	65.2	64.4	65.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	18	3.3	60.9	54.2	55.9
4	当てはまらない	4	0.7	50.0	48.4	42.6

(12) 人が困っているときは、進んで助けていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	222	41.6	69.0	49.5	49.6
2	どちらかといえば、当てはまる	250	46.8	69.9	50.7	49.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	53	9.9	69.6	55.5	53.9
4	当てはまらない	9	1.7	69.0	50.0	52.9

(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	463	86.7	69.3	50.2	49.6
2	どちらかといえば、当てはまる	54	10.1	72.6	54.6	54.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	13	2.4	65.9	53.3	49.5
4	当てはまらない	3	0.6	59.5	40.5	47.6

(14) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	180	33.7	68.9	50.4	49.3
2	どちらかといえば、当てはまる	159	29.8	71.2	51.9	51.0
3	どちらかといえば、当てはまらない	118	22.1	68.9	51.0	50.0
4	当てはまらない	77	14.4	68.6	48.2	50.0

(15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	384	71.9	69.7	50.4	49.7
2	どちらかといえば、当てはまる	119	22.3	69.9	51.7	51.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	24	4.5	64.3	47.5	48.2
4	当てはまらない	7	1.3	71.4	57.1	58.5

(16) 学校に行くのは楽しいと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	267	49.6	67.6	65.3	66.1
2	どちらかといえば、当てはまる	187	34.8	65.4	63.4	66.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	53	9.9	63.7	59.1	59.2
4	当てはまらない	31	5.8	60.4	48.6	49.9

(17) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	169	31.4	69.5	68.0	68.5
2	どちらかといえば、当てはまる	235	43.7	66.7	63.9	65.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	105	19.5	62.6	57.3	60.3
4	当てはまらない	29	5.4	52.2	47.8	48.3

(18) 友達と協力するのは楽しいと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	385	71.6	64.9	62.4	63.9
2	どちらかといえば、当てはまる	124	23.0	69.1	65.5	66.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	23	4.3	68.9	67.9	69.1
4	当てはまらない	6	1.1	61.9	38.5	45.1

(19) 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか (複数選択) (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	先生に聞く	215	40.0	64.2	62.6	64.9
2	友達に聞く	351	65.2	64.9	61.5	63.5
3	家族に聞く	422	78.4	66.7	63.8	65.5
4	上記1, 2, 3以外の人に聞く	31	5.8	66.7	62.1	63.4
5	自分で調べる	402	74.7	67.9	65.4	66.3
6	分からないことはそのままにしておく	46	8.6	58.7	49.9	52.6
7	わからないことはない	11	2.0	79.2	69.9	69.5

(16) 学校に行くのは楽しいと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	218	40.8	68.7	50.1	48.8
2	どちらかといえば、当てはまる	200	37.5	69.8	51.9	50.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	78	14.6	70.6	50.6	51.8
4	当てはまらない	38	7.1	70.3	47.7	51.5

(17) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	163	30.5	69.8	51.5	51.7
2	どちらかといえば、当てはまる	238	44.6	70.2	51.3	50.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	101	18.9	69.4	50.4	48.4
4	当てはまらない	32	6.0	63.8	42.6	45.4

(18) 友達と協力するのは楽しいと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	364	68.2	67.4	48.7	48.3
2	どちらかといえば、当てはまる	125	23.4	74.2	56.1	53.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	32	6.0	75.1	52.5	55.4
4	当てはまらない	11	2.1	71.4	51.3	55.0

(19) 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか (複数選択) (中)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	先生に聞く	178	33.3	71.9	53.0	52.7
2	友達に聞く	391	73.2	70.4	51.0	49.8
3	家族に聞く	284	53.2	72.1	54.1	52.3
4	上記1, 2, 3以外の人に聞く	62	11.6	71.4	54.3	54.2
5	自分で調べる	423	79.2	71.2	51.5	50.8
6	分からないことはそのままにしておく	57	10.7	60.8	40.7	46.4
7	わからないことはない	5	0.9	60.0	55.7	44.8

(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
（小）

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語	算数	理科	
1	よくしている	215	40.0	72.0	68.1	70.7
2	ときどきしている	209	38.8	62.2	59.3	59.7
3	あまりしていない	88	16.4	61.9	61.2	63.0
4	全くしていない	26	4.8	61.5	57.9	56.8

(21) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（小）

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語	算数	理科	
1	3時間以上	29	5.4	74.6	68.1	68.2
2	2時間以上、3時間より少ない	63	11.7	72.6	68.5	71.4
3	1時間以上、2時間より少ない	188	34.9	68.1	65.0	65.8
4	30分以上、1時間より少ない	179	33.3	63.9	61.5	62.8
5	30分より少ない	67	12.5	59.0	58.5	61.8
6	全くしない	12	2.2	48.8	40.6	40.2

(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（小）

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語	算数	理科	
1	4時間以上	12	2.2	73.2	71.9	68.6
2	3時間以上、4時間より少ない	24	4.5	76.5	75.8	71.6
3	2時間以上、3時間より少ない	76	14.1	71.1	68.7	71.7
4	1時間以上、2時間より少ない	167	31.0	65.2	63.2	64.0
5	1時間より少ない	198	36.8	65.5	60.6	63.4
6	全くしない	61	11.3	58.1	56.8	57.0

(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
（中）

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語	数学	理科	
1	よくしている	79	14.8	74.5	55.4	54.1
2	ときどきしている	242	45.3	70.0	50.5	48.9
3	あまりしていない	148	27.7	65.5	46.7	49.4
4	全くしていない	65	12.2	71.0	54.5	51.1

(21) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（中）

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語	数学	理科	
1	3時間以上	25	4.7	66.0	51.1	49.7
2	2時間以上、3時間より少ない	100	18.7	69.8	55.2	52.4
3	1時間以上、2時間より少ない	210	39.3	71.7	51.3	50.2
4	30分以上、1時間より少ない	102	19.1	69.5	49.3	50.2
5	30分より少ない	61	11.4	68.4	46.7	49.0
6	全くしない	36	6.7	60.2	44.3	44.4

(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（中）

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語	数学	理科	
1	4時間以上	11	2.1	64.9	51.9	52.4
2	3時間以上、4時間より少ない	60	11.2	74.5	56.5	53.6
3	2時間以上、3時間より少ない	119	22.3	72.3	53.8	51.4
4	1時間以上、2時間より少ない	165	30.9	70.4	52.0	50.4
5	1時間より少ない	120	22.5	67.2	46.1	48.2
6	全くしない	59	11.0	61.9	43.5	46.4

(23) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)			
			国語	算数	理科	
1	2時間以上	45	8.4	68.7	64.7	65.4
2	1時間以上、2時間より少ない	34	6.3	73.7	68.8	74.6
3	30分以上、1時間より少ない	105	19.5	70.7	67.3	69.8
4	10分以上、30分より少ない	106	19.7	63.3	62.3	65.5
5	10分より少ない	68	12.6	67.0	62.7	61.9
6	全くしない	180	33.5	62.3	59.6	59.7

(24) あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)			
			国語	算数	理科	
1	0～10冊	73	13.6	53.5	50.0	48.4
2	11～25冊	78	14.5	60.7	61.4	62.1
3	26～100冊	166	30.9	66.6	65.6	67.4
4	101～200冊	112	20.8	70.1	64.0	67.6
5	201～500冊	77	14.3	73.7	68.8	70.6
6	501冊以上	31	5.8	72.8	68.3	68.7

(25) 新聞を読んでいますか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)			
			国語	算数	理科	
1	ほぼ毎日読んでいる	22	4.1	71.8	71.0	71.4
2	週に1～3回程度読んでいる	55	10.2	75.3	72.2	70.2
3	月に1～3回程度読んでいる	67	12.5	64.0	60.9	64.4
4	ほとんど、または、全く読まない	393	73.0	64.7	61.7	63.4

(23) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)			
			国語	数学	理科	
1	2時間以上	30	5.6	70.5	49.3	52.7
2	1時間以上、2時間より少ない	47	8.8	68.6	50.8	47.2
3	30分以上、1時間より少ない	96	18.0	69.2	52.6	52.6
4	10分以上、30分より少ない	115	21.5	74.3	52.7	52.1
5	10分より少ない	71	13.3	72.1	52.9	49.8
6	全くしない	175	32.8	65.6	47.6	47.7

(24) あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)			
			国語	数学	理科	
1	0～10冊	71	13.3	60.3	42.3	40.2
2	11～25冊	108	20.2	64.6	42.5	46.0
3	26～100冊	159	29.8	70.5	50.5	50.7
4	101～200冊	83	15.5	73.5	55.1	52.9
5	201～500冊	86	16.1	76.8	61.7	56.8
6	501冊以上	27	5.1	72.2	57.7	58.7

(25) 新聞を読んでいますか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)			
			国語	数学	理科	
1	ほぼ毎日読んでいる	18	3.4	71.0	53.6	51.3
2	週に1～3回程度読んでいる	49	9.2	72.7	56.7	55.4
3	月に1～3回程度読んでいる	68	12.7	71.6	49.9	50.8
4	ほとんど、または、全く読まない	399	74.7	68.7	49.9	49.2

(26) 読書は好きですか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	213	39.6	72.8	68.8	71.9
2	どちらかといえば、当てはまる	164	30.5	66.0	63.0	65.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	100	18.6	59.5	59.0	58.8
4	当てはまらない	60	11.2	53.0	49.8	46.7

(27) 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	よくある	152	28.3	64.5	60.3	62.1
2	ときどきある	195	36.2	67.4	64.0	66.7
3	あまりない	144	26.8	68.8	66.9	66.6
4	全くない	47	8.7	56.4	56.1	57.1

(28) 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか (習い事の先生は除く) (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	よくある	85	15.8	57.8	52.7	53.4
2	ときどきある	99	18.4	67.2	63.3	65.9
3	あまりない	123	22.9	67.0	66.6	68.2
4	全くない	231	42.9	68.0	64.9	66.1

(29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	129	24.0	65.3	61.2	65.1
2	どちらかといえば、当てはまる	153	28.4	68.7	66.1	66.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	130	24.2	67.7	66.2	66.9
4	当てはまらない	126	23.4	61.7	58.1	59.0

(26) 読書は好きですか (中)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	255	47.8	73.5	55.3	54.9
2	どちらかといえば、当てはまる	124	23.2	69.2	49.9	48.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	93	17.4	63.0	40.5	42.9
4	当てはまらない	62	11.6	63.8	48.4	43.8

(27) 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか (中)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	よくある	133	24.9	66.1	46.4	46.9
2	ときどきある	182	34.1	70.1	53.6	51.8
3	あまりない	161	30.1	71.3	51.0	50.4
4	全くない	58	10.9	70.8	50.1	51.1

(28) 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか (習い事の先生は除く) (中)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	よくある	48	9.0	60.3	45.1	43.8
2	ときどきある	50	9.4	66.4	51.7	50.7
3	あまりない	136	25.5	72.1	50.9	48.7
4	全くない	300	56.2	70.4	51.3	51.6

(29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	67	12.5	70.5	55.1	54.8
2	どちらかといえば、当てはまる	149	27.9	70.6	53.6	52.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	124	23.2	69.3	49.9	46.8
4	当てはまらない	194	36.3	68.5	47.3	48.4

(30) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	85	15.8	69.7	62.8	67.7
2 どちらかといえば、当てはまる	172	32.0	67.5	65.2	65.7
3 どちらかといえば、当てはまらない	185	34.4	64.9	62.8	63.7
4 当てはまらない	96	17.8	62.3	59.8	61.2

(31) 放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか (複数選択) (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 家で勉強や読書をしている	292	54.3	72.2	69.2	70.6
2 放課後子供教室や放課後児童クラブ (学童保育) に参加している	34	6.3	66.5	58.1	62.6
3 地域の活動に参加している (地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	15	2.8	67.6	64.2	66.7
4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	68	12.6	68.6	64.9	64.7
5 習い事 (スポーツに関する習い事を除く) をしている	154	28.6	70.9	66.6	70.1
6 スポーツ (スポーツに関する習い事を含む) をしている	217	40.3	68.0	64.5	65.4
7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	473	87.9	66.9	63.8	65.5
8 家族と過ごしている	377	70.1	68.5	65.3	67.1
9 友達と遊んでいる	302	56.1	64.7	61.0	63.4

(32) 5年生までに受けた授業で、PC、タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 ほぼ毎日	328	61.0	67.6	64.4	64.9
2 週3回以上	123	22.9	67.8	63.8	67.4
3 週1回以上	62	11.5	58.5	58.8	61.0
4 月1回以上	16	3.0	56.3	56.6	60.7
5 月1回未満	9	1.7	54.0	44.4	42.5

(30) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	58	10.9	67.2	51.6	50.0
2 どちらかといえば、当てはまる	155	29.0	71.9	53.9	52.1
3 どちらかといえば、当てはまらない	188	35.2	70.2	51.2	50.6
4 当てはまらない	133	24.9	66.8	45.8	46.9

(31) 放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか (複数選択) (中)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 家で勉強や読書をしている	354	66.3	71.2	52.5	51.0
2 放課後子供教室や放課後児童クラブ (学童保育) に参加している	287	53.7	72.5	55.4	53.2
3 地域の活動に参加している (地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	5	0.9	71.4	58.6	52.4
4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	128	24.0	71.4	54.4	51.0
5 習い事 (スポーツに関する習い事を除く) をしている	78	14.6	70.2	54.2	52.0
6 スポーツ (スポーツに関する習い事を含む) をしている	156	29.2	68.1	49.6	49.1
7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	485	90.8	70.5	51.5	51.0
8 家族と過ごしている	368	68.9	71.2	52.1	51.3
9 友達と遊んでいる	274	51.3	68.1	49.2	48.5

(32) 1・2年生で受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 ほぼ毎日	396	74.2	71.4	53.6	51.6
2 週3回以上	93	17.4	67.1	43.9	48.6
3 週1回以上	29	5.4	56.9	36.5	36.9
4 月1回以上	5	0.9	54.3	34.3	41.9
5 月1回未満	9	1.7	57.9	45.2	42.9

(33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）（小）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	ほぼ毎日	207	38.5	69.8	65.8	66.7
2	週3回以上	167	31.0	64.9	62.2	62.2
3	週1回以上	104	19.3	64.8	61.2	66.0
4	月1回以上	42	7.8	63.3	61.9	66.4
5	月1回未満	18	3.3	47.2	52.8	48.0

(34) 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか（小）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	ほぼ毎日	145	27.0	69.5	66.9	68.1
2	週3回以上	180	33.5	66.1	61.4	62.6
3	週1回以上	125	23.2	65.9	62.9	64.1
4	月1回以上	51	9.5	62.5	61.6	66.2
5	月1回未満	37	6.9	57.1	58.8	59.0

(35) 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか（小）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	ほぼ毎日	146	27.1	70.5	67.3	68.0
2	週3回以上	158	29.4	64.4	60.6	62.5
3	週1回以上	114	21.2	65.0	62.4	63.4
4	月1回以上	81	15.1	64.2	63.3	65.9
5	月1回未満	39	7.2	62.3	58.5	60.2

(33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）（中）

選択肢		児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	算数	理科
1	ほぼ毎日	212	39.7	68.6	49.6	49.9
2	週3回以上	206	38.6	69.5	49.5	48.4
3	週1回以上	84	15.7	71.0	54.3	53.1
4	月1回以上	24	4.5	72.3	56.8	53.4
5	月1回未満	6	1.1	72.6	56.0	55.6

(34) 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか（中）

選択肢		生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	数学	理科
1	ほぼ毎日	212	39.7	71.5	52.2	51.1
2	週3回以上	180	33.7	68.6	50.4	49.9
3	週1回以上	88	16.5	71.3	51.6	49.8
4	月1回以上	38	7.1	64.3	46.1	47.7
5	月1回未満	14	2.6	55.1	37.8	43.2

(35) 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか（中）

選択肢		生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
				国語	数学	理科
1	ほぼ毎日	173	32.4	68.9	50.2	49.4
2	週3回以上	137	25.7	69.2	50.3	50.2
3	週1回以上	92	17.2	71.7	52.7	51.3
4	月1回以上	96	18.0	70.4	51.9	51.1
5	月1回未満	34	6.4	65.5	45.8	46.6

(36) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1 役に立つと思う	368	68.4	65.7	63.2	63.7
2 どちらかといえば、役に立つと思う	144	26.8	66.9	63.1	65.9
3 どちらかといえば、役に立たないと思う	18	3.3	73.4	67.0	75.2
4 役に立たないと思う	8	1.5	48.2	46.9	55.1

(37) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1 3時間以上	56	10.4	61.9	55.6	55.9
2 2時間以上、3時間より少ない	61	11.3	69.8	68.3	69.3
3 1時間以上、2時間より少ない	81	15.1	66.8	61.7	65.1
4 30分以上、1時間より少ない	100	18.6	69.0	66.9	67.9
5 30分より少ない	119	22.1	66.2	63.7	66.3
6 全く使っていない	77	14.3	61.1	59.7	59.7
7 スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない	44	8.2	66.1	63.1	63.6

(38) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1 発表していた	151	28.1	69.5	67.5	68.2
2 どちらかといえば、発表していた	225	41.8	67.6	64.4	66.1
3 どちらかといえば、発表していなかった	113	21.0	62.7	57.8	60.8
4 発表していなかった	42	7.8	59.5	56.3	56.4
5 考えを発表する機会はなかった	7	1.3	33.7	49.1	44.5

(36) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1 役に立つと思う	364	68.2	69.5	49.4	49.8
2 どちらかといえば、役に立つと思う	138	25.8	69.9	53.9	50.8
3 どちらかといえば、役に立たないと思う	20	3.7	72.9	50.0	51.4
4 役に立たないと思う	12	2.2	60.7	52.4	48.0

(37) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1 3時間以上	27	5.1	63.5	51.3	49.6
2 2時間以上、3時間より少ない	26	4.9	58.8	38.2	42.9
3 1時間以上、2時間より少ない	82	15.4	67.2	48.1	50.7
4 30分以上、1時間より少ない	120	22.5	73.3	53.7	52.1
5 30分より少ない	166	31.1	71.3	51.1	49.7
6 全く使っていない	87	16.3	68.2	50.3	48.5
7 スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない	24	4.5	73.2	57.7	56.3

(38) 1・2年生で受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1 発表していた	136	25.5	72.9	56.5	54.2
2 どちらかといえば、発表していた	239	44.8	70.9	51.3	51.4
3 どちらかといえば、発表していなかった	120	22.5	67.3	47.1	45.5
4 発表していなかった	29	5.4	57.4	39.9	41.7
5 考えを発表する機会はなかった	8	1.5	48.2	26.8	39.3

(39) 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	162	30.1	71.5	68.9	70.4
2 どちらかといえば、当てはまる	288	53.5	65.9	64.0	64.7
3 どちらかといえば、当てはまらない	81	15.1	57.8	50.5	55.0
4 当てはまらない	7	1.3	36.7	33.0	31.9

(40) 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながらか、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	165	30.7	70.3	65.5	68.4
2 どちらかといえば、当てはまる	244	45.4	67.6	66.2	66.4
3 どちらかといえば、当てはまらない	110	20.4	59.5	55.9	58.3
4 当てはまらない	19	3.5	46.2	43.8	41.8

(41) 5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	193	35.9	70.5	65.9	68.4
2 どちらかといえば、当てはまる	217	40.3	64.7	62.5	63.9
3 どちらかといえば、当てはまらない	101	18.8	64.4	62.3	63.0
4 当てはまらない	27	5.0	50.5	50.2	47.5

(42) 5年生までに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていましたか（小）

選択肢	児童数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	230	42.8	69.2	66.1	68.1
2 どちらかといえば、当てはまる	228	42.4	66.0	63.9	64.9
3 どちらかといえば、当てはまらない	67	12.5	57.2	53.9	56.2
4 当てはまらない	13	2.4	54.9	41.8	38.5

(39) 1・2年生で受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	201	37.6	73.3	57.1	54.7
2 どちらかといえば、当てはまる	252	47.2	68.8	49.3	48.3
3 どちらかといえば、当てはまらない	67	12.5	63.6	39.7	45.4
4 当てはまらない	12	2.2	54.2	31.0	34.1

(40) 1・2年生で受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながらか、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	161	30.1	73.8	56.8	54.8
2 どちらかといえば、当てはまる	255	47.8	69.6	51.8	49.3
3 どちらかといえば、当てはまらない	99	18.5	63.3	39.1	44.8
4 当てはまらない	16	3.0	65.2	41.1	47.9

(41) 1・2年生で受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	172	32.2	72.4	54.1	53.0
2 どちらかといえば、当てはまる	233	43.6	71.7	52.5	51.4
3 どちらかといえば、当てはまらない	106	19.9	62.9	43.3	44.4
4 当てはまらない	20	3.7	55.0	40.0	40.0

(42) 1・2年生で受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていましたか（中）

選択肢	生徒数	割合(%)	平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	128	24.0	69.9	53.4	51.0
2 どちらかといえば、当てはまる	286	53.6	70.4	50.5	50.6
3 どちらかといえば、当てはまらない	95	17.8	68.1	49.6	48.4
4 当てはまらない	23	4.3	63.0	42.5	43.9

(43) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	233	43.3	67.6	63.4	66.6
2	どちらかといえば、当てはまる	222	41.3	66.7	65.0	65.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	65	12.1	63.0	58.7	60.4
4	当てはまらない	15	2.8	47.6	49.6	47.1
5	友達との間で話し合う活動を行っていない	3	0.6	54.8	54.2	43.1

(44) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	193	35.9	69.8	67.7	67.5
2	どちらかといえば、当てはまる	251	46.7	65.7	63.0	64.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	81	15.1	61.2	55.5	60.2
4	当てはまらない	12	2.2	50.0	42.7	41.7

(45) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	175	32.5	69.5	66.0	67.7
2	どちらかといえば、当てはまる	245	45.5	65.4	62.5	64.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	102	19.0	63.8	61.7	63.0
4	当てはまらない	16	3.0	51.3	47.3	45.2

(46) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	216	40.1	67.8	66.0	67.1
2	どちらかといえば、当てはまる	218	40.5	64.8	62.1	63.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	85	15.8	65.2	59.4	61.9
4	当てはまらない	19	3.5	62.8	56.9	58.5

(43) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	217	40.6	72.5	54.4	51.5
2	どちらかといえば、当てはまる	240	44.9	69.3	51.0	50.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	58	10.9	65.2	39.4	43.1
4	当てはまらない	14	2.6	48.0	38.8	45.9
5	友達との間で話し合う活動を行っていない	3	0.6	52.4	26.2	34.9

(44) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	165	30.9	74.5	57.1	53.5
2	どちらかといえば、当てはまる	240	44.9	68.6	50.6	50.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	107	20.0	64.8	42.9	45.1
4	当てはまらない	19	3.6	63.5	40.2	45.4

(45) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	259	48.5	73.5	55.4	53.3
2	どちらかといえば、当てはまる	185	34.6	67.9	49.0	48.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	71	13.3	64.4	42.1	44.4
4	当てはまらない	17	3.2	47.9	32.8	38.4

(46) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	242	45.3	69.8	53.1	50.8
2	どちらかといえば、当てはまる	213	39.9	69.9	49.2	50.0
3	どちらかといえば、当てはまらない	62	11.6	69.1	48.4	48.5
4	当てはまらない	15	2.8	61.9	41.9	45.1

(47) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	190	35.3	67.3	64.2	65.9
2 どちらかといえば、当てはまる	230	42.8	66.3	63.2	64.2
3 どちらかといえば、当てはまらない	95	17.7	62.0	60.5	63.0
4 当てはまらない	23	4.3	69.3	63.3	62.1

(47) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	181	33.9	69.9	50.4	48.7
2 どちらかといえば、当てはまる	252	47.2	70.0	52.1	51.1
3 どちらかといえば、当てはまらない	78	14.6	69.4	49.2	51.3
4 当てはまらない	21	3.9	61.6	40.8	44.7

(48) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	298	55.4	69.6	64.2	67.5
2 どちらかといえば、当てはまる	183	34.0	62.3	62.0	61.4
3 どちらかといえば、当てはまらない	44	8.2	60.6	63.4	62.6
4 当てはまらない	10	1.9	55.0	50.6	50.0

(48) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	344	64.4	69.5	51.3	50.0
2 どちらかといえば、当てはまる	149	27.9	70.9	50.9	51.3
3 どちらかといえば、当てはまらない	32	6.0	67.3	46.5	48.4
4 当てはまらない	7	1.3	46.4	32.1	32.7

(49) 国語の勉強は好きですか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	124	23.0	71.0	63.9	68.2
2 どちらかといえば、当てはまる	218	40.5	67.0	64.4	65.6
3 どちらかといえば、当てはまらない	122	22.7	64.6	63.8	64.5
4 当てはまらない	74	13.8	56.9	56.5	55.2

(49) 国語の勉強は好きですか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	163	30.5	73.0	51.1	52.6
2 どちらかといえば、当てはまる	168	31.5	71.6	53.1	52.3
3 どちらかといえば、当てはまらない	123	23.0	65.8	46.8	46.0
4 当てはまらない	80	15.0	63.6	50.5	46.5

(50) 国語の勉強は大切だと思いますか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	402	74.7	68.5	66.4	67.2
2 どちらかといえば、当てはまる	107	19.9	60.7	54.3	58.9
3 どちらかといえば、当てはまらない	19	3.5	50.4	49.0	48.3
4 当てはまらない	10	1.9	50.0	46.3	46.5

(50) 国語の勉強は大切だと思いますか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	327	61.2	71.0	50.2	50.6
2 どちらかといえば、当てはまる	156	29.2	69.9	53.6	51.4
3 どちらかといえば、当てはまらない	36	6.7	60.1	46.4	46.6
4 当てはまらない	15	2.8	55.7	41.0	32.7

(51) 国語の授業の内容はよく分かりますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	232	43.1	71.8	67.6	69.0
2	どちらかといえば、当てはまる	231	42.9	64.2	62.5	64.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	63	11.7	54.8	51.9	51.1
4	当てはまらない	12	2.2	45.8	45.3	42.6

(52) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	389	72.3	67.9	65.1	66.7
2	どちらかといえば、当てはまる	106	19.7	63.0	59.8	60.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	32	5.9	58.7	52.7	56.8
4	当てはまらない	10	1.9	50.0	50.6	47.1

(53) 算数の勉強は好きですか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	202	37.5	68.8	70.9	69.2
2	どちらかといえば、当てはまる	127	23.6	66.5	62.0	63.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	116	21.6	66.2	61.6	65.7
4	当てはまらない	93	17.3	58.9	49.2	54.0

(54) 算数の勉強は大切だと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	417	77.5	67.4	65.4	66.4
2	どちらかといえば、当てはまる	97	18.0	63.0	58.4	60.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	18	3.3	53.4	37.8	46.7
4	当てはまらない	6	1.1	52.4	49.0	48.0

(51) 国語の授業の内容はよく分かりますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	205	38.4	76.0	55.8	55.3
2	どちらかといえば、当てはまる	211	39.5	67.9	49.8	48.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	90	16.9	61.2	42.0	44.3
4	当てはまらない	26	4.9	59.6	46.7	38.5

(52) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	271	50.7	70.4	49.1	50.1
2	どちらかといえば、当てはまる	200	37.5	70.2	52.5	50.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	48	9.0	67.3	54.5	51.6
4	当てはまらない	15	2.8	51.9	42.9	34.3

(53) 数学の勉強は好きですか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	134	25.1	75.3	66.2	56.8
2	どちらかといえば、当てはまる	161	30.1	70.0	52.1	51.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	123	23.0	68.4	42.5	46.9
4	当てはまらない	116	21.7	63.2	39.2	43.1

(54) 数学の勉強は大切だと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	262	49.1	71.6	54.2	52.4
2	どちらかといえば、当てはまる	196	36.7	69.1	49.2	50.0
3	どちらかといえば、当てはまらない	58	10.9	66.4	45.1	44.3
4	当てはまらない	18	3.4	53.6	32.5	36.5

(55) 算数の授業の内容はよく分かりますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	244	45.4	70.6	71.1	70.2
2	どちらかといえば、当てはまる	189	35.1	64.2	59.0	61.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	82	15.2	59.0	54.3	59.1
4	当てはまらない	23	4.3	56.8	41.8	45.8

(56) 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	402	74.7	67.2	65.1	66.2
2	どちらかといえば、当てはまる	95	17.7	63.2	59.3	61.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	35	6.5	60.6	52.1	57.8
4	当てはまらない	6	1.1	60.7	46.9	47.1

(57) 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	161	29.9	70.7	69.0	69.0
2	どちらかといえば、当てはまる	201	37.4	66.0	63.4	65.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	130	24.2	63.4	60.3	62.3
4	当てはまらない	46	8.6	56.8	48.4	50.5

(58) 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	241	44.8	68.0	68.0	67.0
2	どちらかといえば、当てはまる	188	34.9	66.9	62.5	65.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	87	16.2	60.8	55.0	59.4
4	当てはまらない	22	4.1	57.1	45.7	45.5

(55) 数学の授業の内容はよく分かりますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	179	33.5	74.0	62.2	55.7
2	どちらかといえば、当てはまる	206	38.6	70.6	50.5	51.0
3	どちらかといえば、当てはまらない	98	18.4	64.4	39.2	44.5
4	当てはまらない	49	9.2	58.6	31.5	36.5

(56) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	204	38.2	70.0	51.8	50.1
2	どちらかといえば、当てはまる	209	39.1	70.2	51.8	52.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	89	16.7	70.2	48.1	47.9
4	当てはまらない	32	6.0	59.7	43.1	42.7

(57) 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	75	14.0	71.0	59.6	53.6
2	どちらかといえば、当てはまる	150	28.1	72.6	54.1	52.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	194	36.3	68.6	48.7	48.1
4	当てはまらない	114	21.3	66.2	43.5	47.4

(58) 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	190	35.6	74.2	60.9	55.4
2	どちらかといえば、当てはまる	219	41.0	69.5	48.7	49.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	91	17.0	64.1	40.2	43.9
4	当てはまらない	34	6.4	57.4	33.1	38

(59) 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	189	35.1	67.7	65.9	66.0
2 どちらかといえば、当てはまる	188	34.9	69.1	66.2	67.4
3 どちらかといえば、当てはまらない	123	22.9	60.7	58.1	61.8
4 当てはまらない	38	7.1	59.2	48.8	51.5

(60) 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 そうしている	281	52.2	70.6	68.6	68.7
2 どちらかといえば、そうしている	204	37.9	62.5	58.3	61.2
3 どちらかといえば、そうしていない	43	8.0	53.0	51.7	55.7
4 そうしていない	10	1.9	65.7	53.1	51.8

(61) 理科の勉強は好きですか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	252	46.8	66.3	62.9	66.1
2 どちらかといえば、当てはまる	170	31.6	65.1	63.8	63.5
3 どちらかといえば、当てはまらない	81	15.1	67.7	62.8	63.3
4 当てはまらない	35	6.5	64.3	60.7	61.0

(62) 理科の勉強は大切だと思いますか (小)

選択肢	児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	算数	理科
1 当てはまる	310	57.6	67.5	64.8	66.5
2 どちらかといえば、当てはまる	143	26.6	64.9	63.9	64.2
3 どちらかといえば、当てはまらない	69	12.8	63.8	55.2	60.1
4 当てはまらない	16	3.0	57.1	56.3	48.9

(59) 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	165	30.9	72.6	59.0	53.6
2 どちらかといえば、当てはまる	203	38.0	70.4	50.6	50.7
3 どちらかといえば、当てはまらない	99	18.5	65.5	41.1	45.1
4 当てはまらない	66	12.4	65.3	44.3	47.0

(60) 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 そうしている	221	41.4	73.2	58.6	53.6
2 どちらかといえば、そうしている	196	36.7	68.9	47.0	49.5
3 どちらかといえば、そうしていない	81	15.2	64.0	42.2	44.2
4 そうしていない	34	6.4	62.4	40.8	45.0

(61) 理科の勉強は好きですか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	134	25.1	71.9	55.5	55.5
2 どちらかといえば、当てはまる	169	31.6	72.5	54.8	52.1
3 どちらかといえば、当てはまらない	155	29.0	66.5	44.0	44.6
4 当てはまらない	76	14.2	64.8	46.7	47.0

(62) 理科の勉強は大切だと思いますか (中)

選択肢	生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語	数学	理科
1 当てはまる	177	33.1	70.5	52.7	51.9
2 どちらかといえば、当てはまる	206	38.6	70.5	50.3	51.1
3 どちらかといえば、当てはまらない	112	21.0	67.6	49.0	46.7
4 当てはまらない	39	7.3	65.9	48.0	45.9

(63) 理科の授業の内容はよく分かりますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	298	55.4	68.4	64.9	67.9
2	どちらかといえば、当てはまる	181	33.6	64.6	62.4	62.7
3	どちらかといえば、当てはまらない	47	8.7	58.7	56.6	55.7
4	当てはまらない	12	2.2	56.0	51.6	43.1

(64) 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	170	31.6	66.6	63.3	66.4
2	どちらかといえば、当てはまる	165	30.7	66.9	65.4	65.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	135	25.1	66.3	62.2	64.6
4	当てはまらない	67	12.5	62.6	58.8	58.1

(65) 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	233	43.3	66.2	63.5	65.4
2	どちらかといえば、当てはまる	158	29.4	68.4	67.4	68.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	107	19.9	64.3	60.3	61.6
4	当てはまらない	40	7.4	59.8	50.5	52.8

(66) 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいですか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	60	11.2	62.6	61.4	59.9
2	どちらかといえば、当てはまる	70	13.0	68.0	63.4	67.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	143	26.6	64.4	64.4	64.6
4	当てはまらない	265	49.3	67.1	62.6	64.7

(63) 理科の授業の内容はよく分かりますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	143	26.8	72.6	56.7	55.3
2	どちらかといえば、当てはまる	219	41.0	69.6	49.8	50.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	121	22.7	69.0	48.1	46.0
4	当てはまらない	48	9.0	61.3	42.4	41.3

(64) 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	112	21.0	68.8	52.6	53.2
2	どちらかといえば、当てはまる	148	27.7	71.0	54.0	51.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	171	32.0	70.5	48.7	49.5
4	当てはまらない	101	18.9	66.5	46.9	46.1

(65) 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	125	23.4	68.2	50.9	50.2
2	どちらかといえば、当てはまる	200	37.5	72.3	52.0	53.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	133	24.9	69.0	50.1	48.7
4	当てはまらない	76	14.2	65.2	47.9	44.3

(66) 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいですか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	31	5.8	56.9	43.1	44.4
2	どちらかといえば、当てはまる	53	9.9	74.5	57.7	57.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	113	21.2	71.5	54.6	53.1
4	当てはまらない	336	62.9	69.3	49.0	48.4

(67) 理科の授業では、自分で予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	235	43.7	67.2	64.0	66.2
2	どちらかといえば、当てはまる	204	37.9	66.3	63.7	64.0
3	どちらかといえば、当てはまらない	79	14.7	64.3	60.1	63.4
4	当てはまらない	19	3.5	55.3	56.3	55.1

(67) 理科の授業では、自分で予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	114	21.3	70.6	52.3	51.3
2	どちらかといえば、当てはまる	214	40.1	70.8	53.5	51.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	147	27.5	68.4	46.4	47.5
4	当てはまらない	57	10.7	65.7	48.0	47.1

(68) 理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	246	45.7	70.6	67.3	68.6
2	どちらかといえば、当てはまる	218	40.5	63.7	61.2	62.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	63	11.7	58.4	54.0	56.7
4	当てはまらない	11	2.0	53.2	56.3	51.9

(68) 理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	180	33.7	74.8	56.4	55.2
2	どちらかといえば、当てはまる	226	42.3	68.5	50.3	49.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	98	18.4	65.0	42.4	43.5
4	当てはまらない	28	5.2	59.4	45.2	40.8

(69) 理科の授業では、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか (小)

選択肢		児童数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	算数	理科
1	当てはまる	185	34.4	67.8	64.9	66.5
2	どちらかといえば、当てはまる	230	42.8	66.0	63.1	64.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	91	16.9	65.4	62.4	63.3
4	当てはまらない	32	5.9	57.4	54.1	56.3

(69) 理科の授業では、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか (中)

選択肢		生徒数	割合 (%)	平均正答率 (%)		
				国語	数学	理科
1	当てはまる	153	28.7	72.3	55.7	54.6
2	どちらかといえば、当てはまる	212	39.7	70.1	51.8	51.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	117	21.9	66.7	43.2	44.6
4	当てはまらない	50	9.4	65.0	47.7	43.0

VI 調査結果を踏まえた各学校が取り組むべき岩見沢市の6つの方策

1 求められる資質・能力の獲得に向けた「子どもと創る授業」の実現

これからの時代に求められる資質・能力を身に付けさせるための質の高い授業への改革を全市を挙げて、組織的・計画的・継続的に徹底して取り組まなければならない。

① 「子どもと創る授業」の実現に向けた学校全体での統一感のある授業改革の取組の徹底

- ・子ども主体となるよう、子ども自ら課題や見通しを立て、個人やグループで探究する学習活動を充実させる。
- ・指導内容を踏まえた、子どもの声(発言)による本時の「学習問題(課題)」の設定し、「まとめ」は課題と正対させる。
- ・子ども自身が自分の思考や本時の学びを客観的に把握し、認識する(いわゆる「メタ認知」を含む)ための、「振り返り」を位置付ける。
- ・子ども自らが「教える内容」を獲得できるよう教師のファシリテート力を磨くとともに、教えるべき内容をしっかりと指導できる教師力を身に付ける。

② 学習の基盤となる資質・能力(いわゆる学ぶためのスキル)の育成・向上

- ・言語能力(いわゆる「読む力、書く力、聞く力、話す(対話する)力」など)を各学年で「どの程度」まで育成するかを明確にした教育課程を編成し、確実に実施する。また、子どもはもとより、保護者にも示す。
- ・情報活用能力や問題発見・解決能力(見通す力、情報を整理・比較する力、振り返り次につなげる力等)を系統的に育成し、授業で子どもに実感させる。

③ タブレット型端末を有効に活用した探究学習の推進、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の場の明確な位置付け

④ 授業を支える親和的な学級づくりのため、「ピア・サポート」(傾聴・受容・共感)を計画的に実施

⑤ 学びに向かうための教室環境の整備と特別支援教育の充実(ユニバーサルデザイン、特別な配慮など)

2 子どもの学習意欲や目的意識を高める組織体制の整備と全校での取組

各学校においては、学習意欲が高く、目的意識を持って主体的に学習に取り組む児童生徒を育成するため、各種検査やテストの活用による授業の検証を行うとともに、組織体制やこれまでの取組を見直し、全校で学力向上の取組を確実に進めなければならない。

① 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育課程の改善

- ・全国と比べ、不十分だった領域や単元については、授業の配当時数を増やしたり、指導過程を見直し、体験を伴う活動や観察・実験、グループによる話し合いなどの時間を充実させたりするなどの工夫・改善を行う。

② 子どもの学びの姿に基づく評価による指導方法の改善

- ・ビデオや授業記録を基に授業を子どもの立場で分析し、課題を明らかにするとともに、今後、学校全体で取り組むべきことを明確にする。
- ・「知識・技能」や「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、単元テストをはじめ、毎時間のICTを活用した授業評価などにより適切に評価するとともに、各観点の評価結果から指導方法に課題がなかったかどうかを検証し、授業改善に生かす。

③ 全国学力等調査結果の誤答類型に基づく個々の学習内容の分析と指導体制の整備

- ・自校の誤答類型を分析することにより、誰がどのようなところで困っているかを把握し、一人一人に合った指導を進められる指導体制を整備する。

④ 多様な人材の活用や地域との連携、スキマ時間の活用や遠隔授業等による多様な学びの機会や場の提供

- ・児童生徒が多くの人々と触れ合い、多様な考えや広い視野から学べるようにするため、学校では授業はもとより、朝・放課後などのスキマ時間や長期休業中などに、外部の多様な人材や高校生・大学生などの協力を得たり、他の学校・地域などリモートで結んでの授業を展開するなど多様な学びの機会や場を提供する。

⑤ 次の授業に連続する授業の展開と授業内容を深め・広げるための家庭学習の充実

- ・授業の「振り返り」で、子どもたちが、「もっと知りたい。次はこれに取り組みたい。」という思いが出てくるような授業展開を工夫するとともに、家庭で調べてきたことを授業で生かす場を設定するなど、「授業と授業」、「授業と家庭学習」を連動させる。

3 小・中連携による9年間を通じた学力向上の実効性のある取組の推進

子どもたちに確かな学力を身に付けさせるためには、岩見沢市が推進する「コミュニティ・エリア」を効果的に活用し、保護者や地域住民にも学校の取組や子どもたちの学力の状況を理解していただきながら、地域の協力を得て、小・中学校が一体となって義務教育9年間を通じた一貫した指導に取り組まなければならない。

- ① 標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果の交流(特に誤答類型)と指導方法や内容の具体的な改善
 - ・自校の各種学力検査の結果を公表するとともに、特徴や課題などを明らかにし、学校運営協議会で説明するとともに、小中合同研修などで交流し、小・中共通で改善すべき点を明らかにする。
- ② 各学年修了時の学習状況の把握による9年間の個別最適な学びの保障
 - ・各学年修了時に学習の習得状況の把握を行い、履修状況を記録化して次の学年に確実に引き継ぐとともに、次の学年では過去のデータを生かした個別最適な学習を保障する。特に、小学校卒業時や中学校3年次の学力については全国学力等調査の結果を活用し、全国と比べながら6年間及び9年間の学びの検証を行い、指導の改善につなげる。
- ③ 小・中学校での授業スタイルの統一化や授業の相互乗り入れなど、学力向上のための教職員の意識の共有と9年間の統一した取組の実施
 - ・9年間を通して子ども主体の学習が進められるよう、小・中学校で授業スタイルを統一し、学校種が変わっても同じ指導過程やスタイルで授業を行う。また、小・中学校双方の教員が乗り入れ授業を行い、小・中学校双方のよい面や子どもの実態を体感する。

4 子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識等を育む取組の推進

子どもたちの学力を高めるためには、子どもたちが自分のよいところを見付け、自信をもって学校生活を送ることができるようにすることが大切である。また、子どもたちが世の中に出た時、「役に立つ人間になりたい」と思えるような教育を行う必要がある。そのため、学校生活においては、自己有用感や規範意識を高める学習活動や体験を設定し、子どもたちの「学びに向かう力」を高めることが重要である。

- ① 望ましい学級づくりと、成功体験の積み重ねを通じた自尊感情や自己有用感を高める工夫
 - ・子どもたちが安心して自己を解放できる学級集団を学年の教師と子どもたちと一緒に作りあげるとともに、子ども一人一人の個性を十分把握し、学校生活の中で成功体験を数多く経験させることで自尊感情等を高める。
- ② 授業や学校行事等で、児童生徒に自信をもたせたり、達成感を味わわせたり、自分のよさに気付かせたりする活動の意図的・計画的な推進
 - ・授業の中で「自分の力で理解できた」と思わせたり、学校行事等で一人一人の子どもたちに合った役割を分担させ、「自分が役割を果たすことにより成功した」と思えるような取組を意図的・計画的に行い、自信や達成感を味わわせる。また、行事等のまとめでは、子ども同士で褒め合う場面を設定し、自分のよさに気付かせる。
- ③ 子どもが自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深めることができる「道徳」の授業の充実
 - ・教科道徳の授業の充実を図り、教材を通して子どもが自己を見つめ、自己の生き方について、友達の考えを聞きながら、深め、広げていけるようにする。
- ④ 子どもの声に耳を傾け、子どもを深く理解し、子どもを見守り、寄り添う全教職員による組織的な生徒指導の充実
 - ・生徒指導の基本は「子ども理解」であることを全教職員で確認し、全ての子どもを全教職員で見守り、寄り添うきめ細やかな生徒指導の充実を図る。
- ⑤ 「hyper-QU よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」の分析結果を活用した生徒指導部による実態把握と個別面談等の実施
- ⑥ 「ピア・サポート」による親和的な学級集団の育成

5 子どもの基本的生活習慣の確立

学力向上を図るための基盤は「子どもたちの規則正しい生活習慣」であり、その確立には家庭や地域社会の理解と協力がなければ成立しない。そのため、学校では、「子どもの基本的生活習慣の確立を図ることの必要性」を家庭や地域に語りかけ、家庭の理解と協力を得る取組を進めなければならない。

- ① 各中学校区では、学校運営協議会などで、校区の子どもたちの現状を説明し、地域・PTAが力を合わせて「家庭での5つの約束」を推進するなど、実効性のある取組により子どもたちの望ましい生活習慣の確立を図る。

〈家庭での5つの約束〉

ア 早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身に付けよう

イ 次の日の学習準備をしよう

ウ 家庭学習を毎日しよう

・帰宅後の学習習慣を身に付ける ・宿題、予習、復習をする

エ 読書に親しもう

オ 家族との会話を大切にしよう

6 家庭や地域の教育力の更なる向上

全国と比べ、「平日の家庭学習の時間が少ない子ども」や、「テレビゲームやスマートフォンの使用時間が長い子ども」の割合が高いことから、家庭や地域の理解を得ながら、子どもたちの生活習慣に関する課題に対応する必要がある。

① 家庭における基本的な生活習慣の確立及び予習や自学などの学習習慣の確立を促すための学校からの啓発と家庭への強力なサポートの実施

- ・全国学力・学習状況調査の結果や、自校独自で行うアンケート調査などの結果のうち、「家庭生活・家庭学習」に関する事項については、家庭や地域住民に数値を含めて分かりやすく伝え、課題を明確にするとともに、家庭や地域の協力が得られるよう、学校と一緒に改善に取り組んでもらえるような姿勢で臨む。

② 地域子ども会をはじめ、関係機関、PTA等と連携・協働し、子どもたちが地域行事や社会参加へ関心が高まるよう後押しするとともに、学校における生徒会・児童会活動やPTA行事などとの連動を図った取組を実施

- ・町内会やPTA等と連携しながら地域行事の日程を学校で把握し、開催案内を掲示するなど子どもへの啓発を行うとともに、地域行事に出やすい配慮(部活動時間や学校行事、テストの日程など)を行い、子どもたちが積極的に参加できるようにする。
- ・生徒(児童)会の活動に保護者や地域住民が参加し、子どもも含めて地域の住民であるという意識を高める取組を検討する。また、学校運営協議会を活用し、生徒会活動と地域行事がコラボできないかどうか検討する。